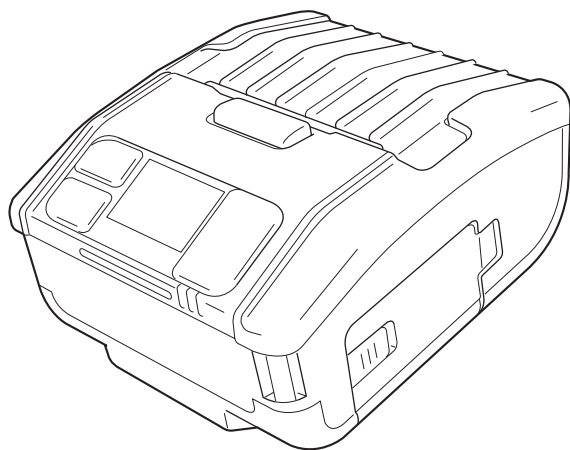
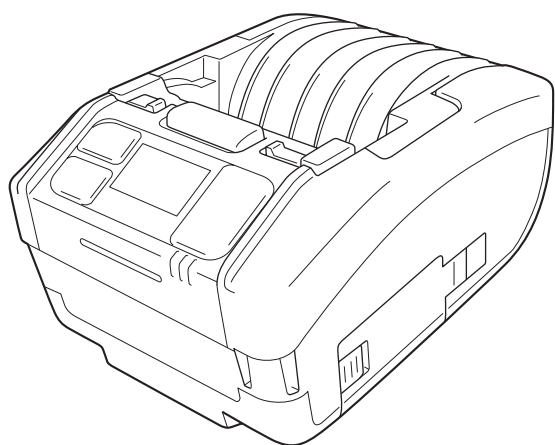


# 取扱説明書

モバイルプリンタ

# *PW208/PW208m*



## はじめに

このたびは、モバイルプリンタ PW208/PW208 m（以降、「本プリンタ」）をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

本書は、はじめて本プリンタをお使いになる方に、短期間で基本的な操作を習得していただくことを目的としています。

本書をよくお読みいただき、本プリンタの機能を理解し、正しくお使いください。

本書のイラストおよびサブメニューの画面は PW208 を使用しています。PW208m では異なる場合がありますが、基本的な操作は同じです。

仕様変更により、本書のイラストおよびサブメニューの画面と、実際のプリンタが異なる場合があります。

### ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、購入されました販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクへご連絡ください。
- (4) この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI - B

弊社指定のサプライ製品のご利用をお願いします。

初 版 2015 年 3 月  
第 5 版 2017 年 7 月  
©2017 株式会社サトー

## 電波に関する注意事項

本プリンタは、電波法に基づく技術基準の適合承認を受けた特定無線装置を内蔵しています。したがって本プリンタを使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本プリンタは日本国内でのみ使用できません。

以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。

- 本プリンタを分解 / 改造すること

次の場所で使用した場合、著しく通信距離が短くなったり、通信できないことがあります。

- 電子レンジの近辺、静電気や電波障害が発生するところ、無線 LAN 機器の近辺

本プリンタの使用周波数帯では、産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 本プリンタを使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、本プリンタから移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、電波の発射を停止した上、お客さまヘルプデスクにご連絡いただき、混信回避のための処理など（例えばパーティションの設置など）についてご相談ください。
- 3 その他、本プリンタから移動体識別用の特定小電力無線局あるいは、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生したなど何かお困りのことが起きたときは、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。



“Bluetooth” は、米国 Bluetooth SIG の商標です。  
弊社は同団体とのライセンス契約に基づき使用しています。

**2.4 FH 1**

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	FH - SS 方式
想定干渉距離	10m 以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

### 無線 LAN

無線 LAN インタフェースをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルに従っておこなってください。

WirelessLAN (2.4GHz/5GHz)					
IEEE802.11b/g/n		IEEE802.11a			
<b>2.4DS4</b>		J52	W52	W53	W56
<b>2.4OF4</b>		注意			
5GHzワイヤレスLANは、電波法によりJ52、W52、W53の帯域については屋内での使用に限定されます。					

# 目次

安全上のご注意 .....	3
取り扱いのご注意 .....	7
同梱品の確認 .....	8
<b>1 ご使用前の確認 .....</b>	<b>9</b>
1.1 各部の名称 .....	9
1.2 バッテリの充電 .....	11
1.2.1 バッテリを入れる .....	11
1.2.2 充電をする .....	12
1.3 用紙のセット .....	13
1.4 ディスプレイの見方 .....	14
1.4.1 通常モード .....	14
1.4.2 エラーメッセージモード .....	14
1.4.3 各種設定モード .....	14
1.5 アイコンの見方 .....	15
1.5.1 ステータスアイコン .....	15
1.5.2 エラーアイコン .....	19
1.6 LED 点灯パターン .....	21
1.6.1 通常モード .....	22
1.6.2 低消費電力モード .....	23
1.7 ハクリモード (PW208 のみ) .....	24
1.7.1 ハクリモードへの切替え方 .....	24
1.7.2 ハクリモードから他のモードへの切替え方 .....	25
<b>2 動かしてみましよう .....</b>	<b>26</b>
2.1 プリンタの起動と終了 .....	26
2.1.1 プリンタの起動 .....	26
2.1.2 プリンタの終了 .....	27
2.2 通常モード .....	28
2.2.1 発行 (オンライン) .....	28
2.2.2 停止中 (オフライン) .....	29
2.2.3 印字キャンセル .....	29
2.3 調整モード .....	30
2.3.1 調整モードの画面遷移 .....	30
2.4 設定モード .....	31
2.4.1 設定モードへの移行 .....	31
2.4.2 設定モード画面メニューツリーの操作 .....	32
2.4.3 サブメニュー画面の見方 .....	33
2.4.4 設定画面 (数値入力) .....	34
2.4.5 設定画面 (選択項目) .....	35

2.5	設定モードメニューツリー .....	36
2.6	設定モードメニューの詳細 .....	42
2.6.1	印字メニュー .....	42
2.6.2	通信設定メニュー .....	56
2.6.3	バッテリーメニュー .....	74
2.6.4	アプリケーションメニュー .....	76
2.6.5	システムメニュー .....	82
2.6.6	ツールメニュー .....	92
2.6.7	インフォメーションメニュー .....	103
2.7	初期値一覧 .....	106
2.7.1	印字メニュー .....	106
2.7.2	通信設定メニュー .....	108
2.7.3	バッテリーメニュー .....	111
2.7.4	アプリケーションメニュー .....	111
2.7.5	システムメニュー .....	112
2.7.6	ツールメニュー .....	113
3	あれ?どうしたのかな .....	114
3.1	エラーメッセージモード .....	114
3.1.1	エラーメッセージ .....	114
3.1.2	ステータスLED .....	114
3.1.3	ブザー音 .....	114
3.2	エラー表 .....	115
3.3	警告アイコン表 .....	120
3.4	お知らせ表示 .....	121
4	オプション .....	122
5	毎日のお手入れ .....	123
5.1	プラテンローラー .....	123
5.2	サーマルヘッド .....	123
5.3	用紙ガイド .....	123
6	基本仕様 .....	124
6.1	プリンタの仕様 .....	124
6.2	用紙の仕様 .....	129
7	アフターフォロー .....	130

# 安全について

## 安全上のご注意

本章では、プリンタのご使用時における安全について記載しております。

プリンタをご使用になる前に必ずお読みください。

- プリンタを正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
- 次に示す表示と意味をよく理解してから本文をお読みください。



### 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 絵表示には次のような意味があります。



注意

この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」です。



感電注意



高温注意



ケガに注意



手を挟まない  
よう注意



禁止

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



分解禁止



火気厳禁



濡れ手禁止



接触禁止



必ず守る

この絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。



電源プラグ  
を抜く

## ⚠ 警告

■指定以外の電圧は使用しない

- 指定された電源電圧（AC100～240V）以外は、使用しないでください。火災・感電の原因になります。

■内部に異物を入れない

- プリンタの開口部（ケーブルの出口）から金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。万一、内部に異物や水が入った場合は、速やかに電源を切り、ACアダプタの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

■電源コードやケーブルの取り扱いについて

- 電源コードやケーブルを傷つけたり、破損、加工したりしないでください。また、重いものを載せたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 電源コードやケーブルが傷んだら（芯線の露出、断線、変形など）販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- 電源コードやケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- ACアダプタは本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。



禁止

■落下・破損したときは

- プリンタを落下・破損した場合は、速やかに電源を切り、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

■異常な状態で使用しない

- 万一、プリンタから煙がでていたり、変な臭いがするなどの異常が発生したまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源を切り、ACアダプタの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

■危険場所で使用しない

- 本プリンタは防爆認定機器ではありません。爆発性雰囲気では使用しないでください。引火・爆発の危険があります。

■ACアダプタ（オプション）について

- ACアダプタを分解しないでください。ACアダプタに直接ハンダ付けをおこなうような改造もしないでください。
- ACアダプタを加熱したり、火の中へ投入しないでください。また、ショートのおそれのあることはしないでください。
- ACアダプタを水や海水などにつけたり、端子部分を濡らさないでください。電池を発熱させたり、端子などのサビの原因となります。



分解禁止

■分解しないでください

- プリンタの分解や改造をしないでください。火災・感電の原因になります。内部の点検・調整・修理は、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにご依頼ください。



濡れ手禁止

■濡れた手で操作しない

- 濡れた手で電源スイッチの操作やACアダプタの抜き差しをしないでください。感電のおそれがあります。



火気厳禁

■プリンタ清掃液の取り扱い

- プリンタ清掃液は、火気厳禁です。加熱したり、火の中に放り込むことは、絶対におこなわないでください。

## ⚠ 注意

### ■ AC アダプタ (オプション)

- AC アダプタが熱くなることがありますので、注意してください。
- AC アダプタをコンセントから抜くときは、必ず、差し込みプラグを持って抜いてください。ケーブルを持って抜いた場合、芯線が露出や断線し、火災・感電の原因になります。
- AC アダプタに熱器具を近付けないでください。熱器具を近付けた場合、AC アダプタの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。

### ■ サーマルヘッドの取り扱い

- サーマルヘッドの端を素手で触るとケガをするおそれがあります。用紙の交換、清掃は、ケガをしないように注意をしてください。
- お客様によるサーマルヘッドの交換は、おこなわないでください。ケガ、火傷および感電のおそれがあります。

### ■ 持ち運び時の AC アダプタ (オプション) の扱い

- 移動されるときは、必ず AC アダプタの差し込みプラグをコンセントから抜いてください。外さないまま移動すると、AC アダプタが傷つき火災・感電の原因になります。

### ■ プリンタ清掃液の保存

- お客様が間違っただけ飲み込まないように手の届かない所に保管してください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。



注意

### ■ カッタ

- 刃物の構造をしています。手を切らないように注意してください。



注意

### ■ サーマルヘッド (高温注意)

- 印字後のサーマルヘッドは、高い温度になっています。用紙を交換するときや清掃するときは、火傷をしないように注意してください。



高温注意

### ■ カバー

- カバーの開閉には、指を挟まないように注意してください。



手を挟まないよう注意

### ■ 長期間ご使用にならないとき

- プリンタをご使用にならないときは、安全のためバッテリーパックを外し、AC アダプタの差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

### ■ お手入れ・清掃のとき

- プリンタのお手入れや清掃をするときは、安全のためバッテリーを抜いておこなってください。また、AC アダプタの差し込みプラグをコンセントから抜いてください。



電源プラグを抜く



## バッテリーについての安全上のご注意

バッテリーの著しい寿命低下、発熱、発煙、破裂、発火などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

### 警告



禁止



火気厳禁

- バッテリーを分解することやバッテリーに直接ハンダ付けをおこなうような改造はしないでください。
- バッテリーへの充電は指定の AC アダプタでおこなってください。
- バッテリーの端子に濡れた手で触れたり、水や塩分を含んだ水につけたり濡らさないでください。
- バッテリーに強い衝撃を与えたり投げたりしないでください。また、破損、変形したバッテリーは使用しないでください。
- バッテリーから液漏れして液が目に入ったときは、こすらず、ただちに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、医師の治療を受けてください。放置すると目に障害を与える原因になります。
- 所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
- バッテリーの使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱したり、変色、変形その他異常がある場合は使用しないでください。
- 液漏れ、異臭がするときは、ただちに火気から離してください。
- バッテリーパックを加熱したり、火の中に投入したりしないでください。
- バッテリーパックの端子がショートするおそれのあることはしないでください。

### 注意



禁止

- バッテリーパック（リチウムイオンバッテリーパック）には寿命があります。バッテリーの充電回数が約 300 回、または、ご使用開始から約 3 年のどちらか早い方を目安にお取り替えください。  
※ 使用開始日が不明なバッテリーパックについては、お客さまヘルプデスクにお問い合わせください。
- バッテリーパックに強い衝撃が加わり、打痕・外観破損（ひび割れなど）がある場合は、直ちにご使用中を中止し、新しいバッテリーパックへ交換してください。ご使用を続けられますと、バッテリーパックの異常発熱・発火の原因となります。
- 直射日光の強い所や、窓を閉め切った自動車内などの高温の場所で使用や放置しないでください。また、バッテリーパックは、5～35℃の温度範囲で充電してください。
- バッテリーが液漏れして液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりするおそれがあります。
- お買い上げ後、はじめてご使用の場合、サビや異臭、発熱、その他異常と思われたときは、使用しないで、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにご連絡ください。

### バッテリーに関するお願い

- 使用済みのバッテリーは、希少資源の有効利用のために、接点にテープでシールするなどの絶縁処理をおこなってから、処分方法を販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクへご相談ください。
- 乾電池などの他の電池とは混ぜないでください。

## 取り扱いのご注意

水平な場所に保管してください。

- プリンタを保管するときは凹凸があったり斜めになっている場所には保管しないでください。落下の原因になります。

振動のある場所に保管しないでください。

- プリンタを保管するときは振動のある場所には保管しないでください。

高温・多湿な場所での使用、または保管しないでください。

- 温度や湿度が高くなる場所での使用、または保管しないでください。温度や湿度が高い場所は、プリンタやバッテリーの故障や寿命を縮める原因となります。(推奨環境：10～30℃)

ほこりを避けて保管してください。

- ほこりの多い場所に保管しないでください。故障やプリンタ寿命を縮める原因となります。

ヒーターや冷蔵庫などのそばから電源を供給しないでください。

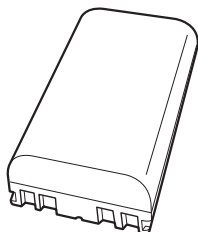
- 消費電力の大きい電気製品の近辺にある電源から、電源を供給しないでください。電圧低下による誤動作や故障の原因となります。

## 同梱品の確認

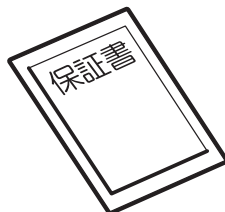
同梱品を確認してください。

もし足りないものがありましたら、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクまでお問い合わせください。

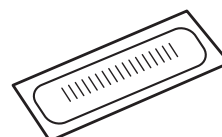
バッテリー



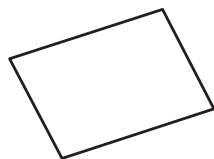
保証書



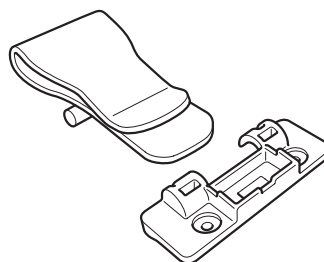
BD アドレスステッカ



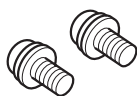
ダウンロードガイド  
安全上のご注意  
バッテリーパックについて  
OSSについて  
MFi ライセンスインフォメーション



ベルトクリップ(1対)  
(PW208 のみ)



ネジ(2本)  
(PW208 のみ)



※ AC アダプタはオプションになります。

### ▲保証書と箱は大切に

本プリンタは、正常なご使用のもとにおける故障については、納入から 6 か月を保証期間として無償修理いたします。

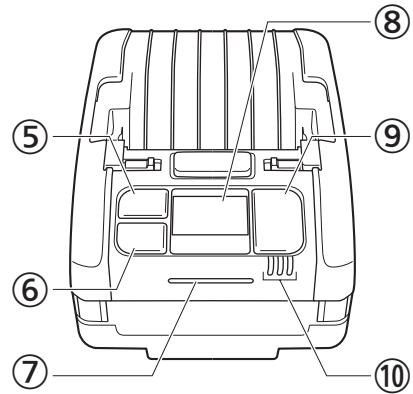
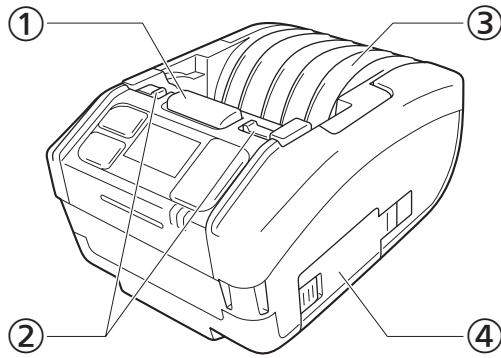
また、本プリンタを梱包していた箱とプリンタおさえ（緩衝材）も保管してください。修理をご依頼いただくときに、この箱に本プリンタを梱包して送っていただきます。

# 1

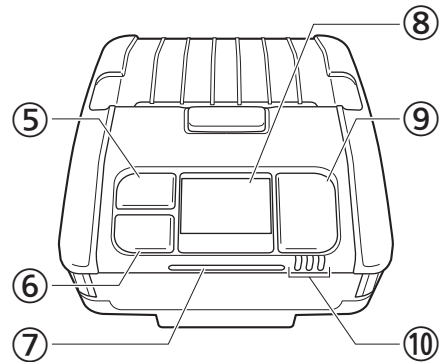
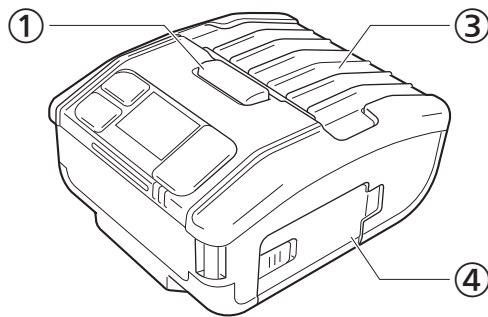
## ご使用前の確認

### 1.1 各部の名称

PW208

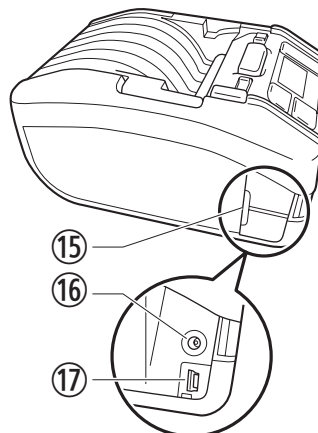
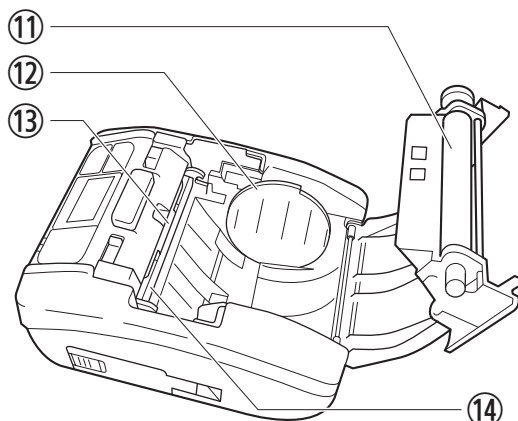


PW208m

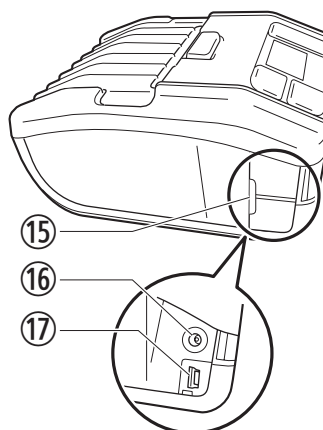
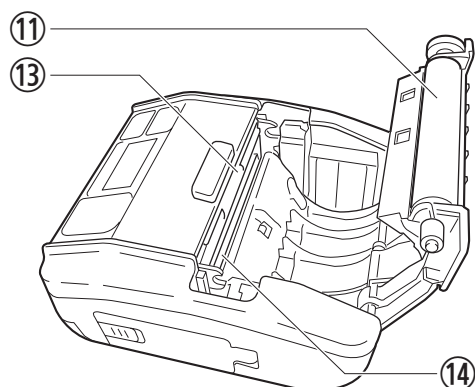


- |                          |              |
|--------------------------|--------------|
| ① カバーオープンボタン             | ⑦ ステータス LED  |
| ② ハクリモード切替レバー (PW208 のみ) | ⑧ ディスプレイ     |
| ③ オープンカバー                | ⑨ 電源キー       |
| ④ バッテリカバー                | ⑩ バッテリ残量 LED |
| ⑤ 紙送り / 決定 キー            |              |
| ⑥ 発行 / 選択 キー             |              |

PW208



PW208m



- ① プラテンローラー (消耗品)
- ② 用紙ガイド (PW208 のみ)
- ③ カッター
- ④ サーマルヘッド (消耗品)

- ⑤ インタフェースカバー
- ⑥ DC 入力端子 (電源コネクタ)
- ⑦ USB コネクタ

※ プラテンローラーは用紙を搬送する部品です。

サーマルヘッドは用紙に印字をする部品です。

印字に関わる部分ですので、定期的にお手入れしてください。 (☞ 123 ページ)



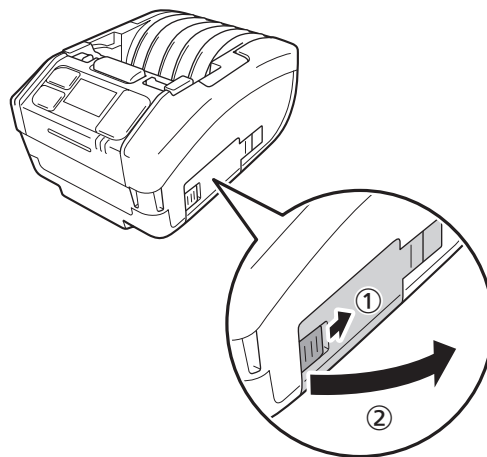
• カッターは刃物の構造をしています。手を切らないように注意してください。

## 1.2 バッテリーの充電

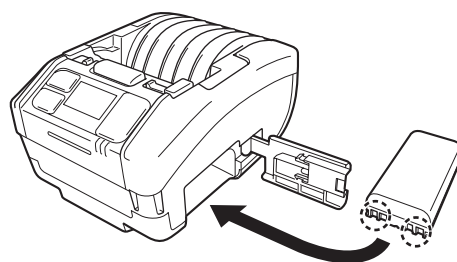
### 1.2.1 バッテリーを入れる

バッテリーの取付け、取外しは、プリンタの電源を切ってからおこなってください。

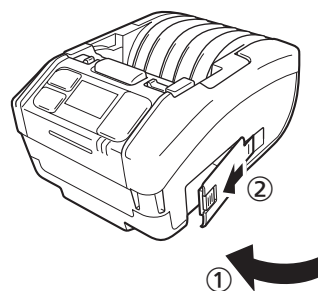
- 1 バッテリーカバーを開けます。  
バッテリーカバーのレバーをスライドします (①)。  
バッテリーカバーを開けます (②)。



- 2 バッテリーを入れます。  
バッテリーの端子がある面から、プリンタに入れます。



- 3 カバーを閉じます。  
バッテリーカバーを閉じます (①)。  
バッテリーカバーを押さえながら、バッテリーカバーのレバーをスライドします (②)。



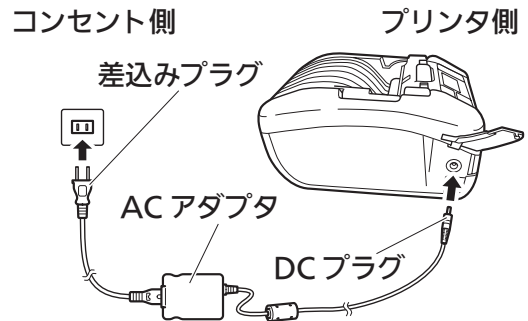
## 1.2.2 充電をする



- AC アダプタ (オプション) は本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。また、他の AC アダプタを本プリンタに接続した場合、故障の原因になりますので絶対に使用しないでください。
- バッテリーは長時間充電しないと使えなくなる場合があります。定期的にバッテリーの充電をしてください。

- 1 AC アダプタ (オプション) を接続します。  
インタフェースカバーを開けます。  
DC プラグをプリンタに、差込みプラグをコンセントに接続します。

- 2 充電を始めます。  
充電中は電源を切らないでください。  
充電中の表示は、アイコンの見方 (☞ 17 ページ) をご覧ください。



### バッテリーについて

- バッテリーパック (リチウムイオンバッテリーパック) には寿命があります。満充電しても次第に使用できる時間が短くなります。バッテリーの特性によるもので異常や故障ではありません。バッテリーの充電回数が約 300 回、または、ご使用開始から約 3 年のどちらか早い方を目安にお取り替えください。
- 充電時間 (約 3 時間) は目安です。周囲の温度やバッテリーの状態により多少異なります。
- バッテリーパックに強い衝撃が加わり、打痕・外観破損 (ひび割れなど) がある場合は、直ちにご使用を中止し、新しいバッテリーパックへ交換してください。ご使用を続けられますと、バッテリーパックの異常発熱・発火の原因となります。
- 充電は、5 ~ 35℃の場所でおこなってください。高温や低温で充電するとバッテリーが劣化することがあります。
- プリンタが熱くなっている、または冷たくなっているときは、バッテリーを 5 ~ 35℃の場所に約 1 時間放置してから充電してください。10 ~ 30℃の温度範囲内で充電することをお勧めします。
- バッテリー温度がある一定の温度以上または以下の場合、充電待機状態となり充電を停止します。
- バッテリーは長時間充電しないと使えなくなる場合があります。定期的にバッテリーの充電をしてください。
- 満充電の状態でご保管しないでください。劣化する可能性があります。
- 高温状態での保存はしないでください。劣化する可能性があります。
- 充電器の使い方は、充電器の取扱説明書をご覧ください。
- カーチャージャーの使い方は、カーチャージャーの取扱説明書をご覧ください。

### 充電中の注意

- 充電中に電源キーを押し続けると、下記のエラーを表示します。  
エラー 1067「充電中です 充電が完了するまでお待ちください」
- 電源が入っていない状態で AC アダプタをコンセントに接続すると、自動で電源が入ります。
- 充電中はバッテリーを外さないでください。充電中にバッテリーを外すと、下記のエラーを表示します。  
エラー 1060「バッテリー未挿入 バッテリーを入れてください」
- 自動電源オフ機能を有効に設定していても、充電中はプリンタの電源はオフしません。
- ローバッテリー状態では、充電中であっても印字動作、搬送動作はおこなえません。ローバッテリーエラーが解除されるまでお待ちください。
- バッテリーエラーが発生した場合、そのバッテリーは使用せず、他のバッテリーに交換してください。
- プリンタにバッテリーを挿入している場合でも、バッテリー未挿入エラーが発生した場合は、バッテリーを交換してください。
- 劣化したバッテリーを使用して印字中に電源が切れ、プリンタを再起動できない場合は、バッテリーを交換してください。

## 1.3 用紙のセット



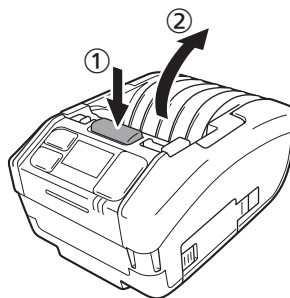
注意

- 用紙をセットするときは、手を切らないようカッタに注意してください。

弊社指定のサプライ製品のご利用をお願いします。  
ご使用になる用紙にて動作確認をお願いします。

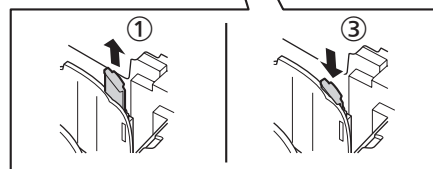
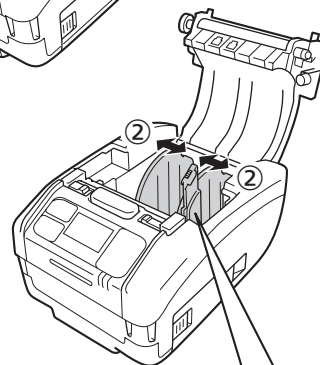
1

オープンカバーを開けます。  
カバーオープンボタンを押します (①)。  
オープンカバーを開けます (②)。



2

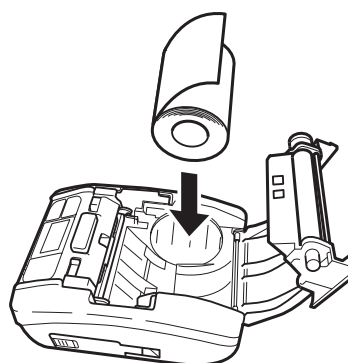
用紙ガイドを調整します。(PW208のみ)  
レバーを上げます (①)。  
用紙サイズに合わせて、用紙ガイドを調整します (②)。  
レバーを下げ、用紙ガイドを固定します (③)。



3

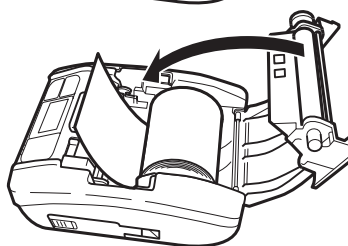
用紙をセットします。  
用紙の表面がサーマルヘッドと接する向きで  
セットします。

用紙が入りにくいときは、用紙の側面を平らに  
巻き直してください。



4

オープンカバーを閉じます。  
カチッと音がするまで閉じます。





## 1.4 ディスプレイの見方

ディスプレイは3つのモードの表示があります。

- 通常モード
- エラーメッセージモード
- 各種設定モード

それぞれ表示される内容が異なります。

### 1.4.1 通常モード

通常モードのときの画面です。

- ① ステータスアイコンを表示します。
- ② バッテリーの残量をアイコンと数値 (%) で表示します。
- ③ メッセージを表示します。
- ④ 発行枚数を表示します。
- ⑤ 拡大アイコンを表示します。

拡大アイコン表示の設定方法は「2.6.5 システムメニュー」の「拡大アイコン表示」(☞ 89 ページ)をご覧ください。

通常表示



拡大アイコン表示

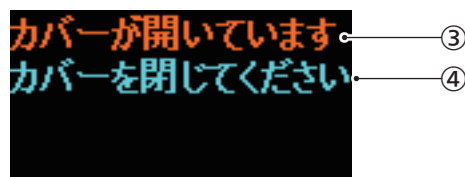


### 1.4.2 エラーメッセージモード

エラーメッセージの画面です。

- ① エラー番号を表示します。
- ② エラーアイコンを表示します。
- ③ エラーの種類を表示します。
- ④ エラーの解除方法を表示します。

表示内容の詳細は「3.1.1 エラーメッセージ」(☞ 114 ページ)をご覧ください。



### 1.4.3 各種設定モード

設定モードのときの画面です。

- ① 設定モードの種類を表示します。
- ② 現在の選択項目を表示します。
- ③ 現在の設定内容を表示します。

表示内容の詳細は「2.4 設定モード」(☞ 31 ページ)をご覧ください。



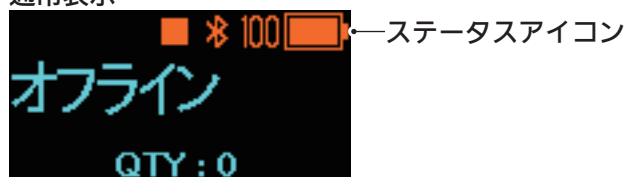
## 1.5 アイコンの見方

### 1.5.1 ステータスアイコン

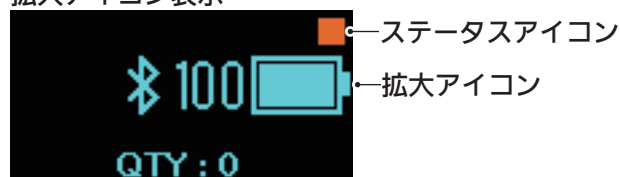
画面のアイコンは、プリンタの状態を表しています。

表示できるアイコン数は限られています。優先度の高いアイコンから表示し、表示できないアイコンは、表示スペースがあいたときに表示します。







通常表示



拡大アイコン表示



- プリンタ状態

ステータスアイコン	説明
	プリンタが停止中です。(オフライン状態)
	プリンタがデータ受信中です。
	プリンタが発行中です。(オンライン状態)
	プリンタが発行停止中です。(オフライン状態)
	プリンタがハクリ待ち状態です。 ハクリモード (☞ 24 ページ) (PW208 のみ) または動作モードで“ノンセバ”を選択している場合 (☞ 44 ページ) にのみ表示されます。
	HEX ダンプモードが有効です。 HEX ダンプモードで“有効”を選択している場合にのみ表示されます。(☞ 98 ページ)

• インタフェース情報

ステータスアイコン	拡大アイコン	説明
	—	USB 接続時に表示されます。
		Bluetooth は使用可能ですが、未接続です。
		Bluetooth は使用可能で接続されています。
		Wi-Fi は使用可能ですが、未接続です。 オプションの無線 LAN を取付けている場合にのみ表示されます。
		Wi-Fi は未接続です。
		Wi-Fi が接続されています。 シグナルレベル：1 オプションの無線 LAN を取付けている場合にのみ表示されます。
		Wi-Fi が接続されています。 シグナルレベル：2 オプションの無線 LAN を取付けている場合にのみ表示されます。
		Wi-Fi が接続されています。 シグナルレベル：3 オプションの無線 LAN を取付けている場合にのみ表示されます。
		Wi-Fi が接続されています。 シグナルレベル：4 オプションの無線 LAN を取付けている場合にのみ表示されます。
	—	Wi-Fi Direct を設定している場合に表示されます。 オプションの無線 LAN を取付けている場合にのみ表示されます。
	—	USB メモリ接続時に表示されます。







— : 拡大アイコンは表示されません。

• バッテリー情報

エコ充電機能無効時		エコ充電機能有効時		説明
ステータスアイコン	拡大アイコン	ステータスアイコン	拡大アイコン	
				バッテリーの残量を表示します。 エコ充電機能を“無効”にしている場合は、バッテリー残量レベルに応じて表示内容が異なります。 バッテリーの残量はアイコンの左に数値 (%) でも表示します。
				AC アダプタで充電中です。 エコ充電機能を“無効”にしている場合は、バッテリー残量レベルに応じて表示内容が異なります。 バッテリーの残量はアイコンの左に数値 (%) でも表示します。
				プリンタの内部温度が上昇または、低下して、バッテリーの充電ができない状態です。
				または  が表示された場合は、バッテリーの交換時期です。



エコ充電機能の詳細は、「2.6.3 バッテリーメニュー」の「エコ充電機能」(☞ 74 ページ) をご覧ください。

• 警告表示

アイコン	説明
	受信バッファニアフルを検出しています。 受信バッファの空き容量が少なくなりました。アイコンが消えるまでお待ちください。
	コマンドエラーを検出しています。 印字データが間違っている可能性があります。印字データを確認してください。
	サーマルヘッドが断線しています。 印字レイアウトによってはヘッドエラーを表示します。
	IP アドレスが設定されていません。 ネットワークの設定を確認してください。また、DHCP サーバーが正常に動作しているか確認してください。
	iOS との認証が中断されました。 アイコンが消えるまで（約 130 秒）待ってから、再度認証をおこなってください。iOS との認証中は、プリンタの電源を切ったりバッテリーを抜いたりしないでください。
	基板の故障により、iOS との Bluetooth 接続ができません。 お客さまヘルプデスクに連絡してください。

エラーの詳細は「3.3 警告アイコン表」(☞ 120 ページ) をご覧ください。

• お知らせ表示

アイコン	説明
	プリンタ清掃時期になりました。清掃時期の設定は、「2.6.5 システムメニュー」の「お知らせ機能」(☞ 83 ページ) をご覧ください。
	サーマルヘッドまたはプラテンローラーの交換時期になりました。交換時期の設定は、「2.6.5 システムメニュー」の「お知らせ機能」(☞ 83 ページ) をご覧ください。

お知らせ表示の詳細は「3.4 お知らせ表示」(☞ 121 ページ) をご覧ください。








プラテンローラー、サーマルヘッドの交換は、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにご連絡ください。

## 1.5.2 エラーアイコン

プリンタエラーが発生した場合は、画面上にエラーの状態がアイコンで表示されます。



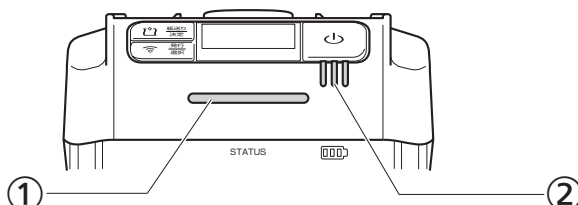
アイコン	説明
	マシンエラーが検出されました。
	プログラムエラーが検出されました。 メモリへの書き込みエラーが検出されました。
	バッファ容量を超えるデータを受信しました。 不適切なプロトコルを受信しました。
	カバーが開いています。
	用紙がなくなりました。
	用紙サイズエラーが検出されました。
	サーマルヘッドエラーが検出されました。
	コマンドエラーが検出されました。 CRC エラーが検出されました。
	サーマルヘッド、プリンタ、またはモーターの温度が許容範囲を超えています。

アイコン	説明
	用紙センサエラーが検出されました。
	Wi-Fi モジュールエラーが検出されました。
	Bluetooth モジュールエラーが検出されました。
	バッテリーの充電をしてください。 ローバッテリー状態で充電中です。
	バッテリーの劣化が検出されました。
	バッテリーの未挿入、劣化、異常が検出されました。
	カバーを開け用紙を再セットしてください。

エラーの詳細は「3.2 エラー表」( [📄 115 ページ](#) ) をご覧ください。

## 1.6 LED 点灯パターン

LED の点灯パターンを説明します。



### ① ステータス LED

色 : 青 / 赤

表示内容 : プリンタの状態

オフライン状態 : ○

オンライン状態 : 青●

低消費電力モード : 青◎長

エラーメッセージモード : 赤●

### ② バッテリ残量 LED

色 : 緑

表示内容 : プリンタの給電状態

バッテリーの残量

- LED の点灯・点滅パターンは5つです。

記号	点灯・点滅パターン	点灯・点滅の間隔
●	点灯	—
○	消灯	—
◎	点滅	400 ms 点灯、400 ms 消灯
◎短	短い点滅	200 ms 点灯、200 ms 消灯
◎長	長い点滅	100 ms 点灯、1500 ms 消灯



## 1.6.1 通常モード

ACアダプタ 接続状態	バッテリー 状態	ステータス (STATUS)	バッテリー残量		
			1 (緑)	2 (緑)	3 (緑)
未接続	70% 以上	—	●	●	●
	40% 以上 70% 未満	—	●	●	○
	40% 未満	—	◎短	○	○
	0% * <sup>1</sup>	赤●	○	○	○
	未挿入				
接続	充電完了	—	●	●	●
	70% 以上	—	●	●	◎
	40% 以上 70% 未満	—	●	◎	○
	40% 未満	—	◎	○	○
	0% * <sup>2</sup>	赤●	◎	○	○
	未挿入* <sup>3</sup>	赤●	○	○	○

— : プリンタの状態によって変わります。

\* 1 : エラー 1043 「ローバッテリー」状態です。

\* 2 : エラー 1059 「充電中です」状態です。

\* 3 : エラー 1060 「バッテリー未挿入」状態です。

## 1.6.2 低消費電力モード

ローバッテリーエラーの状態では低消費電力モードへは移行しません。

ACアダプタ 接続状態	バッテリー 状態	ステータス (STATUS)	バッテリー残量		
			1 (緑)	2 (緑)	3 (緑)
未接続	70% 以上	青◎長	○	○	○
	40% 以上 70% 未満	青◎長	○	○	○
	40% 未満	青◎長	○	○	○
	0% *1				
	未挿入				
接続	充電完了	青◎長	○	○	○
	70% 以上	青◎長	●	●	◎
	40% 以上 70% 未満	青◎長	●	◎	○
	40% 未満	青◎長	◎	○	○
	0% *2				
	未挿入 *3				

\* 1 : エラー 1043 「ローバッテリー」状態です。

\* 2 : エラー 1059 「充電中です」状態です。

\* 3 : エラー 1060 「バッテリー未挿入」状態です。

## 1.7 ハクリモード (PW208 のみ)

### 1.7.1 ハクリモードへの切替え方



- ハクリユニットをセットするときは、手を切らないようカッタに注意してください。

弊社指定のサプライ製品のご利用をお願いします。  
ご使用になる用紙にて動作確認をお願いします。

- 1 オープンカバーを開けます。  
オープンカバーボタンを押します (①)。  
オープンカバーを開けます (②)。

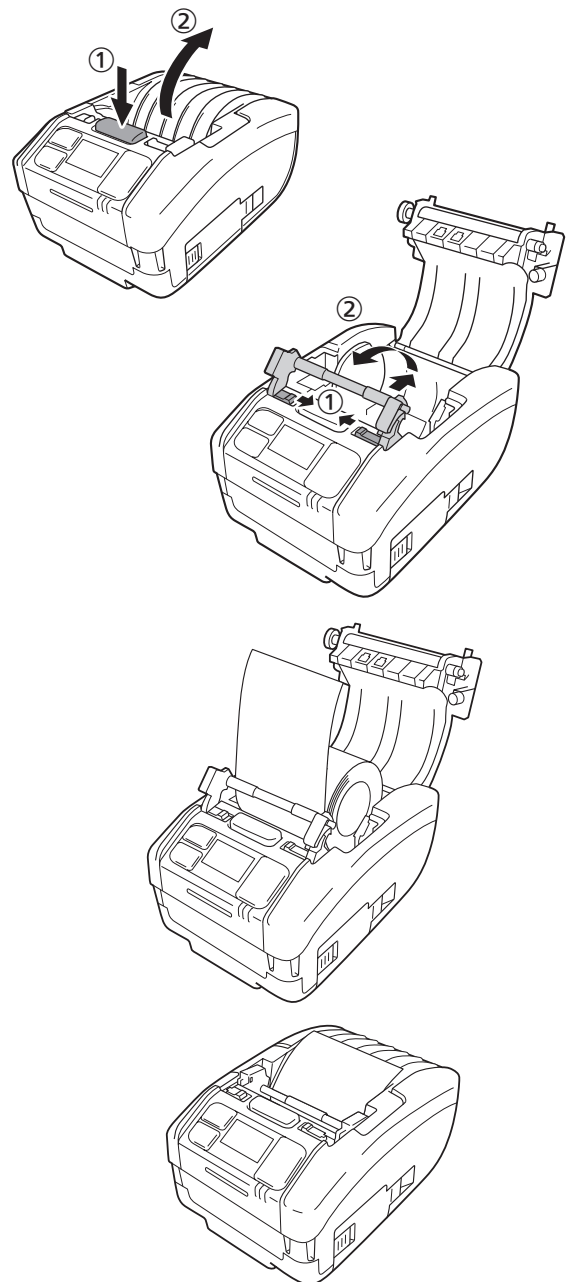
- 2 ハクリユニットを出します。  
ハクリ切替レバーをスライドさせます (①)。  
ハクリユニットを出します (②)。

- 3 用紙をセットします。  
用紙を一枚分引き出し、用紙の表面がサーマル  
ヘッドと接する向きでセットします。

用紙が入りにくいときは、用紙の側面を平らに巻  
き直してください。

- 4 オープンカバーを閉じます。  
用紙がハクリユニットと、オープンカバーの間に  
挟まるようにし、オープンカバーをカチッと音が  
するまで閉じます。

ハクリユニットをハクリ発行が可能な状態にし  
た場合、動作モード (☞ 44 ページ) は自動でハク  
リモードに切替わります。



## 1.7.2 ハクリモードから他のモードへの切替え方

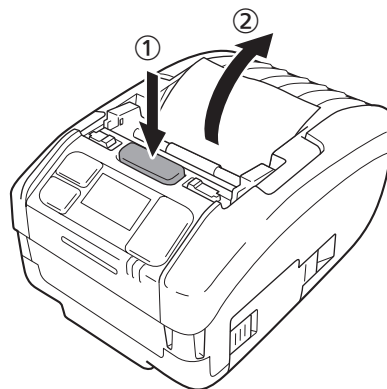


注意

- ハクリユニットをセットするときは、手を切らないようカッタに注意してください。

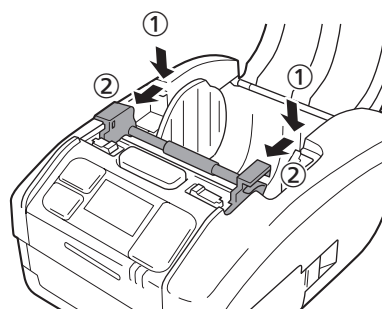
1

オープンカバーを開けます。  
カバーオープンボタンを押します (①)。  
オープンカバーを開けます (②)。



2

ハクリユニットを収納します。  
水平になるまで、ハクリユニットの両端を押し下げます (①)。  
ハクリユニットをカチッと音がするまで手前に  
スライドさせます (②)。



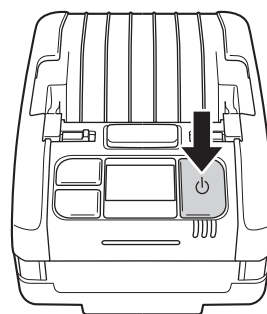
# 2

## 動かしてみましよう

### 2.1 プリンタの起動と終了

#### 2.1.1 プリンタの起動

- 1 電源キー（電源キー）を押します。




- 2 「オンライン」（通常表示時のみ）が表示されます。

通常表示



拡大アイコン表示



“オンライン起動”（[52 ページ](#)）で“無効”を選択している場合、「オフライン」（通常表示時のみ）と  アイコンが表示されます。**発行 / 選択** キーを押し、発行（オンライン）画面にしてください。


通常表示

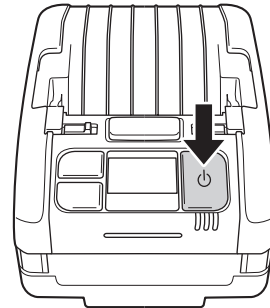


拡大アイコン表示



## 2.1.2 プリンタの終了

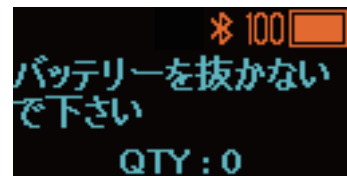
- 1 ステータス LED が赤点灯するまで  キー（電源キー）を押します。



- 2 「バッテリーを抜かないでください」を表示します。

プリンタの電源を切っています。ブザーが鳴り、ステータス LED の赤点灯と画面の表示が消えるまでお待ちください。

通信接続状態により、本画面の表示時間が長いことがあります。



## 2.2 通常モード

### 2.2.1 発行（オンライン）

#### 発行可能画面

データ受信待ち状態の画面です。

通常表示



拡大アイコン表示



#### 発行中画面

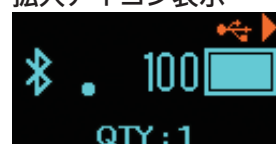
用紙を発行中の画面です。

▶アイコンが表示されます。

通常表示



拡大アイコン表示



キーの名前、キーの押し方	画面、プリンタの動き
発行 / 選択	データがある場合：発行停止中画面（オフライン）に変わります。 データがない場合：停止中画面（オフライン）に変わります。
紙送り / 決定	発行可能画面：再発行設定を“有効”に設定した場合、直前に印字したデータの再発行を開始します。再発行設定は、「2.6.1 印字メニュー」の「再発行設定」(54 ページ)をご覧ください。 発行中画面：ハクリ動作設定を“手動”に設定した場合、次の印字を開始します。ハクリ動作設定は、「2.6.1 印字メニュー」の「ハクリ動作設定」(55 ページ)をご覧ください。

## 2.2.2 停止中（オフライン）

### 停止中画面

プリンタが印字発行できない状態です。

■アイコンが表示されます。

発行 / 選択 キーを押して、発行可能にしてください。

### 通常表示



### 拡大アイコン表示



### 発行停止中画面

用紙の発行を一時停止している画面です。

■アイコンが表示されます。

### 通常表示



### 拡大アイコン表示

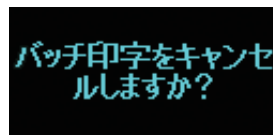


キーの名前、キーの押し方	画面、プリンタの動き
発行 / 選択	発行（オンライン）画面に変わります。
紙送り / 決定	用紙を1枚フィードします。
発行 / 選択 + 紙送り / 決定 + 2秒以上押す	データがない場合：設定モード画面に変わります。 データがある場合：調整モード画面に変わります。
発行 / 選択 + 紙送り / 決定	データがある場合：印字中キャンセル画面に変わります。

## 2.2.3 印字キャンセル

### 印字キャンセル画面

受信済みのデータをすべてクリアします。



### キャンセル中画面

受信済みのデータをクリアしている画面です。



キーの名前、キーの押し方	画面、プリンタの動き
発行 / 選択	データを消去しないで、停止中（オフライン）画面に変わります。
紙送り / 決定	データを消去して、停止中（オフライン）画面に変わります。
発行 / 選択 + 紙送り / 決定	停止中（オフライン）画面







## 2.3 調整モード

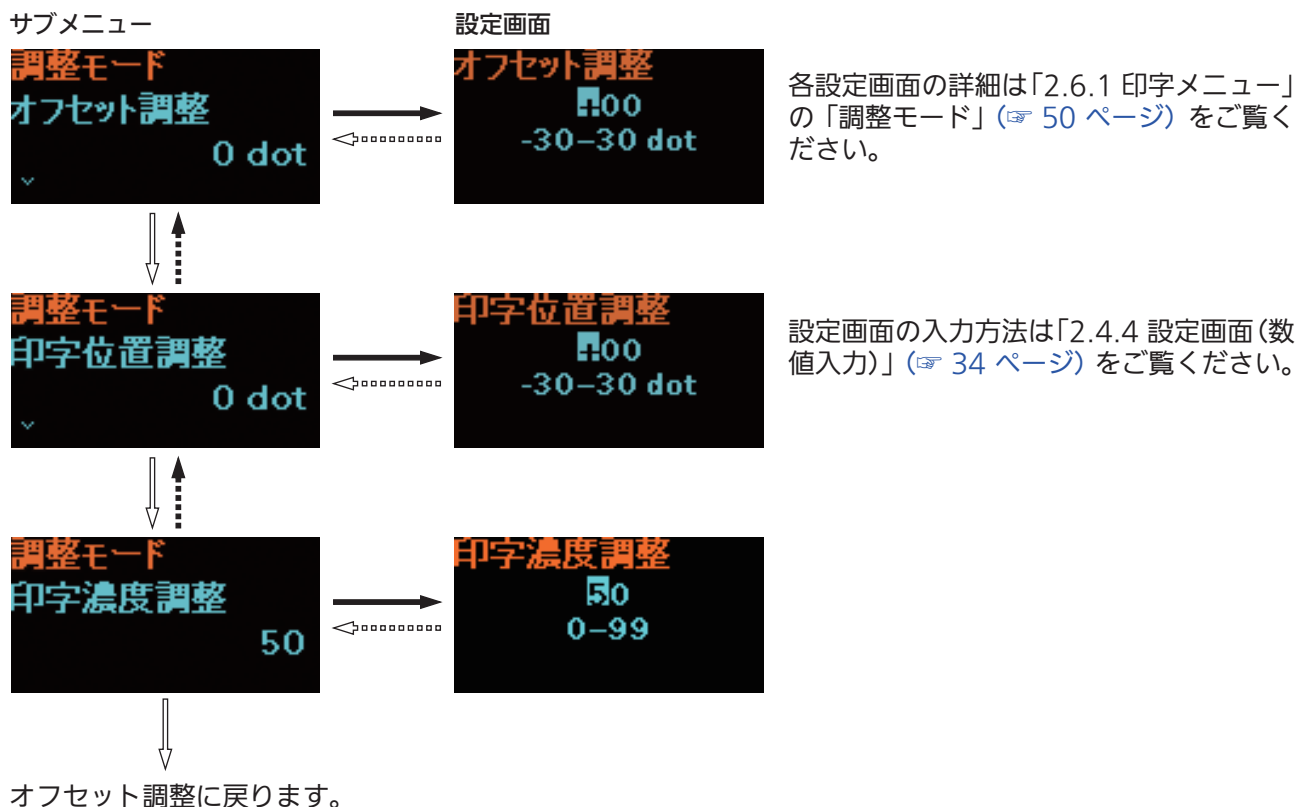
発行停止中画面で、**発行 / 選択**キーと**紙送り / 決定**キーを同時に 2 秒以上押し続けると、調整モード画面を表示します。

調整モードには、以下の 3 つのサブメニューがあります。

- ・ オフセット調整
- ・ 印字位置調整
- ・ 印字濃度調整

### 2.3.1 調整モードの画面遷移

キーの名前、キーの押し方	矢印の種類	画面の動き
発行 / 選択		次の選択項目に移動します。
紙送り / 決定		選択項目を決定し、設定画面に移動します。
発行 / 選択 + 紙送り / 決定		前の選択項目に移動します。
⏻キー（電源キー）		サブメニューを表示中は、停止中（オフライン）画面に移動します。 設定画面を表示中は、入力内容を破棄してサブメニューに戻ります。



## 2.4 設定モード

設定モードでは、本プリンタの各種設定をおこないます。  
設定モードには、以下のメインメニューがあります。



メインメニュー	説明
Wi-Fi Direct	Wi-Fi ダイレクト機能を設定します。 オプションの無線 LAN を取付けている場合にのみ表示されます。 設定画面の詳細は「2.6.2 通信設定メニュー」の「Wi-Fi Direct」(☞ 63 ページ) をご覧ください。
印字	印字に関する設定を変更できます。
通信設定	インターフェースに関する設定を変更できます。
バッテリー	バッテリーに関する設定の変更や、バッテリーの状態を確認できます。
アプリケーション	プリンタコマンドに関する設定を変更できます。
システム	表示、お知らせ機能、ブザー音などの機能に関する設定の変更ができます。
ツール	テスト印字、リセットの操作や、その他の設定を変更できます。
インフォメーション	プリンタの情報を確認できます。

### 2.4.1 設定モードへの移行

- 1 停止中 (オフライン) 画面にします。  
[発行 / 選択] キーを押し、停止中 (オフライン) 画面にします。



印字データがある場合は、設定モードへ移行する前に、印字を完了するかキャンセルしてください。

発行停止中画面で、[発行 / 選択] キーと [紙送り / 決定] キーを同時に押し、印字中キャンセル画面 (☞ 29 ページ) を表示します。

- 2 設定モードに移行します。  
停止中 (オフライン) 画面で、[発行 / 選択] キーと [紙送り / 決定] キーを同時に 2 秒以上押し続けると、設定モード画面を表示します。

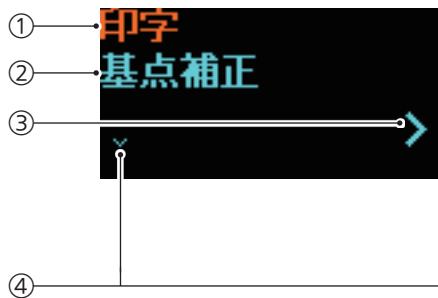




## 2.4.3 サブメニュー画面の見方

サブメニュー画面には以下の情報が表示されます。

次の階層にサブメニューがある場合



次の階層が設定画面の場合



① 前の階層での選択項目

前の階層で選択した選択項目を表示します。

② 現在の選択項目

選択しているサブメニューを表示します。

③ > マーク

次の階層にサブメニューがあるときに表示します。

④ V マーク





次の選択項目があるときに表示します。

⑤ 現在の設定値

選択しているサブメニューの、現在の設定内容を表示します。

## 2.4.4 設定画面（数値入力）

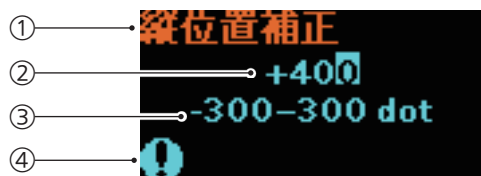
以下の表のキーの押し方と、画面遷移図に従って数値を入力してください。

キーの名前、キーの押し方	矢印の種類	画面の動き
発行 / 選択		符号：“+”と“-”を切替えます。 数字：数字を+1ずつ、または1段階ずつ切替えます。*1
紙送り / 決定		最下桁以外：符号、数値を決定し、下の桁へ移動します。 最下桁：入力値を決定し、次のサブメニューに移動します。*2
発行 / 選択 + 紙送り / 決定		符号または最上位桁：最下桁に移動します。 符号または最上位桁以外：符号、または上の桁に移動します。
⏻キー（電源キー）		入力内容を破棄して、サブメニューに戻ります。

\*1：設定範囲外の場合は、！マークが点滅します。

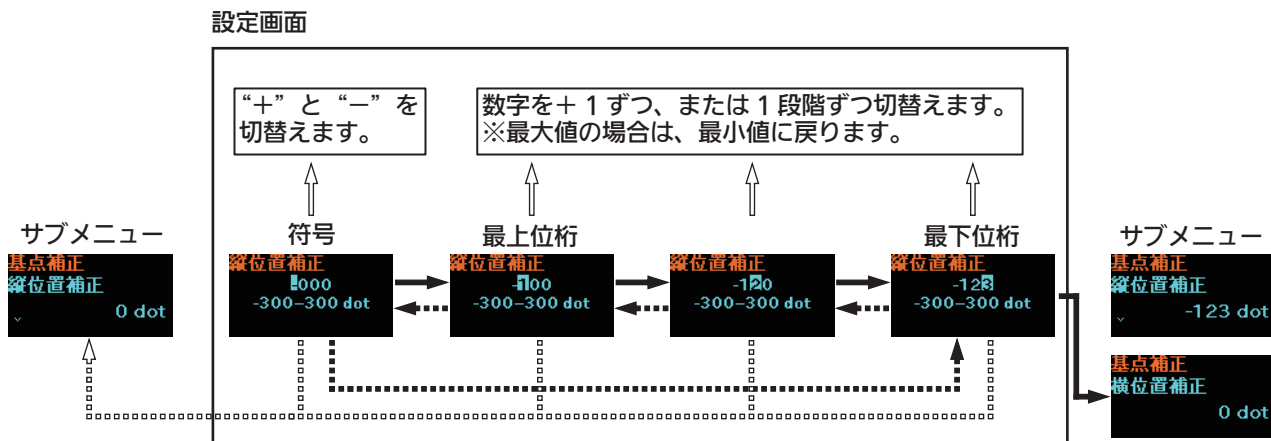
\*2：同一階層内で最後のサブメニューの場合は、設定した項目のサブメニューに戻ります。！マークが点滅中は、符号または最上位桁に戻ります。

### 設定画面の見方







- ① 現在の選択項目  
設定中のサブメニューを表示します。
- ② 入力値
- ③ 設定範囲
- ④ !マーク  
入力値が設定範囲外の場合に点滅します。

### 画面遷移図



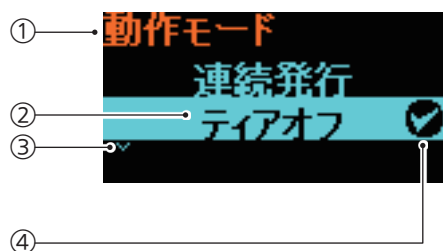
## 2.4.5 設定画面（選択項目）

以下の表のキーの押し方と、画面遷移図に従って選択項目を決定してください。

キーの名前、キーの押し方	矢印の種類	画面の動き
発行 / 選択		次の選択項目に移動します。
紙送り / 決定		選択項目を決定し、次のサブメニューに移動します。*
発行 / 選択 + 紙送り / 決定		前の選択項目に移動します。
⏻キー（電源キー）		サブメニューに戻ります。

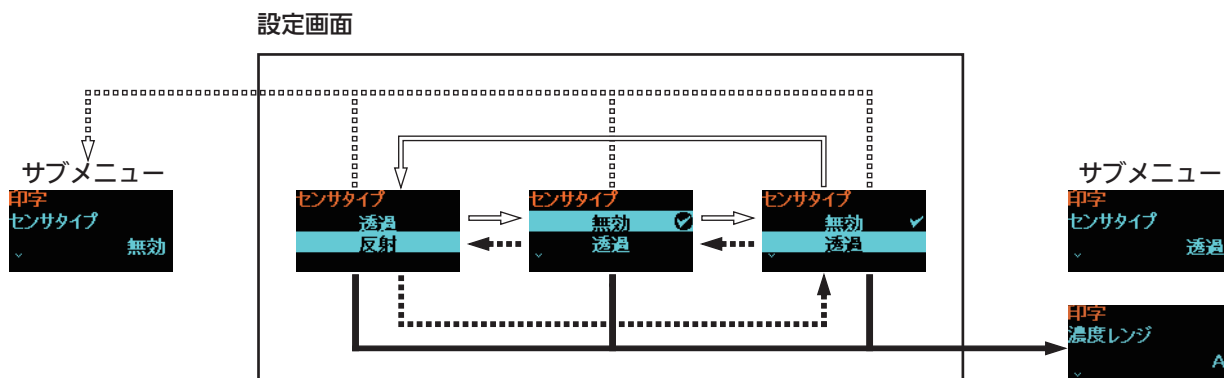
\*：同一階層内で最後のサブメニューの場合は、設定した項目のサブメニューに戻ります。

### 設定画面の見方




- ① 現在の選択項目  
設定中のサブメニューを表示します。
- ② カーソル  
選択している項目を表示します。
- ③ Vマーク  
次の選択項目があるときに表示します。
- ④ チェックマーク  
現在の設定内容を表しています。

### 画面遷移図



## 2.5 設定モードメニューツリー

設定モードには7つのメインメニューがあり、各メインメニューにはサブメニューがあります。以下の表は、設定モードメニューのどこに必要な情報があるかを案内しています。青い項目をクリックすると、選択した項目の詳細を見ることができます。

 Wi-Fi Direct	サブメニュー
	Wi-Fi Direct


 印字	サブメニュー																																																					
	<table border="1"> <tr><td colspan="2">用紙長</td></tr> <tr><td colspan="2">用紙幅</td></tr> <tr><td colspan="2">印字速度</td></tr> <tr><td colspan="2">動作モード</td></tr> <tr><td colspan="2">センサタイプ</td></tr> <tr> <td>ハクリ設定 (PW208のみ)</td> <td>バックフィード動作 (PW208のみ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>センサタイプ (PW208のみ)</td> </tr> <tr><td colspan="2">濃度レンジ</td></tr> <tr><td colspan="2">印字濃度</td></tr> <tr> <td>基点補正</td> <td>縦位置補正</td> </tr> <tr> <td></td> <td>横位置補正</td> </tr> <tr> <td rowspan="13">詳細設定</td> <td>ヘッドチェック</td> </tr> <tr><td colspan="2">ヘッドチェックモード</td></tr> <tr><td colspan="2">枚数指定</td></tr> <tr><td colspan="2">用紙サイズチェック</td></tr> <tr> <td>調整モード</td> <td>オフセット調整</td> </tr> <tr> <td></td> <td>印字位置調整</td> </tr> <tr> <td></td> <td>印字濃度調整</td> </tr> <tr><td colspan="2">オンライン起動</td></tr> <tr><td colspan="2">エラー後 紙送り</td></tr> <tr><td colspan="2">起動時 紙送り</td></tr> <tr><td colspan="2">オプションフィード量</td></tr> <tr><td colspan="2">ペーパーエンドセンサ (PW208のみ)</td></tr> <tr><td colspan="2">優先設定</td></tr> <tr><td colspan="2">再発行設定</td></tr> <tr><td colspan="2">印字停止位置</td></tr> <tr><td colspan="2">ハクリ動作設定</td></tr> </table>	用紙長		用紙幅		印字速度		動作モード		センサタイプ		ハクリ設定 (PW208のみ)	バックフィード動作 (PW208のみ)		センサタイプ (PW208のみ)	濃度レンジ		印字濃度		基点補正	縦位置補正		横位置補正	詳細設定	ヘッドチェック	ヘッドチェックモード		枚数指定		用紙サイズチェック		調整モード	オフセット調整		印字位置調整		印字濃度調整	オンライン起動		エラー後 紙送り		起動時 紙送り		オプションフィード量		ペーパーエンドセンサ (PW208のみ)		優先設定		再発行設定		印字停止位置		ハクリ動作設定
用紙長																																																						
用紙幅																																																						
印字速度																																																						
動作モード																																																						
センサタイプ																																																						
ハクリ設定 (PW208のみ)	バックフィード動作 (PW208のみ)																																																					
	センサタイプ (PW208のみ)																																																					
濃度レンジ																																																						
印字濃度																																																						
基点補正	縦位置補正																																																					
	横位置補正																																																					
詳細設定	ヘッドチェック																																																					
	ヘッドチェックモード																																																					
	枚数指定																																																					
	用紙サイズチェック																																																					
	調整モード	オフセット調整																																																				
		印字位置調整																																																				
		印字濃度調整																																																				
	オンライン起動																																																					
	エラー後 紙送り																																																					
	起動時 紙送り																																																					
	オプションフィード量																																																					
	ペーパーエンドセンサ (PW208のみ)																																																					
	優先設定																																																					
再発行設定																																																						
印字停止位置																																																						
ハクリ動作設定																																																						

 通信設定	サブメニュー			
	ネットワーク (PW208のみ： オプションの無線 LAN 取付け時)	設定	Wi-Fi	IPv4 <ul style="list-style-type: none"> <li>モード</li> <li>DHCP</li> <li>IP アドレス</li> <li>サブネットマスク</li> <li>デフォルトゲートウェイ</li> <li>DNS</li> </ul> IPv6 <ul style="list-style-type: none"> <li>モード</li> <li>DHCP</li> <li>IP アドレス</li> <li>プレフィックス長</li> <li>デフォルトゲートウェイ</li> <li>DNS</li> </ul> プロキシ <ul style="list-style-type: none"> <li>有効</li> <li>サーバー</li> <li>プロキシを使用しない</li> </ul> WPS <ul style="list-style-type: none"> <li>プッシュボタン方式</li> <li>PIN コード方式</li> </ul> Wi-Fi Direct <ul style="list-style-type: none"> <li>デバイス名</li> <li>接続</li> <li>グループを開始</li> <li>プッシュボタン方式</li> <li>切断</li> <li>グループを削除</li> <li>SSID</li> <li>IP アドレス</li> <li>パスフレーズ</li> </ul> SSID                 ESS-ID ステルス機能                 Wi-Fi モード                 チャンネル                 セキュリティ                 WEP 設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>WEP 認証</li> <li>WEP キーインデックス</li> </ul> WPA 設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>WPA 認証</li> <li>EAP 設定</li> </ul> EAP 設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>EAP モード</li> <li>内部方式</li> <li>内部方式</li> <li>内部方式</li> <li>EAP 認証ユーザー名</li> <li>外部匿名 ID</li> <li>サーバー証明認証</li> <li>自動 PAC プロビジョニング</li> </ul>



動かしてみましよう


 <p>通信設定</p>	サブメニュー			
	ネットワーク (PW208 のみ： オプションの無線 LAN 取付け時)	サービス	ポート	ポート番号 1
				ポート番号 2
				ポート番号 3
			通信プロトコル	
			LPD FTP	
	詳細設定	ARP 通知	通知拡張	
			通知周期	
	USB	通信プロトコル		
	Bluetooth	Bluetooth 機能		
		デバイス名		
		PIN コード		
		BD アドレス		
		BD バージョン		
ホスト BD アドレス				
IAP 機能				
iOS 再接続				
認証モード				
ISI				
ISW				
PSI				
PSW				
CRC チェック				
通信プロトコル				
CR/LF カット				
CAN/DLE カット				


 <p>バッテリー</p>	サブメニュー		
	状態		
	サイクルカウント		
	エコ充電機能		
	充電完了後電源オフ		

アプリケーション		サブメニュー		
プロトコル				
SBPL	コマンドエラー表示			
	スタンダードコード設定			
	印刷の向き			
	フォント設定	ゼロスラッシュ		
		漢字設定	漢字モード	
			文字コード	
			漢字書体	
		プロポーショナルピッチ		
		コードページ		
		ユーロコード		
	互換	CODE128(C)		
		Font/Logo 呼び出し		
		QTY 更新タイミング		
文字間ピッチ				

システム		サブメニュー	
地域	表示言語		
	単位		
お知らせ機能	サーマルヘッド清掃	お知らせ機能	
		お知らせ間隔	
		サーマルヘッド清掃カウンタ	
	サーマルヘッド交換	お知らせ機能	
		お知らせ間隔	
		サーマルヘッド交換カウンタ	
	プラテンローラー交換	お知らせ機能	
		お知らせ間隔	
		プラテン交換カウンタ	
ブザー音	エラー音		
低消費電力モード	スリープ		
	ディープスリープ		
	自動電源オフ		
総発行枚数表示			
拡大アイコン表示			
低温制御			
パスワード	パスワード機能		
	インストール時のセキュリティ		
	パスワード更新	admin	
		manager	
level1			

動かしてみましよう

 ツール	サブメニュー	
テスト印字	BD アドレス	印字
		印字位置調整
		オフセット調整
		印字濃度調整
	工場設定	印字
		印字位置調整
		オフセット調整
		印字濃度調整
	設定一覧	印字
		用紙長
		印字位置調整
		オフセット調整
		印字濃度調整
	設定一覧 (QR)	印字
		用紙長
		印字位置調整
		オフセット調整
		印字濃度調整
	センサレベル	印字
		用紙長
印字位置調整		
オフセット調整		
印字濃度調整		
HEX ダンプ	HEX ダンプモード	
	バッファダンプ	
	ログファイル	削除 印字
リセット	リセットタイプ選択	データ
		データ & 設定
		設定
サービスモード		
工場モード		
Wi-Fiサイトサーベイ (PW208 のみ： オプションの無線 LAN 取付け時)	サイトサーベイ表示	
	サイトサーベイ印字	


 インフォメーション	サブメニュー				
	ビルドバージョン	バージョン名 日付 チェックサム カーネルバージョン ブートバージョン <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>Disks</td></tr> <tr><td>ワープモード</td></tr> <tr><td>日付</td></tr> </table>	Disks	ワープモード	日付
	Disks				
	ワープモード				
	日付				
	アプリケーション				
	印字モジュール	ブート	バージョン名		
			日付		
			チェックサム		
		メイン	バージョン名		
			日付		
			チェックサム		
	カウンタ	サーマルヘッド	総走行距離		
			ヘッド走行距離 1		
			ヘッド走行距離 2		
			ヘッド走行距離 3		
	実印字動作	動作モード			
		センサタイプ			
	IPv4 アドレス (オプションの無線 LAN 取付け時)				
	IPv6 アドレス (オプションの無線 LAN 取付け時)				
	Wi-Fi MAC アドレス (オプションの無線 LAN 取付け時)				
	Wi-Fi リージョン (オプションの無線 LAN 取付け時)				
Wi-Fi ステータス (オプションの無線 LAN 取付け時)					
Wi-Fi ダイレクト (Wi-Fi ダイレクト 接続時)	SSID				
	Wi-Fi 機能				
	デバイスアドレス				
	IP アドレス				
	パスフレーズ				
Wi-Fi バージョン (オプションの無線 LAN 取付け時)					

## 2.6 設定モードメニューの詳細


### 2.6.1 印字メニュー


印字メニューには以下の設定項目があります。

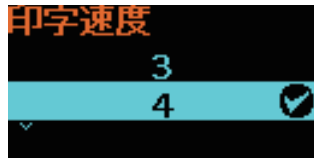
印字		
1	用紙長	用紙の長さを設定します。
2	用紙幅	用紙の幅を設定します。
3	印字速度	印字速度を設定します。
4	動作モード	動作モードを設定します。
5	センサタイプ	用紙センサのタイプを設定します。
6	ハクリ設定 (PW208のみ)	ハクリ動作時の設定をおこないます。
7	濃度レンジ	印字濃度レンジを設定します。
8	印字濃度	印字濃度を設定します。
9	基点補正	印字位置の縦横位置の補正を設定します。
10	詳細設定	センサ検出と印字動作を設定します。
<p><b>Note</b> 本プリンタは印字位置に関する距離や大きさを dot 単位で設定します。1 dot の長さは、1 dot = 0.125 mm です。</p>		




用紙長	
印字 > 用紙長	
用紙の長さを設定します。 初期値 : 1760 dot 設定範囲 : 1 ~ 8000 dot	
<p><b>Note</b> 台紙を含めた長さに設定してください。</p>	



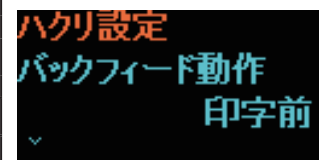
用紙幅	
印字 > 用紙幅  用紙の幅を設定します。 初期値 : 440 dot 設定範囲 : 1 ~ 440 dot  <hr/> <b>Note</b> 台紙を含めた長さに設定してください。	

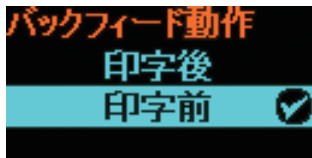
印字速度	
印字 > 印字速度  印字速度を設定します。 初期値 : 4 ips 設定範囲 : 3、4 ips (ノンセパ選択時) 3 ~ 6 ips (ティアオフ、連続発行選択時)  3 : 75 mm/秒 (3 インチ / 秒) 4 : 100 mm/秒 (4 インチ / 秒) 5 : 125 mm/秒 (5 インチ / 秒) 6 : 150 mm/秒 (6 インチ / 秒)  <hr/> <b>Note</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 速い印字速度は印字品質に影響を及ぼす場合があります。</li> <li>• 印字速度は、バッテリーの容量、環境、印字レイアウトにより変化します。</li> <li>• ハクリモード時 (☞ 24 ページ) の印字速度は最大 4 ips に制限されます。(PW208 のみ)</li> </ul>	


動作モード	
<p>印字 &gt; 動作モード</p> <p>動作モードを設定します。</p> <p>初期値 : ティアオフ</p> <p>設定項目 : ティアオフ、ノンセパ、連続発行</p> <p>ティアオフ : 指定された印字枚数分を続けて印字したあと、カッタの位置まで自動で送り出すモードです。この動作により、印字終了後に手で簡単に用紙を切ることができます。次の印字をおこなうときには、用紙の先端がサーマルヘッドの位置まで戻り、印字を開始します。</p> <div style="text-align: center;"> <p>紙送り方向 →</p> </div> <p>ノンセパ : 指定された枚数の用紙を連続的に印字し、それぞれの用紙を切り離します。</p> <p>連続発行 : 指定された印字枚数分を続けて印字するモードです。印字終了後、または1枚フィードのときは、次の印字開始位置がサーマルヘッドの位置で停止します。</p> <div style="text-align: center;"> <p>紙送り方向 →</p> </div>	
<p><b>Note</b></p> <p>ハクリユニットをハクリ発行が可能な状態にした場合 (☞ 24 ページ)、動作モードは自動でハクリモードに切替わります。(PW208 のみ)</p> <p>ハクリモード : 印字された用紙から台紙をはがします。印字された用紙が取り除かれると次の用紙が印字位置にセットされます。</p>	

センサタイプ	
印字 > センサタイプ  使用するピッチセンサのタイプを設定します。 初期値 : 反射 設定項目 : 無効、反射、透過 (PW208 のみ : ティアオフ、連続発行選択時)  反射 : 反射センサを使用して用紙の基準位置 (アイマーク) を検出します。 透過 : 透過センサを使用して用紙の基準位置 (ギャップ) を検出します。 無効 : ピッチセンサを使用しません。	

ハクリ設定 (PW208 のみ)		
印字 > ハクリ設定  ハクリ動作時の設定をするために以下の設定項目があります。		
1	バックフィード動作	ハクリ動作時のバックフィード動作を設定します。
2	センサタイプ	ハクリ動作時に使用するピッチセンサのタイプを設定します。

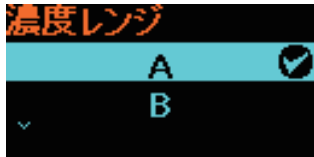



バックフィード動作 (PW208 のみ)	
印字 > ハクリ設定 > バックフィード動作  ハクリ動作時のバックフィード動作を設定します。 初期値 : 印字前 設定項目 : なし、印字前、印字後  なし : 印字し用紙をハクリしたあと、バックフィード動作をおこないません。 印字前 : 印字前に用紙の印字位置とサーマルヘッドの位置を合わせるためにバックフィード動作をおこないます。 印字後 : 印字し用紙をハクリしたあと、次の用紙の印字位置とサーマルヘッドの位置を合わせるためにバックフィード動作をおこないます。	


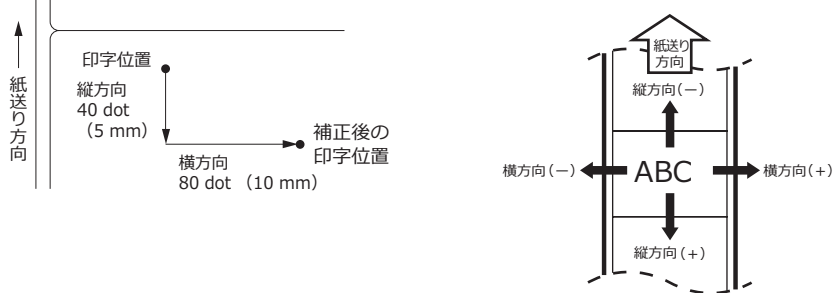
センサタイプ (PW208 のみ)	
印字 > ハクリ設定 > センサタイプ  ハクリ動作時に使用するピッチセンサのタイプを設定します。 初期値 : 反射 設定項目 : 透過、反射 反射 : 反射センサを使用して用紙の基準位置 (アイマーク) を検出します。 透過 : 透過センサを使用して用紙の基準位置 (ギャップ) を検出します。	



動かしてみましよう

濃度レンジ	
印字 > 濃度レンジ	
文字、グラフィックの印字濃度レンジを設定します。	
初期値 : A 設定項目 : A、B、C、D、E、F	
<hr/> <p><input type="checkbox"/> Note</p> <p>A を選択してください。B ~ F も選択可能ですが、濃度は変わりません。</p> <hr/>	

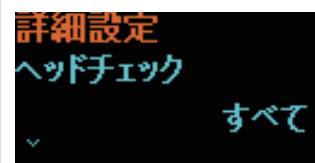
印字濃度	
印字 > 印字濃度	
文字、グラフィックの印字濃度を設定します。	
初期値 : 5 設定項目 : 1 ~ 10	
<hr/> <p><input type="checkbox"/> Note</p> <p>1 が一番薄く、10 が一番濃くなります。</p> <hr/>	


基点補正						
印字 > 基点補正						
印字位置の縦横位置の補正を設定するために以下の設定項目があります。						
<table border="1"><tbody><tr><td>1</td><td>縦位置補正</td><td>印字位置を縦方向（紙送り方向）に移動します。</td></tr><tr><td>2</td><td>横位置補正</td><td>印字位置を横方向に移動します。</td></tr></tbody></table>		1	縦位置補正	印字位置を縦方向（紙送り方向）に移動します。	2	横位置補正
1	縦位置補正	印字位置を縦方向（紙送り方向）に移動します。				
2	横位置補正	印字位置を横方向に移動します。				
						


縦位置補正	
<p>印字 &gt; 基点補正 &gt; 縦位置補正</p> <p>印字基準位置から、縦方向に何 dot 離れた位置を基点にして印字するかを設定します。 + と - は移動する方向です。</p> <p>初期値 : 0 dot 設定範囲 : - 300 ~ 300 dot</p>	 <p>縦位置補正 000 -300-300 dot</p>
横位置補正	
<p>印字 &gt; 基点補正 &gt; 横位置補正</p> <p>印字基準位置から、横方向に何 dot 離れた位置を基点にして印字するかを設定します。 + と - は移動する方向です。</p> <p>初期値 : 0 dot 設定範囲 : - 300 ~ 300 dot</p>	 <p>横位置補正 000 -300-300 dot</p>

動かしてみましよう


詳細設定		
印字 > 詳細設定 センサ検出と印字動作の詳細を設定するために以下の設定項目があります。		
1	ヘッドチェック	ヘッドチェックの設定をおこないます。
2	ヘッドチェックモード	ヘッドチェックの方式を設定します。“ヘッドチェック”で“すべて”または“バーコード”を選択した場合に設定ができます。
3	枚数指定	ヘッドチェックモードの枚数指定を設定します。“ヘッドチェックモード”で“枚数指定”を選択した場合に設定ができます。
4	用紙サイズチェック	用紙サイズチェックの有効、無効を設定します。“センサタイプ”で“透過”または“反射”を選択した場合に設定ができます。
5	調整モード	オフセット、印字位置、印字濃度の設定ができます。
6	オンライン起動	プリンタを起動したときの状態を設定します。
7	エラー後 紙送り	エラー復帰後、用紙を1枚フィードしてから自動で発行（オンライン）画面に切替えるかどうかを設定します。
8	起動時 紙送り	プリンタを起動したとき、用紙を1枚フィードするかどうかを設定します。
9	オプションフィード量	ティアオフとハクリの用紙の送り量を設定します。
10	ペーパーエンドセンサ (PW208のみ)	用紙切れを検知するためのセンサタイプを設定します。
11	優先設定	コマンド設定と本プリンタの設定、どちらを優先するかを設定します。
12	再発行設定	再発行の設定をします。
13	印字停止位置	印字停止位置の設定をします。
14	ハクリ動作設定	ハクリ動作の設定をします。




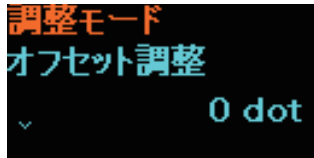
ヘッドチェック	
<p>印字 &gt; 詳細設定 &gt; ヘッドチェック</p> <p>ヘッドチェックの設定をおこないます。</p> <p>初期値 : すべて 設定項目 : オフ、すべて、バーコード</p> <p>オフ : ヘッドチェックを無効にします。 すべて : すべての印字範囲をチェックします。 バーコード : 印字されたバーコード範囲のみをチェックします。グラフィックデータとして印字されたバーコードには適用されません。</p> <p><b>ヘッドチェック機能について</b> ヘッドチェック機能とは、サーマルヘッドの断線を自動で確認する機能です。エラーが発生すると発行を停止します。ヘッドチェック機能は、ヘッド断線の目安となるもので、バーコード読取りを保証する機能ではありません。定期的に読取りチェックをお願いします（印字の白抜けとヘッドチェック機能が働く時期とは多少ずれが生じることがあります）。ヘッドエラー発生後に発行した用紙については、印字したバーコードのスキナ読取りをおこなって確認してください。</p>	


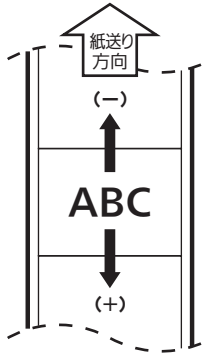



ヘッドチェックモード	
<p>印字 &gt; 詳細設定 &gt; ヘッドチェックモード</p> <p>ヘッドチェックのタイミングを設定します。 “ヘッドチェック”で“すべて”または“バーコード”を選択した場合に設定ができます。</p> <p>初期値 : すべて 設定項目 : すべて、開始終了指定</p> <p>すべて : 1枚ごとにヘッドチェックをおこないます。 開始終了指定 : 印字開始時と終了時にヘッドチェックをおこないます。バックフィードが適用されている場合には印字開始時、終了時とバックフィード中にヘッドチェックをおこないます。 枚数指定 : 用紙の指定枚数ごとにヘッドチェックをおこないます。</p>	




動かしてみましよう

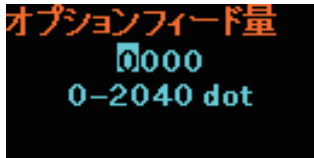
枚数指定	
印字 > 詳細設定 > 枚数指定	
ヘッドチェックモードの枚数指定を設定します。 “ヘッドチェックモード”で“枚数指定”を選択した場合に設定ができます。	
初期値 : 1 設定範囲 : 1 ~ 9999	

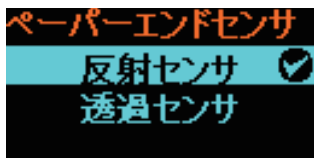
用紙サイズチェック	
印字 > 詳細設定 > 用紙サイズチェック	
用紙サイズチェックの有効、無効を設定します。 用紙サイズチェックは指定された用紙よりも長い用紙、セットされた用紙よりも長い印字データを検出します。 “センサタイプ”で“透過”または“反射”を選択した場合に設定ができます。	
初期値 : 無効 設定項目 : 有効、無効	
有効 : 用紙サイズチェックを有効にする。 無効 : 用紙サイズチェックを無効にする。	


調整モード		
印字 > 詳細設定 > 調整モード		
調整モードを設定するために以下の設定項目があります。		
1	オフセット調整	停止位置を設定します。
2	印字位置調整	印字位置を設定します。
3	印字濃度調整	印字濃度の微調整を設定します。
<hr/> <input type="checkbox"/> Note <hr/>		
“調整モード”で設定されたオフセット調整、印字位置調整の値は、“テスト印字” (☞ 92 ~ 97 ページ) の同項目の設定に反映されます。		
		

オフセット調整	
<p>印字 &gt; 詳細設定 &gt; 調整モード &gt; オフセット調整</p> <p>停止位置を修正します。 停止位置はティアオフ位置、カット位置、ハクリ停止位置に反映されます。 用紙送りとは逆方向に移動したい場合はオフセット値を“+”に、用紙送り方向に移動したい場合は“-”に設定します。</p> <p>初期値 : 0 dot 設定範囲 : -30 ~ 30 dot</p>	
	
印字位置調整	
<p>印字 &gt; 詳細設定 &gt; 調整モード &gt; 印字位置調整</p> <p>印字位置を垂直方向に移動します。 用紙送りとは逆方向に移動したい場合はオフセット値を“+”に、用紙送り方向に移動したい場合は“-”に設定します。</p> <p>初期値 : 0 dot 設定範囲 : -30 ~ 30 dot</p>	
印字濃度調整	
<p>印字 &gt; 詳細設定 &gt; 調整モード &gt; 印字濃度調整</p> <p>印字濃度の微調整を設定します。</p> <p>初期値 : 50 設定範囲 : 0 ~ 99</p> <hr/> <p> Note</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・0 が一番薄く、99 が一番濃くなります。</li> <li>・印字濃度 (👉 46 ページ) の印字濃度もご覧ください。</li> </ul>	


オンライン起動	
<p>印字 &gt; 詳細設定 &gt; オンライン起動</p> <p>プリンタを起動したときの状態を設定します。</p> <p>初期値 : 有効 設定項目 : 有効、無効</p> <p>有効 : プリンタを起動すると、発行 (オンライン) 画面になります。 無効 : プリンタを起動すると、停止中 (オフライン) 画面になります。</p>	
エラー後 紙送り	
<p>印字 &gt; 詳細設定 &gt; エラー後 紙送り</p> <p>エラー復帰後、用紙を 1 枚フィードしてから自動で発行 (オンライン) 画面に切替えるかどうかを設定します。</p> <p>初期値 : 無効 設定項目 : 有効、無効</p> <p>有効 : エラー復帰後、用紙を 1 枚フィードしてから自動で発行 (オンライン) 画面に切替えます。 無効 : エラー復帰後、停止中 (オフライン) 画面が表示されます。手動で発行 (オンライン) 画面に切替えても、用紙の 1 枚フィードはおこないません。</p>	
起動時 紙送り	
<p>印字 &gt; 詳細設定 &gt; 起動時 紙送り</p> <p>プリンタを起動したとき、用紙を 1 枚フィードするかどうかを設定します。</p> <p>初期値 : 無効 設定項目 : 有効、無効</p> <p>有効 : プリンタを起動後、発行 (オンライン) 画面に切替わるとき、自動で紙送りをおこないます。 無効 : プリンタを起動後、発行 (オンライン) 画面に切替わるとき、自動で紙送りをおこないません。</p>	

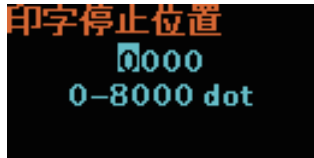
オプションフィード量	
印字 > 詳細設定 > オプションフィード量 オプションフィード量を設定します。 初期値 : 0 dot 設定範囲 : 0 ~ 2040 dot 0以外: 設定した距離で動作をおこないます。 0 : プリンタ内部で保持している固定値で動作します。 0を設定したときの距離は下記になります PW208 : ティアオフ : 88 dot ノンセパ : 64 dot ハクリモード : 0 dot PW208m : ティアオフ : 66 dot ノンセパ : 30 dot オプションフィード量について オプションフィード量とは、サーマルヘッドの位置から各動作モードの停止位置までの走行距離を意味します。	



ペーパーエンドセンサ (PW208 のみ)	
印字 > 詳細設定 > ペーパーエンドセンサ 用紙切れを検知するためのセンサタイプを設定します。 初期値 : 反射センサ 設定項目 : 反射センサ、透過センサ 反射センサ : 反射タイプのセンサを使用します。 透過センサ : 透過タイプのセンサを使用します。	

優先設定	
印字 > 詳細設定 > 優先設定 コマンド設定と本プリンタの設定、どちらを優先するか設定します。 印字濃度指定、印字速度指定、基点補正指定、動作モード指定、センサタイプ指定が対象になります。 初期値 : コマンド 設定項目 : 設定、コマンド 設定 : 本プリンタの設定を優先します。 コマンド : 受信したデータによるプリンタ設定を優先します。	



再発行設定	
<p>印字 &gt; 詳細設定 &gt; 再発行設定</p> <p>再発行キーの設定をします。</p> <p>初期値 : 無効 設定項目 : 有効、無効</p> <p>有効 : 再発行設定を有効にする。 無効 : 再発行設定を無効にする。</p> <hr/> <p><b>Note</b> プリンタの電源を切ると直前のデータは消去されます。</p> <hr/> <p><b>再発行設定機能について</b> “再発行設定”を“有効”に設定した場合、発行（オンライン）画面で紙送り / 決定 キーを押すと、直前に印字したデータを再発行します。印字データがない場合は、再発行は起こりません。</p>	


印字停止位置	
<p>印字 &gt; 詳細設定 &gt; 印字停止位置</p> <p>印字停止位置の設定をします。</p> <p>初期値 : 0 dot 設定範囲 : 0 ~ 8000 dot</p> <hr/> <p><b>Note</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• “センサタイプ”で“無効”を選択している場合、印字停止位置機能は有効になります。</li><li>• 印字終了位置に印字停止位置の値を足した値が停止位置になります。</li></ul>	


ハクリ動作設定	
<p>印字 &gt; 詳細設定 &gt; ハクリ動作設定</p> <p>ハクリ動作の設定をします。</p> <p>初期値 : 自動 (PW208) なし (PW208m)</p> <p>設定項目 : 自動 (PW208 のみ)、手動 (PW208m のみ)、なし</p> <p>自動: “動作モード” で “ノンセパ” を選択している場合、またはハクリモード (PW208 のみ) の場合 (☞ 24 ページ)、印字された用紙が取り除かれると自動で次の印字を開始します。</p> <p>手動: “動作モード” で “ノンセパ” を選択している場合、またはハクリモード (PW208 のみ) の場合 (☞ 24 ページ)、<b>紙送り / 決定</b> キーを押して、次の印字を開始します。</p> <p>なし: “動作モード” で “ノンセパ” を選択している場合、受信したデータが完了するまで印字を続けます。</p> <hr/> <p><b>Note</b></p> <p>動作モードがハクリモードのときに “なし” を選択した場合、“自動” で動作します。</p>	<p>PW208 の場合</p>  <p>PW208m の場合</p> 


動かしてみましよう

## 2.6.2 通信設定メニュー

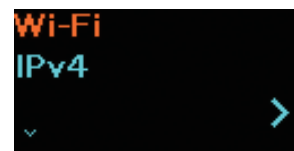
通信設定メニューには以下の設定項目があります。

通信設定			
1	ネットワーク (PW208 のみ)	無線 LAN 接続を設定します。 オプションの無線 LAN が取付けられている場合に設定ができます。	
2	USB	USB 接続を設定します。	
3	Bluetooth	Bluetooth 接続を設定します。	
4	CR/LF カット	CR/LF カットコードを設定します。	
5	CAN/DLE カット	CAN/DLE カットコードを設定します。	

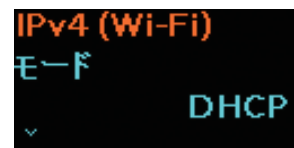
ネットワーク (PW208 のみ : オプションの無線 LAN 取付け時)			
通信設定 > ネットワーク			
ホストとプリンタ間の通信接続に無線 LAN を使用するために以下の設定項目があります。			
1	設定	Wi-Fi を設定します。	
2	サービス	接続ポート、LPD、FTP または SNMP を設定します。	
3	詳細設定	詳細設定をします。	

設定			
通信設定 > ネットワーク > 設定			
Wi-Fi を使用するための設定項目です。			
1	Wi-Fi	Wi-Fi を設定します。	

Wi-Fi		
通信設定 > ネットワーク > 設定 > Wi-Fi		
オプションの無線 LAN を取付けている場合に設定ができます。 無線 LAN 接続を設定するために以下の設定項目があります。		
1	IPv4	IPv4 を設定します。
2	IPv6	IPv6 を設定します。 Wi-Fi ダイレクトを設定している場合は表示されません。
3	プロキシ	プロキシを設定します。
4	WPS	WPS 機能を使用して無線 LAN 接続を設定します。 Wi-Fi ダイレクトを設定している場合は表示されません。
5	Wi-Fi Direct	Wi-Fi ダイレクト機能を設定します。 “Wi-Fi モード” で “Infrastructure” を選択した場合に設定 ができます。
6	SSID	SSID を表示、または設定します。
7	ESS-ID ステ ルス機能	“Wi-Fi モード” で “Infrastructure” を選択している場合、 ESS-ID ステルス機能を設定します。
8	Wi-Fi モード	無線 LAN の通信方式を設定します。
9	チャンネル	通信チャンネルを設定します。 “Wi-Fi モード” で “Ad Hoc” を選択した場合に設定が できます。
10	セキュリティ	ネットワークのセキュリティ方式を表示します。 この項目は設定できません。
11	WEP 設定	WEP 認証を設定します。 “セキュリティ” で “WEP” が設定されている場合に設定 ができます。
12	WPA 設定	WPA 認証を設定します。 “セキュリティ” で “WPA+WPA2” または “WPA2” が 設定されている場合に設定ができます。
13	EAP 設定	EAP 認証を設定します。 “WPA 認証” で “Enterprise(802.1x)”、または “CCKM” が設定されている場合、または “セキュリティ” で “Dynamic WEP” が設定されている場合に設定ができます。
<p><b>Note</b></p> <p>各設定画面で設定後、電源キーを押して “Wi-Fi” 画面を表示させて ください。 “Wi-Fi” 画面で “設定を保存しますか？” と表示されているときに、 <b>紙送り / 決定</b> キーを押して各設定画面の入力値を決定します。 <b>発行 / 選択</b> キーを押した場合、または “Wi-Fi” 画面を表示させる 前にプリンタの電源を切った場合は入力内容が破棄されます。</p>		


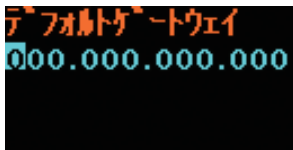


IPv4		
通信設定 > ネットワーク > 設定 > Wi-Fi > IPv4 IPv4 を設定するために以下の設定項目があります。		
1	モード	IP アドレスの設定モードを選択します。 Wi-Fi ダイレクトを設定している場合は表示されません。
2	DHCP	<b>紙送り / 決定</b> キーを押して、DHCP サーバーから IP アドレスを再取得します。 “モード” で “DHCP” を選択している場合に更新します。 Wi-Fi ダイレクトを設定している場合は表示されません。
3	IP アドレス	IP アドレスを表示、または設定します。 “モード” で “DHCP” を選択している場合、または Wi-Fi ダイレクトを設定している場合、画面に DHCP サーバーから取得した IP アドレスを表示します。 “モード” で “固定アドレス” を選択している場合、IP アドレスを設定します。
4	サブネットマスク	サブネットマスクアドレスを表示、または設定します。 “モード” で “DHCP” を選択している場合、または Wi-Fi ダイレクトを設定している場合、画面に DHCP サーバーから取得したサブネットマスクアドレスを表示します。 “モード” で “固定アドレス” を選択している場合、サブネットマスクアドレスを設定します。
5	デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイアドレスを表示、または設定します。 “モード” で “DHCP” を選択している場合、または Wi-Fi ダイレクトを設定している場合、画面に DHCP サーバーから取得したデフォルトゲートウェイアドレスを表示します。 “モード” で “固定アドレス” を選択している場合、デフォルトゲートウェイアドレスを設定します。
6	DNS	DNS サーバーのプライマリアドレスを表示します。 この項目は設定できません。 Wi-Fi ダイレクトを設定している場合は表示されません。



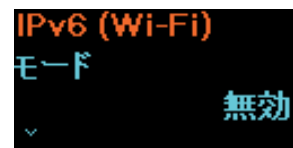
モード		
通信設定 > ネットワーク > 設定 > Wi-Fi > IPv4 > モード IP アドレスの設定モードを選択します。 Wi-Fi ダイレクトを設定している場合は表示されません。		
初期値 : DHCP 設定項目 : DHCP、固定アドレス		
DHCP : DHCP サーバーから IP アドレス、デフォルトゲートウェイ、サブネットマスクを自動で取得します。		
固定アドレス : IP アドレス、デフォルトゲートウェイ、サブネットマスクを手動で設定します。		



IP アドレス	
<p>通信設定 &gt; ネットワーク &gt; 設定 &gt; Wi-Fi &gt; IPv4 &gt; IP アドレス</p> <p>“モード” で “DHCP” を選択している場合、または Wi-Fi ダイレクトを設定している場合、画面に DHCP サーバーから取得した IP アドレスを表示します。 “モード” で “固定アドレス” を選択している場合、IP アドレスを設定します。</p> <p>初期値 : 000.000.000.000 設定範囲 : 000.000.000.000 ~ 255.255.255.255</p>	
サブネットマスク	
<p>通信設定 &gt; ネットワーク &gt; 設定 &gt; Wi-Fi &gt; IPv4 &gt; サブネットマスク</p> <p>“モード” で “DHCP” を選択している場合、または Wi-Fi ダイレクトを設定している場合、画面に DHCP サーバーから取得したサブネットマスクアドレスを表示します。 “モード” で “固定アドレス” を選択している場合、サブネットマスクアドレスを設定します。</p> <p>初期値 : 255.255.255.0 設定範囲 : 128.0.0.0 ~ 255.255.255.254</p>	
デフォルトゲートウェイ	
<p>通信設定 &gt; ネットワーク &gt; 設定 &gt; Wi-Fi &gt; IPv4 &gt; デフォルトゲートウェイ</p> <p>“モード” で “DHCP” を選択している場合、または Wi-Fi ダイレクトを設定している場合、画面に DHCP サーバーから取得したデフォルトゲートウェイアドレスを表示します。 “モード” で “固定アドレス” を選択している場合、デフォルトゲートウェイアドレスを設定します。</p> <p>初期値 : 000.000.000.000 設定範囲 : 000.000.000.000 ~ 255.255.255.255</p>	

動かしてみましよう

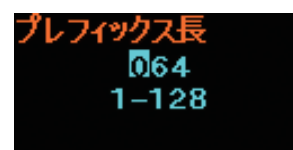
IPv6		
通信設定 > ネットワーク > 設定 > Wi-Fi > IPv6  IPv6 を設定するために以下の設定項目があります。 Wi-Fi ダイレクトを設定している場合は表示されません。		
1	モード	IP アドレスの設定モードを選択します。
2	DHCP	紙送り / 決定 キーを押して、DHCP サーバーから IP アドレスを再取得します。 “モード” で “DHCP” を選択している場合に更新します。
3	IP アドレス	IP アドレスを表示します。 この項目は設定できません。
4	プレフィックス長	プレフィックス長を表示、または設定します。 “モード” で “固定アドレス” を選択している場合、プレフィックス長を設定します。
5	デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイアドレスを表示します。 この項目は設定できません。
6	DNS	DNS サーバーのプライマリアドレスを表示します。 この項目は設定できません。



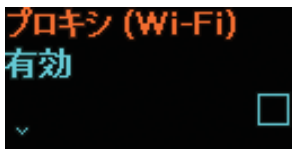
モード	
通信設定 > ネットワーク > 設定 > Wi-Fi > IPv6 > モード  IP アドレスの設定モードを選択します。  初期値 : 無効 設定項目 : 無効、自動設定、DHCP、固定アドレス  無効 : IPv6 を無効にします。 自動設定 : IP アドレスとデフォルトゲートウェイを自動で生成します (stateless モード)。 DHCP : DHCP サーバーから IP アドレス、デフォルトゲートウェイ、サブネットマスクを自動で取得します。 固定アドレス : IP アドレス、デフォルトゲートウェイを表示します。	



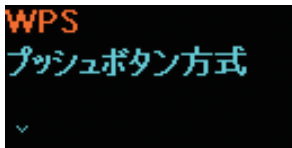
プレフィックス長	
通信設定 > ネットワーク > 設定 > Wi-Fi > IPv6 > プレフィックス長  “モード” で “自動設定” または “DHCP” を選択している場合、画面にプレフィックス長を表示します。 “モード” で “固定アドレス” を選択している場合、プレフィックス長を設定します。  初期値 : 64 設定範囲 : 1 ~ 128	



プロキシ		
通信設定 > ネットワーク > 設定 > Wi-Fi > プロキシ		
プロキシを設定するために以下の項目があります。		
1	有効	プロキシの有効、無効を表示します。
2	サーバー	サーバーの情報を表示します。 この項目は設定できません。
3	プロキシを使用しない	プロキシを使用しないアドレスの情報を表示します。 この項目は設定できません。

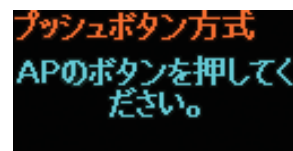


WPS		
通信設定 > ネットワーク > 設定 > Wi-Fi > WPS		
プッシュボタン方式またはPINコード方式で無線LAN接続を設定するために以下の設定項目があります。 Wi-Fiダイレクトを設定している場合は表示されません。		
1	プッシュボタン方式	プッシュボタン方式で無線LAN接続を設定します。
2	PINコード方式	PINコード方式で無線LAN接続を設定します。
<p><input type="checkbox"/> Note</p> <p>この操作は無線LANアクセスポイント機器の説明書をご覧ください。</p>		

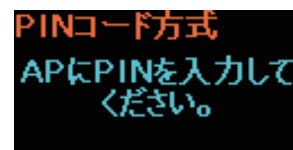




プッシュボタン方式	
通信設定 > ネットワーク > 設定 > Wi-Fi > WPS > プッシュボタン方式  プッシュボタン方式で無線 LAN 接続を設定します。	
1	“WPS” で “プッシュボタン方式” を選択します。
2	画面に “AP のボタンを押してください。” と表示しているときに、無線 LAN アクセスポイント機器の WPS ボタンを押します。
3	アクセスポイントへの接続が確立されたとき、画面に “正しく設定できました。” と表示されます。
<hr/> <b>Note</b> アクセスポイントへの接続に失敗したとき、画面に “アクセスポイントが見つかりませんでした。” と表示されます。	



PIN コード方式	
通信設定 > ネットワーク > 設定 > Wi-Fi > WPS > PIN コード方式  PIN コード方式で無線 LAN 接続を設定します。	
1	“WPS” で “PIN コード方式” を選択します。
2	画面に “AP に PIN を入力してください。” と表示しているときに、交互表示される画面に表示された無線 LAN のアクセスポイントへの PIN コードを設定します。
3	アクセスポイントへの接続が確立されたとき、画面に “正しく設定できました。” と表示されます。
<hr/> <b>Note</b> アクセスポイントへの接続に失敗したとき、画面に “アクセスポイントが見つかりませんでした。” と表示されます。	



Wi-Fi Direct		
通信設定 > ネットワーク > 設定 > Wi-Fi > Wi-Fi Direct		
Wi-Fi Direct で無線 LAN 接続を設定するために以下の設定項目があります。 “Wi-Fi モード” で “Infrastructure” を選択している場合、Wi-Fi Direct を設定します。		
1	デバイス名	デバイス名を表示します。 この項目は設定できません。
2	接続	接続可能な機器を検索し、接続します。
3	グループを開始	画面に “<新規保存>” と表示しているときに、 紙送り / 決定 キーを押すと、新規でグループを作成し開始します。 グループを開始している場合は表示されません。
4	押しボタン方式	グループを開始している場合、押しボタン方式で無線 LAN 接続を設定します。
5	切断	接続している機器を切断します。 グループを開始している場合、グループを切断します。
6	グループを削除	グループを削除します。 発行 / 選択 キーを押して削除するグループを選択し、 紙送り / 決定 キーを押して削除します。 グループを開始している場合は表示されません。
7	SSID	グループを開始している場合、SSID を表示します。 SSID はデバイス名です。 この項目は設定できません。
8	IP アドレス	グループを開始している場合、IP アドレスを表示します。 この項目は設定できません。
9	パスワード	グループを開始している場合、パスワードを表示します。 この項目は設定できません。



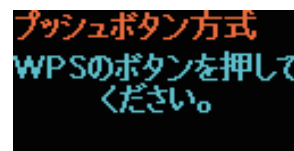
接続		
通信設定 > ネットワーク > 設定 > Wi-Fi > Wi-Fi Direct > 接続		
接続可能な機器を検索し、接続します。 設定手順は以下のようになります。		
1	“接続” を選択し、接続可能な機器を検索します。	
2	接続したい機器を 発行 / 選択 キーで選択し、紙送り / 決定 キーで決定します。	
3	プリンタまたは接続したい機器の指示に従い、接続を完了してください。	
<p><b>Note</b> 最大で 10 台の機器に接続できます。</p>		



グループを開始	
通信設定 > ネットワーク > 設定 > Wi-Fi > Wi-Fi Direct > グループを開始 グループ機能を使い、スマートフォンやタブレット PCなどを接続します。 設定手順は以下のようになります。	
1	“グループを開始”を選択し、紙送り / 決定キーで決定します。
2	スマートフォンやタブレット PCなどを追加したいグループ、または“<新規保存>”を発行 / 選択キーで選択し、紙送り / 決定キーで決定します。
3	“Wi-Fi Direct”の設定項目から“IP アドレス”と“パスワード”を確認し、メモしてください。
4	接続したいスマートフォンやタブレット PCのブラウザのアドレスに手順3で確認した“IP アドレス”と“パスワード”を入力します。
5	スマートフォンやタブレット PCなどの指示に従い、接続を完了してください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>Note</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最大で 10 台の機器に接続できます。</li> <li>グループを開始している場合は“グループを開始”が表示されません。“切断”でグループを切断すると表示されます。</li> </ul> </div>	





プッシュボタン方式	
通信設定 > ネットワーク > 設定 > Wi-Fi > Wi-Fi Direct > プッシュボタン方式 プッシュボタン方式で無線 LAN 接続を設定します。	
1	画面に“WPSのボタンを押してください。”と表示しているときに、無線 LAN アクセスポイント機器の WPS ボタンを押します。
2	アクセスポイントへの接続が確立されると、画面に“xxxxx と接続されました。”と表示されます。 * : xxxxx にはアクセスポイント名が表示されます。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>Note</b></p> <p>アクセスポイントへの接続に失敗したとき、画面に“WPS タイムアウト”と表示されます。</p> </div>	

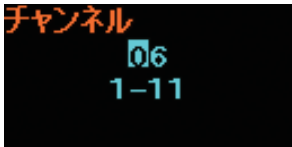



SSID	
通信設定 > ネットワーク > 設定 > Wi-Fi > SSID SSID を表示、または設定します。 接続可能な機器を検索し、設定します。 接続可能な機器が見つからない場合、SSID を表示します。 初期値 : SATO_PRINTER (プリンタの SSID を表示します。) 設定項目 : 接続可能な機器を表示します。	



ESS-ID ステルス機能	
通信設定 > ネットワーク > 設定 > Wi-Fi > ESS-ID ステルス機能  “Wi-Fi モード” で “Infrastructure” を選択している場合、ESS-ID ステルス機能を設定します。  初期値 : 有効 設定項目 : 有効、無効 有効 : ビーコン信号を停止します。 無効 : ビーコン信号を発信します。	

Wi-Fi モード	
通信設定 > ネットワーク > 設定 > Wi-Fi > Wi-Fi モード  無線 LAN の通信方法を設定します。  初期値 : Ad Hoc 設定項目 : Infrastructure、Ad Hoc Infrastructure : インフラストラクチャーモードでアクセスポイントを経由して通信します。 Ad Hoc : アドホックモードで通信します。  <hr/> <input type="checkbox"/> Note Wi-Fi モードを変更する場合、プリンタの再起動が必要です。	

チャンネル	
通信設定 > ネットワーク > 設定 > Wi-Fi > チャンネル  通信チャンネルを設定します。 “Wi-Fi モード” で “Ad Hoc” を選択した場合に設定ができます。  初期値 : 6 設定範囲 : 1 ~ 11	

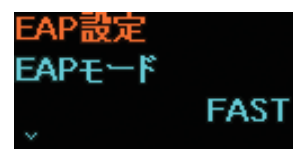
WEP 設定			
通信設定 > ネットワーク > 設定 > Wi-Fi > WEP 設定  “セキュリティ” で “WEP” が設定されている場合、WEP 認証を設定するために以下の設定項目があります。			
1	WEP 認証	WEP 認証方式を表示します。 この項目は設定できません。	
2	WEP キーインデックス	WEP キーインデックスを表示します。 この項目は設定できません。	

動かしてみましよう

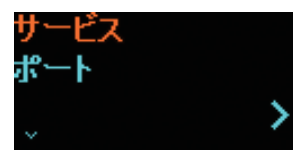
WPA 設定		
通信設定 > ネットワーク > 設定 > Wi-Fi > WPA 設定 “セキュリティ” で “WPA+WPA2” または “WPA2” が設定されている場合、WPA 認証方式を設定するために以下の設定項目があります。		
1	WPA 認証	WPA 認証方式を表示します。 この項目は設定できません。
2	EAP 設定	“WPA 認証” で “Enterprise (802.1x)”、または “CCKM” が設定されている場合、EAP 認証方式を表示します。 この項目は設定できません。



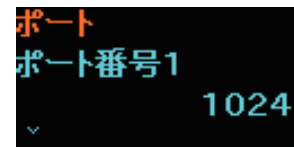
EAP 設定		
通信設定 > ネットワーク > 設定 > Wi-Fi > WPA 設定 > EAP 設定 通信設定 > ネットワーク > 設定 > Wi-Fi > EAP 設定 “WPA 認証” で “Enterprise (802.1x)”、または “CCKM” が設定されている場合、または “セキュリティ” で “Dynamic WEP” が設定されている場合、EAP 認証方式を表示します。 EAP 設定内の項目は設定できません。		
1	EAP モード	EAP モード（認証モード）を表示します。
2	内部方式	“EAP モード” で “FAST” を選択している場合、内部方式を表示します。
3	内部方式	“EAP モード” で “PEAP” を選択している場合、内部方式を表示します。
4	内部方式	“EAP モード” で “TTLS” を選択している場合、内部方式を表示します。
5	EAP 認証ユーザー名	EAP 認証ユーザー名を表示します。
6	外部匿名 ID	“EAP モード” で “FAST”、“PEAP”、または “TTLS” を選択している場合、外部匿名 ID を表示します。
7	サーバー証明認証	“EAP モード” で “FAST”、“PEAP”、“TLS”、または “TTLS” を選択している場合、サーバーの認証の有効、無効を表示します。
8	自動PACプロビジョニング	“EAP モード” で “FAST” を選択している場合、自動PACプロビジョニングの有効、無効を表示します。



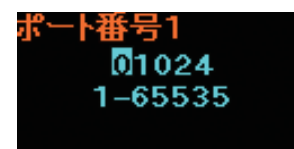
サービス		
通信設定 > ネットワーク > サービス 接続用のポート、LPD または FTP を設定するために以下の設定項目があります。		
1	ポート	ポート番号を設定します。
2	LPD	LPD 機能を設定します。
3	FTP	FTP 機能を設定します。



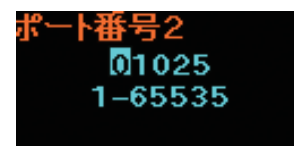
ポート		
通信設定 > ネットワーク > サービス > ポート		
ポート番号の設定をするために以下の設定項目があります。		
1	ポート番号 1	ポート番号を設定します。
2	ポート番号 2	ポート番号を設定します。
3	ポート番号 3	ポート番号を設定します。
4	通信プロトコル	通信プロトコルを設定します。



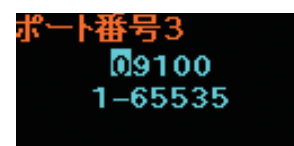
ポート番号 1	
通信設定 > ネットワーク > サービス > ポート > ポート番号 1	
<p>ポート番号を設定します。 ポート番号 2 とポート番号 3 に同じ番号を設定できません。</p> <p>初期値 : 1024 設定範囲 : 1 ~ 65535</p> <hr/> <p><input type="checkbox"/> Note ポート番号は、1024 以降の値を設定することを推奨します。</p>	




ポート番号 2	
通信設定 > ネットワーク > サービス > ポート > ポート番号 2	
<p>ポート番号を設定します。 ポート番号 1 とポート番号 3 に同じ番号を設定できません。</p> <p>初期値 : 1025 設定範囲 : 1 ~ 65535</p> <hr/> <p><input type="checkbox"/> Note ポート番号は、1024 以降の値を設定することを推奨します。</p>	





ポート番号 3	
通信設定 > ネットワーク > サービス > ポート > ポート番号 3	
<p>ポート番号を設定します。 ポート番号 1 とポート番号 2 に同じ番号を設定できません。</p> <p>初期値 : 9100 設定範囲 : 1 ~ 65535</p> <hr/> <p><input type="checkbox"/> Note ポート番号は、1024 以降の値を設定することを推奨します。</p>	




動かしてみましよう

通信プロトコル	
通信設定 > ネットワーク > サービス > ポート > 通信プロトコル	
通信プロトコルを設定します。	
初期値 : Status4 設定項目 : Status4、Status3、None	

LPD	
通信設定 > ネットワーク > サービス > LPD	
LPD 機能を設定します。	
初期値 : 有効 設定項目 : 有効、無効	
有効 : LPD 機能を有効にする 無効 : LPD 機能を無効にする	

FTP	
通信設定 > ネットワーク > サービス > FTP	
FTP 機能を設定します。	
初期値 : 無効 設定項目 : 有効、無効	
有効 : FTP 機能を有効にする 無効 : FTP 機能を無効にする	

詳細設定		
通信設定 > ネットワーク > 詳細設定		
詳細設定をします。		
1	ARP 通知	ARP 応答を設定します。
		

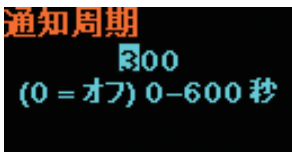
ARP 通知		
通信設定 > ネットワーク > 詳細設定 > ARP 通知		
ARP 応答を設定するために以下の設定項目があります。		
1	通知拡張	通知拡張を設定します。
2	通知周期	通知周期を設定します。




通知拡張		
通信設定 > ネットワーク > 詳細設定 > ARP 通知 > 通知拡張		
通知拡張を設定します。		
初期値 : 有効		
設定項目 : 有効、無効		



通知周期		
通信設定 > ネットワーク > 詳細設定 > ARP 通知 > 通知周期		
通知周期を設定します。		
初期値 : 300 秒		
設定範囲 : 0 ~ 600 秒		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> Note            0 に設定した場合、通知周期はオフになります。         </div>		



USB		
通信設定 > USB		
USB 接続を設定します。		
1	通信プロトコル	通信プロトコルを設定します。



通信プロトコル		
通信設定 > USB > 通信プロトコル		
通信プロトコルを設定します。		
初期値 : STATUS4		
設定項目 : STATUS4、None		








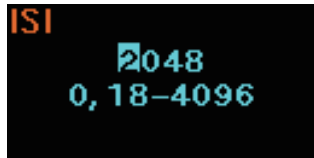
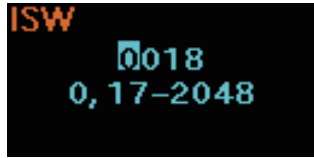
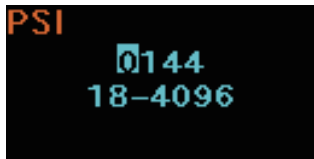
動かしてみましよう

Bluetooth		
通信設定 > Bluetooth		
Bluetooth 接続を設定するために以下の設定項目があります。		
1	Bluetooth 機能	Bluetooth 機能の有効、無効を設定します。
2	デバイス名	“Bluetooth 機能” で “有効” を選択している場合、デバイス名を表示します。 この項目は設定できません。
3	PIN コード	“Bluetooth 機能” で “有効” を選択している場合、PIN コードを表示します。 この項目は設定できません。
4	BD アドレス	“Bluetooth 機能” で “有効” を選択している場合、このプリンタの BD アドレスを表示します。 この項目は設定できません。
5	BD バージョン	“Bluetooth 機能” で “有効” を選択している場合、Bluetooth のファームウェアのバージョンを表示します。 この項目は設定できません。
6	ホスト BD アドレス	“Bluetooth 機能” で “有効” を選択している場合、ホスト BD アドレスを表示します。 この項目は設定できません。
7	IAP 機能	iOS 搭載機器との Bluetooth 接続が可能となる IAP 認証の状態を表示します。iOS 対応プリンタのみで表示されます。 この項目は設定できません。
8	iOS 再接続	iOS 再接続機能の無効 / 手動の設定をおこないます。 iOS 対応プリンタのみで表示されます。
9	認証モード	“Bluetooth 機能” で “有効” を選択している場合、認証レベルを設定します。
10	ISI	“Bluetooth 機能” で “有効” を選択している場合、通信パラメータ ISI を設定します。
11	ISW	“Bluetooth 機能” で “有効” を選択している場合、通信パラメータ ISW を設定します。
12	PSI	“Bluetooth 機能” で “有効” を選択している場合、通信パラメータ PSI を設定します。
13	PSW	“Bluetooth 機能” で “有効” を選択している場合、通信パラメータ PSW を設定します。
14	CRC チェック	“Bluetooth 機能” で “有効” を選択している場合、CRC チェックを設定します。
15	通信プロトコル	“Bluetooth 機能” で “有効” を選択している場合、通信プロトコルを設定します。



Bluetooth 機能	
通信設定 > Bluetooth > Bluetooth 機能 Bluetooth 機能を設定します。 初期値 : 有効 設定項目 : 有効、無効 有効 : Bluetooth 機能を有効にします。 無効 : Bluetooth 機能を無効にします。	
iOS 再接続	
通信設定 > Bluetooth > iOS 再接続 iOS 再接続機能の無効 / 手動の設定をおこないます。 初期値 : 無効 設定項目 : 有効、無効 無効 : iOS 再接続をおこないません。iOS 端末側からの再接続が必要です。 手動 : iOS 再接続を、電源を入れたとき、オンライン / オフラインに切替えたときにおこないます。	
<hr/> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>Note</b>            接続時に iOS との認証が毎回発生します。認証動作中に、バッテリーが抜かれたりして電源が切られた場合、次回の接続に最大 127 秒かかる場合があります。</p> </div> <hr/>	
認証モード	
通信設定 > Bluetooth > 認証モード “Bluetooth 機能” で “有効” を選択している場合、認証レベルを設定します。 初期値 : 認証なし 設定項目 : 認証なし、レベル 2-1、レベル 2-2、レベル 3、レベル 4 認証なし : 認証なし レベル 2-1 : PIN コード認証、サービスレベル、暗号化なし レベル 2-2 : PIN コード認証、サービスレベル、暗号化あり レベル 3 : PIN コード認証、リンクレベル、暗号化なし レベル 4 : セキュアシンプルペアリング対応、サービスレベル、暗号化あり (セキュアシンプルペアリング非対応機器との通信可)	


動かしてみましよう


ISI	
<p>通信設定 &gt; Bluetooth &gt; ISI</p> <p>“Bluetooth 機能”で“有効”を選択している場合、通信パラメータ ISI を設定します。 通信パラメータ ISW の設定値以上の値を設定します。</p> <p>初期値 : 2048 設定範囲 : 0 または 18 ~ 4096</p> <hr/> <p><b>Note</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>設定値は偶数のみが有効です。奇数を設定した場合、-1 された値で動作します。</li><li>“0”に設定する場合、ISW も同時に “0” に設定してください。</li><li>ISI、ISW が両方とも “0” に設定されると、PC などからのデバイスの検索に表示されなくなります。</li></ul>	
ISW	
<p>通信設定 &gt; Bluetooth &gt; ISW</p> <p>“Bluetooth 機能”で“有効”を選択している場合、通信パラメータ ISW を設定します。 通信パラメータ ISI の設定値以下の値を設定します。 設定範囲は通信パラメータ ISI の設定値により変化します。</p> <p>初期値 : 18 設定範囲 : 0 または 17 ~ 4096</p> <hr/> <p><b>Note</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>“0”に設定する場合、ISI も同時に “0” に設定してください。</li><li>ISI、ISW が両方とも “0” に設定されると、PC などからのデバイスの検索に表示されなくなります。</li></ul>	
PSI	
<p>通信設定 &gt; Bluetooth &gt; PSI</p> <p>“Bluetooth 機能”で“有効”を選択している場合、通信パラメータ PSI を設定します。 通信パラメータ PSW の設定値以上の値を設定します。</p> <p>初期値 : 144 設定範囲 : 18 ~ 4096</p> <hr/> <p><b>Note</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>設定値は偶数のみが有効です。奇数を設定した場合、- 1 された値で動作します。</li></ul>	


PSW	
通信設定 > Bluetooth > PSW “Bluetooth 機能”で“有効”を選択している場合、通信パラメータ PSW を設定します。 通信パラメータ PSI の設定値以下の値を設定します。 設定範囲は通信パラメータ PSI の設定値により変化します。 初期値 : 18 設定範囲 : 17 ~ 4096	
CRC チェック	
通信設定 > Bluetooth > CRC チェック “Bluetooth 機能”で“有効”を選択している場合、CRC 機能を設定します。 初期値 : 無効 設定項目 : 有効、無効 有効 : CRC 機能を有効にします。 無効 : CRC 機能を無効にします。	
通信プロトコル	
通信設定 > Bluetooth > 通信プロトコル “Bluetooth 機能”で“有効”を選択している場合、通信プロトコルを設定します。 初期値 : Status4 設定項目 : Status3、Status4、None	
CR/LF カット	
通信設定 > CR/LF カット 受信データ内の CR/LF コードを無視するかを設定します。 初期値 : 無効 設定項目 : 有効、無効 有効 : CR/LF コードを無視します。 無効 : CR/LF コードを無視しません。	
CAN/DLE カット	
通信設定 > CAN/DLE カット 受信データ内の CAN/DLE コードを無視するかを設定します。 初期値 : 無効 設定項目 : 有効、無効 有効 : CAN/DLE コードを無視します。 無効 : CAN/DLE コードを無視しません。	

## 2.6.3 バッテリメニュー

バッテリーメニューには以下の設定項目があります。

バッテリー			
1	状態	バッテリーの状態を表示します。 状態は“良好”、“交換”、“劣化”で表示されます。 この項目は設定できません。	
2	サイクルカウント	バッテリーのサイクルカウント（充放電サイクル）を表示します。 この項目は設定できません。	
3	エコ充電機能	エコ充電機能を設定します。	
4	充電完了後電源オフ	充電完了後の電源オフを設定します。	
<p><b>バッテリーの状態</b></p> <p>良好：バッテリーを使用できる状態です。                      交換：バッテリーの交換が必要な状態です。                      劣化：バッテリーが劣化していて使用できない状態です。</p>			

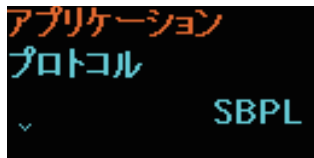
エコ充電機能	
<p>バッテリー &gt; エコ充電機能</p> <p>エコ充電機能を設定します。                      エコ充電機能は、バッテリーの寿命を延ばすことを目的とし、バッテリー充電完了時の充電量を満充電より少なめにおさえて、バッテリーの劣化を遅らせます。</p> <p>初期値 : 無効                      設定項目 : 有効、無効</p> <p>有効：エコ充電機能を有効にします。                      無効：エコ充電機能を無効にします。</p>	

充電完了後電源オフ	
<p>バッテリー &gt; 充電完了後電源オフ</p> <p>充電完了後の電源オフを設定します。 発行（オンライン）画面または停止中（オフライン）画面で待機中に、充電完了後、3秒後にプリンタの電源が切れます。</p> <p>初期値 : 有効 設定項目 : 有効、無効</p> <p>有効 : 充電が完了すると自動で電源が切れます。 無効 : 充電が完了しても自動で電源が切れません。</p> <p><b>充電完了後電源オフ機能が無効になる条件</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・印字動作、フィード動作状態</li><li>・キーを操作している場合</li><li>・調整モード、設定モードの場合</li><li>・データを受信している場合</li><li>・本プリンタ内の温度が許容範囲を超えた（エラー 1065）状態</li><li>・ACアダプタを抜いた場合</li></ul>	


## 2.6.4 アプリケーションメニュー

アプリケーションメニューには以下の設定項目があります。


アプリケーション		
1	プロトコル	使用するプロトコルを設定します。
2	SBPL	SBPL プリンタコマンドを設定します。





プロトコル	
アプリケーション > プロトコル	
使用するプロトコルを設定します。	
初期値 : SBPL	
設定項目 : SBPL、SPOS	
SBPL: SBPL コマンドを使用するときに設定します。	
SPOS: SPOS コマンドを使用するときに設定します。	

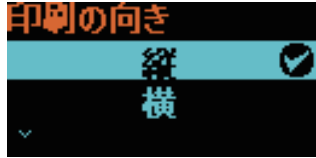


SBPL		
アプリケーション > SBPL		
SBPL を使用する場合、以下の設定項目があります。		
1	コマンドエラー表示	コマンドエラー表示の有効、無効を設定します。
2	スタンダードコード設定	プロトコルコード（制御コード）種別を設定します。
3	印刷の向き	印刷の向きを設定します。
4	フォント設定	フォントを設定します。
5	互換	互換性を設定します。



コマンドエラー表示	
アプリケーション > SBPL > コマンドエラー表示 コマンドエラー表示の有効、無効を設定します。 初期値 : 無効 設定項目 : 有効、無効 有効: コマンドエラーとして発行を停止します。 無効: ステータスアイコンを表示して発行を継続します。	

スタンダードコード設定	
アプリケーション > SBPL > スタンダードコード設定 プロトコルコード（制御コード）種別を設定します。 初期値 : 有効 設定項目 : 有効、無効 有効: スタンダードコードを使用します。 無効: ノンスタンダードコードを使用します。	


印刷の向き	
アプリケーション > SBPL > 印刷の向き 印字の向きを設定します。 初期値 : 縦 設定項目 : 縦、横、縦 180°、横 180°	

フォント設定		
アプリケーション > SBPL > フォント設定 フォントを設定するために以下の設定項目があります。		
1	ゼロスラッシュ	ゼロスラッシュを設定します。
2	漢字設定	漢字コードセットを設定します。
3	プロポーションナルピッチ	プロポーションナルピッチを設定します。
4	コードページ	コードページを設定します。
5	ユーロコード	ユーロ通貨記号のコードを設定します。

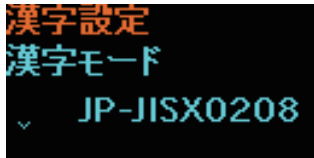





動かしてみましよう



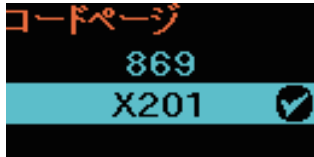
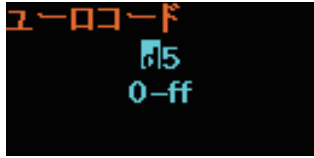
ゼロスラッシュ	
アプリケーション > SBPL > フォント設定 > ゼロスラッシュ	
ゼロスラッシュを設定します。 初期値 : 無効 設定項目 : 有効、無効  有効 : スラッシュあり「Ø」を印字します。 無効 : スラッシュなし「0」を印字します。	

漢字設定		
アプリケーション > SBPL > フォント設定 > 漢字設定		
漢字設定には以下の項目があります。		
1	漢字モード	漢字の文字セットを設定します。
2	文字コード	文字コードを設定します。
3	漢字書体	漢字の書体を設定します。



漢字モード	
アプリケーション > SBPL > フォント設定 > 漢字設定 > 漢字モード	
漢字の文字セットを設定します。 初期値 : JP-JISX0208 設定項目 : JP-JISX0208、JP-JISX0213、GB18030、BIG5、KCS5601	

文字コード	
アプリケーション > SBPL > フォント設定 > 漢字設定 > 文字コード	
文字コードを設定します。 設定項目は“漢字モード”の設定値により変化します。  初期値 JP-JISX0208、 JP-JISX0213 選択時 : SJIS GB18030 選択時 : GB18030 BIG5 選択時 : BIG5 KCS5601 選択時 : KSC5601 設定項目 JP-JISX0208 選択時 : JIS、SJIS、UTF-16 JP-JISX0213 選択時 : SJIS、UTF-16 GB18030 選択時 : GB18030 BIG5 選択時 : BIG5 KCS5601 選択時 : KSC5601	

漢字書体	
<p>アプリケーション &gt; SBPL &gt; フォント設定 &gt; 漢字設定 &gt; 漢字書体</p> <p>使用する漢字の書体を設定します。</p> <p>初期値 :ゴシック 設定項目 :明朝、ゴシック</p>	
プロポーショナルピッチ	
<p>アプリケーション &gt; SBPL &gt; フォント設定 &gt; プロポーショナルピッチ</p> <p>プロポーショナルピッチ（文字ごとの横幅で印字する）か文字幅を固定で印字するかを設定します。</p> <p>初期値 :無効 設定項目 :有効、無効</p> <p>有効：プロポーショナルピッチで印字します。 無効：固定ピッチの文字フォントで印字します。</p>	
コードページ	
<p>アプリケーション &gt; SBPL &gt; フォント設定 &gt; コードページ</p> <p>コードページを設定します。</p> <p>初期値 :X201 設定項目 :UTF-8、858、8859-1、8859-2、8859-9、737、855、850、852、857、866、1250、1251、1252、1253、1254、1257、869、X201</p>	
ユーロコード	
<p>アプリケーション &gt; SBPL &gt; フォント設定 &gt; ユーロコード</p> <p>ユーロ通貨記号のコードを設定します。</p> <p>初期値 :d5 設定項目 :0～ff（16進数）</p>	

動かしてみましよう

互換	
アプリケーション > SBPL > 互換 従来機との互換設定をおこないます。	
1	CODE128(C)
2	Font/Logo 呼び出し
3	QTY 更新タイミング
4	文字間ピッチ



CODE128(C)	
アプリケーション > SBPL > 互換 > CODE128(C) CODE128 のスタートコードが C の場合に、奇数桁を許容してゼロ補填で印字するかどうかを設定します。  初期値 : 無効 設定項目 : 有効、無効 有効 : 奇数桁を許容してゼロ補填で印字します。 無効 : 奇数桁を許容しません。コマンドエラーが発生し、バーコードは印字されません。	




Font/Logo 呼び出し	
アプリケーション > SBPL > 互換 > Font/Logo 呼び出し フォント・ロゴを呼び出し印字指定コマンド (ESC+RF) で指定する文字コードの処理を設定します。  初期値 : 無効 設定項目 : 有効、無効 有効 : リトルエンディアンで処理します。 無効 : ビッグエンディアンで処理します。	



QTY 更新タイミング	
アプリケーション > SBPL > 互換 > QTY 更新タイミング QTY 更新タイミング互換を設定します。  初期値 : 無効 設定項目 : 有効、無効 有効 : 印字完了後に更新します。 無効 : 動作モードがハクリ、またはティアオフの場合、動作終了後に更新します。エラーで印字完了していなくても更新されます。	



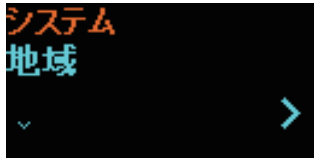
文字間ピッチ	
<p>アプリケーション &gt; SBPL &gt; 互換 &gt; 文字間ピッチ</p> <p>文字間ピッチ指定 (ESC+P) の有効範囲を設定します。</p> <p>初期値 : 無効</p> <p>設定項目 : 有効、無効</p> <p>有効 : 文字間ピッチ指定 (ESC+P) の有効範囲が、次の文字間ピッチの指定をするまで有効になります。</p> <p>無効 : 文字間ピッチ指定 (ESC+P) は、次の文字、またはバーコード指定があると解除され、初期値に戻ります。</p>	

動かしてみましよう


## 2.6.5 システムメニュー

システムメニューには以下の設定項目があります。


システム		
1	地域	表示言語および単位を設定します。
2	お知らせ機能	清掃および部品交換の時期をお知らせする機能を設定します。
3	ブザー音	ブザー音を設定します。
4	低消費電力モード	低消費電力モードを設定します。
5	総発行枚数表示	総発行枚数表示の有効、無効を設定します。
6	拡大アイコン表示	拡大アイコン表示を設定します。
7	低温制御	低温制御を設定します。
8	パスワード	パスワードを設定します。




地域		
システム > 地域		
表示言語および単位を設定するために以下の設定項目があります。		
1	表示言語	ディスプレイの表示言語を設定します。
2	単位	ディスプレイに表示される長さの単位を設定します。



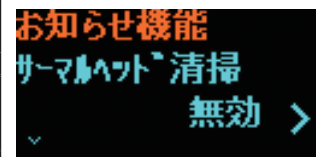
表示言語		
システム > 地域 > 表示言語		
ディスプレイの表示言語を設定します。		
初期値	: 日本語	
設定項目	: 日本語、English, US	



単位		
システム > 地域 > 単位		
ディスプレイに表示される長さの単位を設定します。		
初期値	: dot	
設定項目	: dot、in、mm	



お知らせ機能		
システム > お知らせ機能		
清掃および部品交換の時期をお知らせする機能を設定するために以下の設定項目があります。		
1	サーマルヘッド 清掃	サーマルヘッド清掃のお知らせを設定します。
2	サーマルヘッド 交換	サーマルヘッド交換のお知らせを設定します。
3	プラテンローラー 交換	プラテンローラー交換のお知らせを設定します。


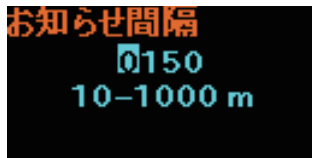


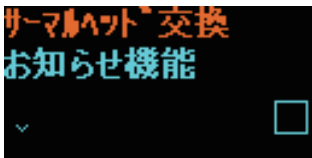
サーマルヘッド清掃		
システム > お知らせ機能 > サーマルヘッド清掃		
サーマルヘッド清掃のお知らせを設定するために以下の設定項目があります。		
1	お知らせ機能	サーマルヘッド清掃お知らせ機能の有効、無効を設定します。
2	お知らせ間隔	サーマルヘッド清掃のお知らせ間隔を設定します。 “お知らせ機能”で“有効”を選択した場合に設定ができます。
3	サーマルヘッド 清掃カウンタ	現在までの走行距離を表示します。 この項目は設定できません。






お知らせ機能		
システム > お知らせ機能 > サーマルヘッド清掃 > お知らせ機能		
サーマルヘッドを清掃する時期をお知らせする機能の有効、無効を設定します。		
初期値 : 無効 設定項目 : 有効、無効		
有効 : お知らせ機能を有効にします。 無効 : お知らせ機能を無効にします。		

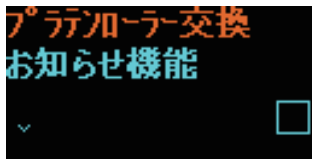



お知らせ間隔	
<p>システム &gt; お知らせ機能 &gt; サーマルヘッド清掃 &gt; お知らせ間隔</p> <p>サーマルヘッドを清掃する時期の間隔を設定します。 カウンタをリセットしたあとの走行距離が設定値に達したときに、お知らせ表示のステータスアイコンを表示します。 “サーマルヘッド清掃 &gt; お知らせ機能” で “有効” を選択した場合に設定ができます。</p> <p>初期値 : 150 m 設定範囲 : 10 ~ 1000 m</p> <hr/> <p> <b>Note</b> お知らせ表示の詳細は「3.4 お知らせ表示」( <a href="#">121 ページ</a> ) をご覧ください。</p>	

サーマルヘッド交換			
<p>システム &gt; お知らせ機能 &gt; サーマルヘッド交換</p> <p>サーマルヘッド交換のお知らせを設定するために以下の設定項目があります。</p>			
1	お知らせ機能	サーマルヘッド交換お知らせ機能の有効、無効を設定します。	
2	お知らせ間隔	サーマルヘッド交換のお知らせ間隔を設定します。 “お知らせ機能” で “有効” を選択した場合に設定ができます。	
3	サーマルヘッド交換カウンタ	現在までの走行距離を表示します。 この項目は設定できません。	


お知らせ機能	
<p>システム &gt; お知らせ機能 &gt; サーマルヘッド交換 &gt; お知らせ機能</p> <p>サーマルヘッドを交換する時期をお知らせする機能の有効、無効を設定します。</p> <p>初期値 : 無効 設定項目 : 有効、無効</p> <p>有効 : お知らせ機能を有効にします。 無効 : お知らせ機能を無効にします。</p>	


お知らせ間隔	
<p>システム &gt; お知らせ機能 &gt; サーマルヘッド交換 &gt; お知らせ間隔</p> <p>サーマルヘッドの交換時期をお知らせする間隔を設定します。                      カウンタをリセットしてからの走行距離が設定値に達したときに、お知らせ表示のステータスアイコンを表示します。                      “サーマルヘッド清掃 &gt; お知らせ機能” で “有効” を選択した場合に設定ができます。</p> <p>初期値 : 30 km                      設定範囲 : 1 ~ 30 km</p> <hr/> <p> <b>Note</b>                      お知らせ表示の詳細は「3.4 お知らせ表示」( <a href="#">121 ページ</a> ) をご覧ください。</p>	


プラテンローラー交換		
<p>システム &gt; お知らせ機能 &gt; プラテンローラー交換</p> <p>プラテンローラー交換のお知らせを設定するために以下の設定項目があります。</p>		
1	<p>お知らせ機能</p> <p>プラテンローラー交換お知らせ機能の有効、無効を設定します。</p>	
2	<p>お知らせ間隔</p> <p>プラテンローラー交換のお知らせ間隔の設定します。                      “お知らせ機能” で “有効” を選択した場合に設定ができます。</p>	
3	<p>プラテン交換カウンタ</p> <p>現在までの走行距離を表示します。                      この項目は設定できません。</p>	

お知らせ機能	
<p>システム &gt; お知らせ機能 &gt; プラテンローラー交換 &gt; お知らせ機能</p> <p>プラテンローラーを交換する時期をお知らせする機能の有効、無効を設定します。</p> <p>初期値 : 無効                      設定項目 : 有効、無効</p> <p>有効 : お知らせ機能を有効にします。                      無効 : お知らせ機能を無効にします。</p>	

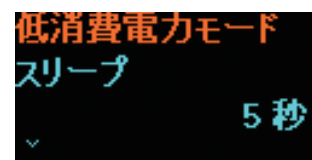


お知らせ間隔	
<p>システム &gt; お知らせ機能 &gt; プラテンローラー交換 &gt; お知らせ間隔</p> <p>プラテンローラーの交換時期をお知らせする間隔を設定します。                      カウンタをリセットしたあとの走行距離が設定値に達したときに、お知らせ表示のステータスアイコンを表示します。                      “プラテンローラー交換 &gt; お知らせ機能” で“有効”を選択した場合に設定ができます。</p> <p>初期値 : 30 km                      設定範囲 : 1 ~ 30 km</p> <hr/> <p><input type="checkbox"/> Note                      お知らせ表示の詳細は「3.4 お知らせ表示」( <a href="#">121 ページ</a> ) をご覧ください。</p>	

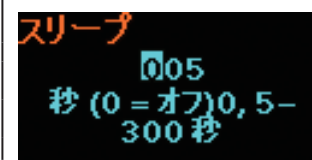
ブザー音			
<p>システム &gt; ブザー音</p> <p>ブザー音を設定します。</p>			
<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>エラー音</td> <td>エラーお知らせ用のブザー音を設定します。</td> </tr> </table>		1	エラー音
1	エラー音	エラーお知らせ用のブザー音を設定します。	

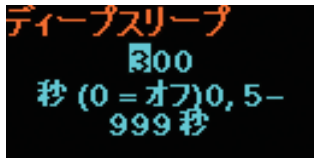
エラー音	
<p>システム &gt; ブザー音 &gt; エラー音</p> <p>エラーお知らせ用のブザー音を設定します。</p> <p>初期値 : 有効                      設定項目 : 有効、無効</p>	

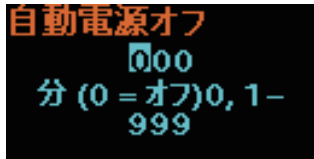
低消費電力モード		
システム > 低消費電力モード		
低消費電力モードを設定するために以下の設定項目があります。		
1	スリープ	スリープに変わるまでの時間を設定します。
2	ディープスリープ	ディープスリープに変わるまでの時間を設定します。
3	自動電源オフ	一定時間操作がおこなわれない状態が続いたとき、プリンタの電源を切るまでの時間を設定します。
<p>スリープ、ディープスリープへ移行しない条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調整モード、設定モード、ダウンロードモードの場合</li> <li>ローバッテリー（エラー 1043）状態</li> <li>バッテリー未挿入（エラー 1060）状態</li> <li>本プリンタ内の温度が許容範囲を超えた（エラー 1022、1064、1065）状態</li> <li>USB 接続状態（ディープスリープのみ）</li> </ul> <p>スリープ、ディープスリープからの復帰条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カバーの開閉をした場合</li> <li>データを受信した場合</li> <li>キーを押した場合</li> <li>AC アダプタ接続状態で、バッテリーを抜いた場合（エラー 1060）</li> <li>AC アダプタを抜き差しした場合</li> <li>USB を抜き差しした場合</li> <li>充電が完了した場合</li> <li>ローバッテリー（エラー 1043）を検出した場合</li> <li>自動電源オフ機能を設定している場合</li> </ul> <p>※スリープ、ディープスリープ中にキーを押した場合は通常モードに戻ります。通常モードに戻ってから、再度キーを押してください。</p> <p>※無線 LAN で接続されているときにディープスリープへ移行した場合、プリンタがデータを受信すると復帰します。ただし、ディープスリープ中に一時的にアクセスポイント接続圏外へ移動した場合は接続が切断されますので、プリンタを起動して再接続してください。（無線 LAN（オプション）取付け時のみ）</p>		





スリープ		
システム > 低消費電力モード > スリープ		
スリープに変わるまでの時間を設定します。 スリープでは、サブ CPU が省電力状態になります。		
初期値 : 5 秒 設定範囲 : 0 または 5 ~ 999 秒		
<p><input type="checkbox"/> Note</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>0 に設定した場合、スリープはオフになります。</li> <li>設定範囲の上限は、“ディープスリープ” で設定されている値が表示されます。ディープスリープより大きな値は設定できません。</li> <li>バッテリーを長持ちさせるため、小さい値を推奨します。</li> </ul>		




ディープスリープ	
<p>システム &gt; 低消費電力モード &gt; ディープスリープ</p> <p>ディープスリープに変わるまでの時間を設定します。 ディープスリープでは、メイン CPU とサブ CPU が省電力状態になります。</p> <p>初期値 : 300 秒 設定範囲 : 0 または 5 ~ 999 秒</p> <hr/> <p><b>Note</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>0 に設定した場合、ディープスリープはオフになります。</li> <li>“スリープ” の値より小さい値は設定できません。“スリープ” より大きな値を設定してください。</li> <li>USB 接続中はディープスリープ に変わりません。</li> </ul>	


自動電源オフ	
<p>システム &gt; 低消費電力モード &gt; 自動電源オフ</p> <p>一定時間操作がおこなわれない状態が続いたとき、プリンタの電源を切るまでの時間を設定します。</p> <p>初期値 : 0 分 (オフ) 設定範囲 : 0 ~ 999 分</p> <hr/> <p><b>Note</b></p> <p>0 に設定した場合、自動電源オフ機能はオフになります。</p> <p><b>自動電源オフ機能が無効になる条件</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調整モード、設定モード、ダウンロードモードの場合</li> <li>充電中の場合</li> <li>本プリンタ内の温度が許容範囲を超えた (エラー 1065) 状態</li> </ul>	


総発行枚数表示	
<p>システム &gt; 総発行枚数表示</p> <p>総発行枚数表示の有効、無効を設定します。 “有効” を選択している場合、発行 (オンライン) 画面、および停止中 (オフライン) 画面に総発行枚数が表示されます。 “QTY” の右に表示される、( ) 内の数字が総発行枚数になります。</p> <p>初期値 : 無効 設定項目 : 有効、無効</p> <p>有効 : 総発行枚数表示を有効にします。 無効 : 総発行枚数表示を無効にします。</p> <hr/> <p><b>Note</b></p> <p>プリンタの電源を切った場合、カウントは 0 に戻ります。</p>	


拡大アイコン表示	
システム > 拡大アイコン表示	
拡大アイコン表示を設定します。	
初期値 : 無効 設定項目 : 有効、無効	


低温制御	
システム > 低温制御	
低温制御を設定します。	
初期値 : 無効 設定項目 : 有効、無効	
有効 : 低温制御をおこないます。 無効 : 通常制御をおこないます。	
<hr/> <b>Note</b> “有効” に設定した場合、－15℃環境下での印字を想定した動作をおこないますが、動作保証外の機能となります。	

パスワード		
システム > パスワード		
パスワードを設定するために以下の設定項目があります。		
1	パスワード機能	パスワード機能の有効、無効を設定します。
2	インストール時のセキュリティ	パッケージファイルダウンロード時のパスワード入力を設定します。
3	パスワード更新	パスワードを更新します。



パスワード機能	
<p>システム &gt; パスワード &gt; パスワード機能</p> <p>パスワード機能の有効、無効を設定します。 “有効”を選択している場合、プリンタを起動後、または設定モードから通常モードに移行してから一定時間経過後、設定モードに移行するときに設定したパスワードの入力を要求します。</p> <p>初期値 : 無効 設定項目 : 有効、無効</p> <p>有効 : パスワード設定を有効にします。 無効 : パスワード設定を無効にします。</p> <hr/> <p><b>Note</b> 初期パスワードは 0310 です。パスワードはパスワード &gt; パスワード更新 &gt; level1 で変更可能です。</p>	

インストール時のセキュリティ	
<p>システム &gt; パスワード &gt; インストール時のセキュリティ</p> <p>パッケージファイルダウンロード時のパスワード入力を設定します。</p> <p>初期値 : 無効 設定項目 : 無効、USB、すべて</p> <p>無効 : パッケージファイルのダウンロードをおこなうとき、パスワードを要求しません。 USB : USB メモリからパッケージファイルのダウンロードをおこなうとき、パスワードを要求します。 すべて : コンピュータまたは、USB メモリからパッケージファイルのダウンロードをおこなうとき、パスワードを要求します。</p>	


パスワード更新	
<p>システム &gt; パスワード &gt; パスワード更新</p> <p>パスワードを更新します。 4 から 32 文字の数字の入力が可能です。</p> <p>設定項目 : admin、manager、level1</p> <hr/> <p><b>Note</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• admin、manager は工場と整備用のパスワードです。これらのパスワードは更新できません。</li><li>• level1 の初期パスワードは 0310 です。</li></ul> <hr/> <p><b>パスワードのリセット</b></p> <p>設定したパスワードを忘れた場合は、初期設定のパスワードに戻すことができます。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. プリンタの電源を再起動します。</li><li>2. ディスプレイに SATO ロゴが表示されたら、<b>発行 / 選択</b> キーと <b>紙送り / 決定</b> キーを同時に押し、ブザーが鳴ったら離します。</li><li>3. パスワードが初期設定にもどり、通常モードの画面が表示されます。</li></ol> <ul style="list-style-type: none"><li>• このキー操作は、一時的な解決策としてユーザーが初期設定のパスワードで設定モードにアクセスできるようにします。</li><li>• 初期設定のパスワードで設定モードにアクセスしたあとは、パスワードを再度設定してください。</li></ul>	

動かしてみましよう


## 2.6.6 ツールメニュー

ツールメニューには以下の設定項目があります。

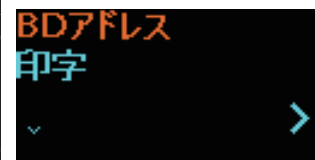
ツール		
1	テスト印字	テスト印字をおこないます。
2	HEX ダンプ	HEX ダンプの設定、または HEX ダンプ印字をおこないます。
3	リセット	プリンタの設定をリセットします。
4	サービスモード	この項目はサービス用の項目になります。弊社サービスが使用します。
5	工場モード	この項目はサービス用の項目になります。弊社サービスが使用します。



テスト印字		
ツール > テスト印字		
テスト印字をおこなうために以下の設定項目があります。		
1	BD アドレス	BD アドレスを QR コードと Code 39 で印字します。
2	工場設定	工場用のテスト印字をおこないます。
3	設定一覧	プリンタの設定情報を印字します。
4	設定一覧 (QR)	QR コードを使用して設定情報を印字します。
5	センサレベル	センサレベルの波形を印字します。




BD アドレス		
ツール > テスト印字 > BD アドレス BD アドレスのテスト印字をおこなうために以下の設定項目があります。		
1	印字	テスト印字をします。 発行 / 選択 キー、または 紙送り / 決定 キーを押すとテスト印字を停止します。
2	印字位置調整	印字位置を補正します。 初期値 : 0 dot 設定範囲 : - 30 ~ 30 dot
3	オフセット調整	停止位置を補正します。 初期値 : 0 dot 設定範囲 : - 30 ~ 30 dot
4	印字濃度調整	印字濃度の微調整を設定します。 初期値 : 50 設定範囲 : 0 ~ 99 <hr/> <input type="checkbox"/> Note 0 が一番薄く、99 が一番濃くなります。
<hr/> <input type="checkbox"/> Note <ul style="list-style-type: none"> <li>“BD アドレス” で設定された印字位置調整、オフセット調整、印字濃度調整の値は、“工場設定”、“設定一覧”、“設定一覧 (QR)”、“センサーレベル” の同項目の設定に反映されます。</li> <li>“BD アドレス” で設定された印字位置調整、オフセット調整、印字濃度調整の値は、“調整モード” (50 ページ) の同項目の設定に反映されます。</li> </ul> <hr/>		





動かしてみましよう

工場設定		
ツール > テスト印字 > 工場設定		
工場用のテスト印字をおこなうために以下の設定項目があります。		
1	印字	テスト印字をします。 発行 / 選択 キー、または 紙送り / 決定 キーを押すとテスト印字を停止します。
2	印字位置調整	印字位置を補正します。 初期値 : 0 dot 設定範囲 : - 30 ~ 30 dot
3	オフセット調整	停止位置を補正します。 初期値 : 0 dot 設定範囲 : - 30 ~ 30 dot
4	印字濃度調整	印字濃度の微調整を設定します。 初期値 : 50 設定範囲 : 0 ~ 99 <hr/> <b>Note</b> 0 が一番薄く、99 が一番濃くなります。 <hr/>
<hr/> <b>Note</b> <ul style="list-style-type: none"><li>“工場設定” で設定された印字位置調整、オフセット調整、印字濃度調整の値は、“BD アドレス”、“設定一覧”、“設定一覧 (QR)”、“センサーレベル” の同項目の設定に反映されます。</li><li>“工場設定” で設定された印字位置調整、オフセット調整、印字濃度調整の値は、“調整モード” (50 ページ) の同項目の設定に反映されます。</li></ul> <hr/>		




設定一覧		
ツール > テスト印字 > 設定一覧 プリンタ設定情報の印字をおこなうために以下の設定項目があります。		
1	印字	テスト印字をします。 発行 / 選択 キー、または 紙送り / 決定 キーを押すとテスト印字を停止します。
2	用紙長	テスト印字に使用される用紙 1 枚の長さを設定します。 初期値 : 800 dot 設定範囲 : 400 ~ 1600 dot
3	印字位置調整	印字位置を補正します。 初期値 : 0 dot 設定範囲 : - 30 ~ 30 dot
4	オフセット調整	停止位置を補正します。 初期値 : 0 dot 設定範囲 : - 30 ~ 30 dot
5	印字濃度調整	印字濃度の微調整を設定します。 初期値 : 50 設定範囲 : 0 ~ 99 <hr/> □ Note 0 が一番薄く、99 が一番濃くなります。
<hr/> □ Note ・“設定一覧” で設定された用紙長、印字位置調整、オフセット調整、印字濃度調整の値は、“BD アドレス”、“工場設定”、“設定一覧 (QR)”、“センサレベル” の同項目の設定に反映されます。 ・“設定一覧” で設定された印字位置調整、オフセット調整、印字濃度調整の値は、“調整モード” (50 ページ) の同項目の設定に反映されます。		



動かしてみましよう


設定一覧 (QR)		
ツール > テスト印字 > 設定一覧 (QR)		
QR コードを使用して設定情報の印字をおこなうために以下の設定項目があります。		
1	印字	テスト印字をします。 発行 / 選択 キー、または 紙送り / 決定 キーを押すとテスト印字を停止します。
2	用紙長	テスト印字に使用される用紙 1 枚の長さを設定します。 初期値 : 800 dot 設定範囲 : 400 ~ 1600 dot
3	印字位置調整	印字位置を補正します。 初期値 : 0 dot 設定範囲 : - 30 ~ 30 dot
4	オフセット調整	停止位置を補正します。 初期値 : 0 dot 設定範囲 : - 30 ~ 30 dot
5	印字濃度調整	印字濃度の微調整を設定します。 初期値 : 50 設定範囲 : 0 ~ 99 <hr/> <b>Note</b> 0 が一番薄く、99 が一番濃くなります。
<hr/> <b>Note</b> <ul style="list-style-type: none"><li>“設定一覧 (QR)” で設定された用紙長、印字位置調整、オフセット調整、印字濃度調整の値は、“BD アドレス”、“工場設定”、“設定一覧”、“センサーレベル” の同項目の設定に反映されます。</li><li>“設定一覧 (QR)” で設定された印字位置調整、オフセット調整、印字濃度調整の値は、“調整モード” (50 ページ) の同項目の設定に反映されます。</li></ul> <hr/>		


A QR code is located to the right of the table. It is a square with a black background and white text. The text reads '設定一覧 (QR)' in orange and '印字' in white. There is a small white arrow pointing to the right at the bottom right corner of the QR code.

センサレベル		
ツール > テスト印字 > センサレベル センサレベル波形の印字をおこなうために以下の設定項目があります。		
1	印字	テスト印字をします。 [発行 / 選択]キー、または[紙送り / 決定]キーを押すとテスト印字を停止します。
2	用紙長	テスト印字に使用される用紙 1 枚の長さを設定します。 初期値 : 800 dot 設定範囲 : 400 ~ 1600 dot
3	印字位置調整	印字位置を補正します。 初期値 : 0 dot 設定範囲 : - 30 ~ 30 dot
4	オフセット調整	停止位置を補正します。 初期値 : 0 dot 設定範囲 : - 30 ~ 30 dot
5	印字濃度調整	印字濃度の微調整を設定します。 初期値 : 50 設定範囲 : 0 ~ 99 <hr/> □ Note 0 が一番薄く、99 が一番濃くなります。
<hr/> □ Note ・“センサレベル” で設定された用紙長、印字位置調整、オフセット調整、印字濃度調整の値は、“BD アドレス”、“工場設定”、“設定一覧”、“設定一覧 (QR)” の同項目の設定に反映されます。 ・“センサレベル” で設定された印字位置調整、オフセット調整、印字濃度調整の値は、“調整モード” (☞ 50 ページ) の同項目の設定に反映されます。		



動かしてみましよう

HEX ダンプ			
ツール > HEX ダンプ			
受信バッファのデータを保存するために以下の設定項目があります。			
1	HEX ダンプモード		HEX ダンプモードの有効、無効を設定します。
2	バッファダンプ		受信バッファデータをプリンタに保存します。
3	ログファイル	HEX ダンプモード、バッファダンプで生成された受信データのファイルを管理します。	


HEX ダンプモード	
ツール > HEX ダンプ > HEX ダンプモード	
<p>HEX ダンプモードの有効、無効を設定します。            “有効” を選択している場合、プリンタは受信データを印字し、同時にプリンタの hexdump/ フォルダ内に受信データのファイルを生成します。</p> <p>初期値 : 無効            設定項目 : 有効、無効</p>	
<p><b>Note</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• “有効” に設定した場合、ステータスアイコンに「HEX」を表示します。</li> <li>• インタフェースごとに受信データファイルを最大 10 件保存可能ですが、ファイルサイズによっては、保存可能なファイル数は 10 件より少なくなります。</li> <li>• プリンタの hexdump/ フォルダ内に生成されたファイルの詳細は以下のようになります。               <ul style="list-style-type: none"> <li>• BT00xx.bin : Bluetooth 経由の受信データ</li> <li>• WIFI00xx.bin : 無線 LAN 経由の受信データ</li> <li>• USB00xx.bin : USB 経由の受信データ</li> </ul> </li> <li>• 受信データのサイズが 1024 KB に達したとき、または未受信状態が 60 秒継続したときにファイルを保存します。</li> <li>• プリンタの hexdump/ フォルダ内に生成されたファイルは、“ログファイル” から印字または削除ができます。</li> </ul>	
	

バッファダンプ	
ツール > HEX ダンプ > バッファダンプ  受信バッファデータをプリンタの buff/ フォルダに保存します。 “HEX ダンプモード” で “無効” を選択した場合にバッファダンプができます。	
<hr/> <b>□ Note</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>受信バッファのデータファイルはインタフェースごとに生成されます。</li> <li>プリンタの buff/ フォルダ内に生成されたファイルの詳細は以下のようになります。               <ul style="list-style-type: none"> <li>BT0001.bin : Bluetooth 経由の受信データ</li> <li>WIFI0001.bin : 無線 LAN 経由の受信データ</li> <li>USB0001.bin : USB 経由の受信データ</li> </ul> </li> <li>バッファダンプを再度おこなうと、現存するファイルは上書きされます。</li> <li>プリンタの buff/ フォルダ内に生成されたファイルは、“ログファイル” から印字または削除ができます。</li> </ul>	


ログファイル							
ツール > HEX ダンプ > ログファイル  HEX ダンプモード、バッファダンプで生成された受信データのファイルを管理するために以下の設定項目があります。							
<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>削除</td> <td>受信データのファイルを削除します。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>印字</td> <td>受信データのファイルを印字します。</td> </tr> </table>		1	削除	受信データのファイルを削除します。	2	印字	受信データのファイルを印字します。
1		削除	受信データのファイルを削除します。				
2	印字	受信データのファイルを印字します。					

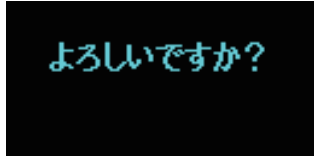

削除	
ツール > HEX ダンプ > ログファイル > 削除  受信データのファイルを削除します。 1. 削除するファイル形式を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>buff/ : バッファダンプをおこなったあとに保存されたバッファデータ</li> <li>hexdump/ : HEX ダンプモード経由で生成された受信データ</li> </ul> 2. 削除するファイルを選択します。	


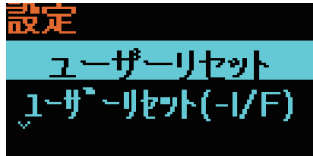
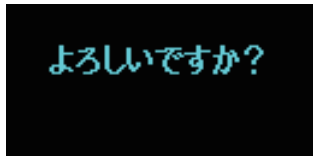
動かしてみましよう


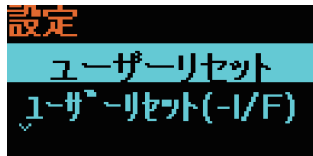
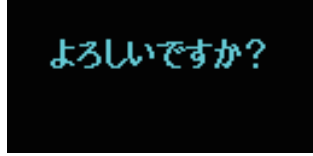
印字	
ツール > HEX ダンプ > ログファイル > 印字  受信データのファイルを印字します。 1. 印字するファイル形式を選択します。 ・ buff/ : バッファダンプをおこなったあとに保存されたバッファデータ ・ hexdump/ : HEX ダンプモード経由で生成された受信データ 2. 印字するファイルを選択します。	

リセットタイプ選択		
ツール > リセット > リセットタイプ選択		
初期化するために以下の選択項目があります。		
1	データ	プリンタに保存されたデータを初期化します。
2	データ&設定	プリンタに保存されたデータと設定値を初期化します。
3	設定	プリンタの設定値を初期化します。



データ	
ツール > リセット > リセットタイプ選択 > データ  プリンタに保存されたデータを初期化します。 初期化するデータはプリンタに登録されたフォントと画像です。	
 注意 通常は初期化は不要です。初期化するとプリンタのコンディションを変えてしまう可能性があります。	


データ & 設定	
<p>ツール &gt; リセット &gt; リセットタイプ選択 &gt; データ &amp; 設定</p> <p>プリンタ内の設定値を初期化する設定項目を選択します。 初期化するデータはプリンタに登録されたフォントと画像です。</p> <p>設定項目：ユーザーリセット、ユーザーリセット (-I/F)、工場リセット、工場リセット (-I/F)、通信設定、印字</p> <p>ユーザーリセット : データと設定値を初期化します。 ユーザーリセット (-I/F) : 通信メニュー以外の設定値とデータを初期化します。 工場リセット : 工場出荷時の状態に初期化します。 工場リセット (-I/F) : 通信メニュー以外の設定値とデータを工場出荷時の状態に初期化します。 通信設定 : 通信メニュー内の設定値とデータを初期化します。 印字 : 印字メニュー内の設定値とデータを初期化します。</p> <hr/> <p> <b>Note</b> 各設定項目の初期値は、「2.7 初期値一覧」(☞ 106 ページ)をご覧ください。</p>	  

設定	
<p>ツール &gt; リセット &gt; リセットタイプ選択 &gt; 設定</p> <p>プリンタ内の設定値を初期化する設定項目を選択します。</p> <p>設定項目：ユーザーリセット、ユーザーリセット (-I/F)、工場リセット、工場リセット (-I/F)、通信設定、印字</p> <p>ユーザーリセット : 設定値を初期化します。 ユーザーリセット (-I/F) : 通信メニュー以外の設定値を初期化します。 工場リセット : 工場出荷時の状態に初期化します。 工場リセット (-I/F) : 通信メニュー以外の設定値を工場出荷時の状態に初期化します。 通信設定 : 通信メニュー内の設定値を初期化します。 印字 : 印字メニュー内の設定値を初期化します。</p> <hr/> <p> <b>Note</b> 各設定項目の初期値は、「2.7 初期値一覧」(☞ 106 ページ)をご覧ください。</p>	  



動かしてみましよう

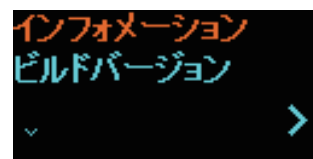
---

Wi-Fi サイトサーベイ (PW208 のみ : オプションの無線 LAN 取付け時)	
ツール > Wi-Fi サイトサーベイ	
アクセスポイントごとの電波強度を調査し、表示または印字をします。	
1	サイトサーベイ表示
2	サイトサーベイ印字
	

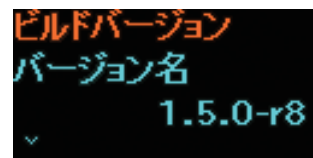
## 2.6.7 インフォメーションメニュー

インフォメーションメニューには以下の表示項目があります。  
インフォメーションメニュー内の表示項目は設定できません。


インフォメーション		
1	ビルドバージョン	ファームウェアのバージョンを表示します。
2	アプリケーション	アプリケーションのバージョンを表示します。
3	印字モジュール	印字モジュールの情報を表示します。
4	カウンタ	カウンタ情報を表示します。
5	実印字動作	印字動作の設定情報を表示します。
6	IPv4 アドレス	オプションの無線 LAN を取付けている場合にのみ、IPv4 アドレスを表示します。
7	IPv6 アドレス	オプションの無線 LAN を取付けている場合にのみ、IPv6 アドレスを表示します。 Wi-Fi ダイレクトを設定している場合は表示されません。
8	Wi-Fi MAC アドレス	オプションの無線 LAN を取付けている場合にのみ、無線 LAN の MAC アドレスを表示します。
9	Wi-Fi リージョン	オプションの無線 LAN を取付けている場合にのみ、無線 LAN のリージョン情報を表示します。
10	Wi-Fi ステータス	オプションの無線 LAN を取付けている場合にのみ、無線 LAN のステータスを表示します。
11	Wi-Fi ダイレクト	Wi-Fi ダイレクトに接続されている場合にのみ、Wi-Fi ダイレクトの接続情報を表示します。
12	Wi-Fi バージョン	オプションの無線 LAN を取付けている場合にのみ、無線 LAN のバージョンを表示します。





ビルドバージョン		
インフォメーション > ビルドバージョン		
このプリンタの情報とバージョンを表示します。		
1	バージョン名	ビルドバージョン名を表示します。
2	日付	ビルドバージョンの日付を表示します。
3	チェックサム	ビルドバージョンのチェックサムを表示します。
4	カーネルバージョン	カーネルバージョンを表示します。
5	ブートバージョン	ブートバージョンを表示します。

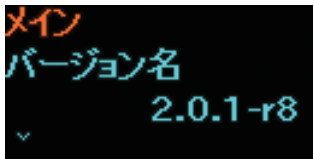



動かしてみましよう

ブートバージョン			
インフォメーション > ビルドバージョン > ブートバージョン このプリンタのブートバージョンを表示します。			
1	Disks	Disks を表示します。	
2	ワープモード	ワープモードの有効、無効を表示します。	
3	日付	ブートバージョンの日付を表示します。	

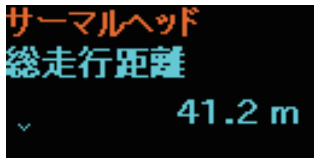
印字モジュール			
インフォメーション > 印字モジュール このプリンタの印字モジュールの情報を表示します。			
1	ブート	ブートファームウェアのバージョンを表示します。	
2	メイン	メインファームウェアのバージョンを表示します。	

ブート			
インフォメーション > 印字モジュール > ブート ブートファームウェアの情報を表示します。			
1	バージョン名	ブートファームウェア名を表示します。	
2	日付	ブートファームウェアの公開日を表示します。	
3	チェックサム	ブートファームウェアのチェックサムを表示します。	

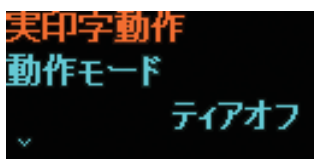
メイン			
インフォメーション > 印字モジュール > メイン メインファームウェアの情報を表示します。			
1	バージョン名	メインファームウェア名を表示します。	
2	日付	メインファームウェアの公開日を表示します。	
3	チェックサム	メインファームウェアのチェックサムを表示します。	

カウンタ			
インフォメーション > カウンタ このプリンタのカウンタ情報を表示します。			
1	サーマルヘッド	このプリンタのサーマルヘッドカウンタ情報を表示します。	

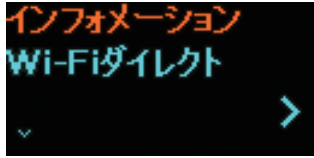
サーマルヘッド		
インフォメーション > カウンタ > サーマルヘッド		
このプリンタのサーマルヘッドカウンタ情報を表示します。		
1	総走行距離	現在の走行距離を表示します。
2	ヘッド走行距離 1	ヘッド走行距離 1 は現在の走行距離を表示します。
3	ヘッド走行距離 2	サーマルヘッドを交換した場合は、サーマルヘッドカウンタのヘッド走行距離 1 はヘッド走行距離 2 に移動し、
4	ヘッド走行距離 3	ヘッド走行距離 1 は再度 0 からカウントを開始します。



実印字動作		
インフォメーション > 実印字動作		
このプリンタの印字動作の設定情報を表示します。		
1	動作モード	動作モードの設定値を表示します。
2	センサタイプ	センサタイプの設定値を表示します。



Wi-Fi ダイレクト		
インフォメーション > Wi-Fi ダイレクト		
Wi-Fi ダイレクトに接続されている場合にのみ、Wi-Fi ダイレクトの接続情報を表示します。		
1	SSID	SSID を表示します。
2	Wi-Fi 機能	Wi-Fi ダイレクト接続の状態を、以下の項目で表示します。 GO : グループオーナー
3	デバイスアドレス	デバイスアドレスを表示します。
4	IP アドレス	IP アドレスを表示します。
5	パスフレーズ	パスフレーズを表示します。



## 2.7 初期値一覧

初期値は、工場出荷時のプリンタ設定です。

プリンタをリセットした場合、プリンタ設定が初期値に戻ります。

以下の表は、各設定項目の初期値とリセット項目について案内しています。



注意

■通常は、初期化をおこなう必要はありません。

- プリンタ設定値が初期値に戻ります。

### 2.7.1 印字メニュー

設定項目	初期値	ユーザー 初期化	工場 初期化
用紙長	1760 dot	○	○
用紙幅	440 dot	○	○
印字速度	4 ips	○	○
動作モード	ティアオフ	○	○
センサタイプ	PW208 : 反射 PW208m : 無効	○	○
ハクリ設定 (PW208 のみ)	—	—	—
バックフィード動作	印字前	○	○
センサタイプ	反射	—	—
濃度レンジ	A	○	○
印字濃度	5	○	○
基点補正	—	—	—
縦位置補正	0 dot	○	○
横位置補正	0 dot	○	○

設定項目	初期値	ユーザー 初期化	工場 初期化
詳細設定	—	—	—
ヘッドチェック	すべて	○	○
ヘッドチェックモード	すべて	○	○
枚数指定	1	○	○
用紙サイズチェック	無効	○	○
調整モード	—	—	—
オフセット調整	0 dot	×	×
印字位置調整	0 dot	×	×
印字濃度調整	50	×	×
オンライン起動	有効	○	○
エラー後 紙送り	無効	○	○
起動時 紙送り	無効	○	○
オプションフィード量	0 dot	○	○
ペーパーエンドセンサ (PW208 のみ)	反射センサ	○	○
優先設定	コマンド	○	○
再発行設定	無効	○	○
印字停止位置	0 dot	○	○
ハクリ動作設定	PW208 : 自動 PW208m : なし	○	○

## 2.7.2 通信設定メニュー

設定項目	初期値	ユーザー 初期化	工場 初期化
ネットワーク	—	—	—
設定	—	—	—
Wi-Fi	—	—	—
IPv4	—	—	—
モード	DHCP	○*	○*
DHCP	—	○*	○*
IP アドレス	000.000.000.000	○*	○*
サブネットマスク	255.255.255.0	○*	○*
デフォルトゲートウェイ	000.000.000.000	○*	○*
DNS	000.000.000.000	○*	○*
IPv6	—	—	—
モード	無効	○*	○*
DHCP	—	○*	○*
IP アドレス	::	○*	○*
プレフィックス長	64	○*	○*
デフォルトゲートウェイ	::	○*	○*
DNS	::	○*	○*
プロキシ	—	—	—
有効	無効	○*	○*
サーバー	—	○*	○*
プロキシを使用しない	—	○*	○*
Wi-Fi Direct	—	—	—
デバイス名	SATO_PRINTER	○*	○*
SSID	SATO_PRINTER	○*	○*
ESS-ID ステルス機能	有効	○*	○*
Wi-Fi モード	Ad Hoc	○*	○*
チャンネル	6	○*	○*
セキュリティ	なし	○*	○*
WEP 設定	—	—	—
WEP 認証	オープンシステム	○*	○*
WEP キーインデックス	1	○*	○*

\*：使用可能な状態となっている通信設定の設定値は、初期化時にリセットされません。

設定項目	初期値	ユーザー 初期化	工場 初期化
WPA 設定	—	—	—
WPA 認証	Personal (PSK)	○*	○*
EAP 設定	—	—	—
EAP モード	FAST	○*	○*
内部方式	MSCHAPv2	○*	○*
内部方式	MSCHAPv2	○*	○*
内部方式	MSCHAPv2	○*	○*
EAP 認証ユーザー名	—	○*	○*
外部匿名 ID	—	○*	○*
サーバー証明認証	有効	○*	○*
自動 PAC プロビジョニング	無効	○*	○*
サービス	—	—	—
ポート	—	—	—
ポート番号 1	1024	○*	○*
ポート番号 2	1025	○*	○*
ポート番号 3	9100	○*	○*
通信プロトコル	Status4	○*	○*
LPD	有効	○*	○*
FTP	無効	○*	○*
詳細設定	—	—	—
ARP 通知	—	—	—
通知拡張	有効	○*	○*
通知周期	300 秒	○*	○*

\*：使用可能な状態となっている通信設定の設定値は、初期化時にリセットされません。



動かしてみましよう

設定項目	初期値	ユーザー 初期化	工場 初期化
USB	—	—	—
通信プロトコル	STATUS4	○*	○*
Bluetooth	—	—	—
Bluetooth 機能	有効	○*	○*
デバイス名	SATO PRINTER_XXXXXXXXXX (xxx には BD アドレスが表示されます。)	○*	○*
PIN コード	0000	○*	○*
BD アドレス	XXXXXXXXXXXX	○*	○*
BD バージョン	spp3_vX.YY (iOS 対応プリンタは、spp3i_vX.YY)	○*	○*
ホスト BD アドレス	—	○*	○*
IAP 機能	有効 (iOS 対応プリンタのみ)	○*	○*
iOS 再接続	無効 (iOS 対応プリンタのみ)	○*	○*
認証モード	認証なし	○*	○*
ISI	2048	○*	○*
ISW	18	○*	○*
PSI	144	○*	○*
PSW	18	○*	○*
CRC チェック	無効	○*	○*
通信プロトコル	Status4	○*	○*
CR/LF カット	無効	○*	○*
CAN/DLE カット	無効	○*	○*

\*：使用可能な状態となっている通信設定の設定値は、初期化時にリセットされません。

### 2.7.3 バッテリメニュー

設定項目	初期値	ユーザー 初期化	工場 初期化
エコ充電機能	無効	○	○
充電完了後電源オフ	有効	○	○

### 2.7.4 アプリケーションメニュー

設定項目	初期値	ユーザー 初期化	工場 初期化
プロトコル	SBPL	○	○
SBPL	—	—	—
コマンドエラー表示	無効	○	○
スタンダードコード設定	有効	○	○
印刷の向き	縦	○	○
フォント設定	—	—	—
ゼロスラッシュ	無効	○	○
漢字設定	—	—	—
漢字モード	JP-JISX0208	○	○
文字コード	SJIS	○	○
漢字書体	ゴシック	○	○
プロポーショナルピッチ	無効	○	○
コードページ	X201	○	○
ユーロコード	d5	○	○
互換	—	—	—
CODE128(C)	無効	○	○
Font/Logo 呼び出し	無効	○	○
QTY 更新タイミング	無効	○	○
文字間ピッチ	無効	○	○

## 2.7.5 システムメニュー

設定項目	初期値	ユーザー 初期化	工場 初期化
地域	—	—	—
表示言語	日本語	○	○
単位	dot	○	○
お知らせ機能	—	—	—
サーマルヘッド清掃	—	—	—
お知らせ機能	無効	○	○
お知らせ間隔	150 m	○	○
サーマルヘッド交換	—	—	—
お知らせ機能	無効	○	○
お知らせ間隔	30 km	○	○
プラテンローラー交換	—	—	—
お知らせ機能	無効	○	○
お知らせ間隔	30 km	○	○
ブザー音	—	—	—
エラー音	有効	○	○
低消費電力モード	—	—	—
スリープ	5 秒	○	○
ディープスリープ	300 秒	○	○
自動電源オフ	0 分 (オフ)	○	○
総発行枚数表示	無効	○	○
拡大アイコン表示	無効	○	○
低温制御	無効	○	○
パスワード	—	—	—
パスワード機能	無効	×	×
インストール時のセキュリティ	無効	○	○
パスワード更新	—	—	—
level 1	0310	×	×

## 2.7.6 ツールメニュー

設定項目	初期値	ユーザー 初期化	工場 初期化
テスト印字	—	—	—
BD アドレス	—	—	—
印字位置調整	0 dot	×	×
オフセット調整	0 dot	×	×
印字濃度調整	50	×	×
工場設定	—	—	—
印字位置調整	0 dot	×	×
オフセット調整	0 dot	×	×
印字濃度調整	50	×	×
設定一覧	—	—	—
用紙長	800 dot	○	○
印字位置調整	0 dot	×	×
オフセット調整	0 dot	×	×
印字濃度調整	50	×	×
設定一覧 (QR)	—	—	—
用紙長	800 dot	○	○
印字位置調整	0 dot	×	×
オフセット調整	0 dot	×	×
印字濃度調整	50	×	×
センサレベル	—	—	—
用紙長	800 dot	○	○
印字位置調整	0 dot	×	×
オフセット調整	0 dot	×	×
印字濃度調整	50	×	×
HEX ダンプ	—	—	—
HEX ダンプモード	無効	○	○

# 3

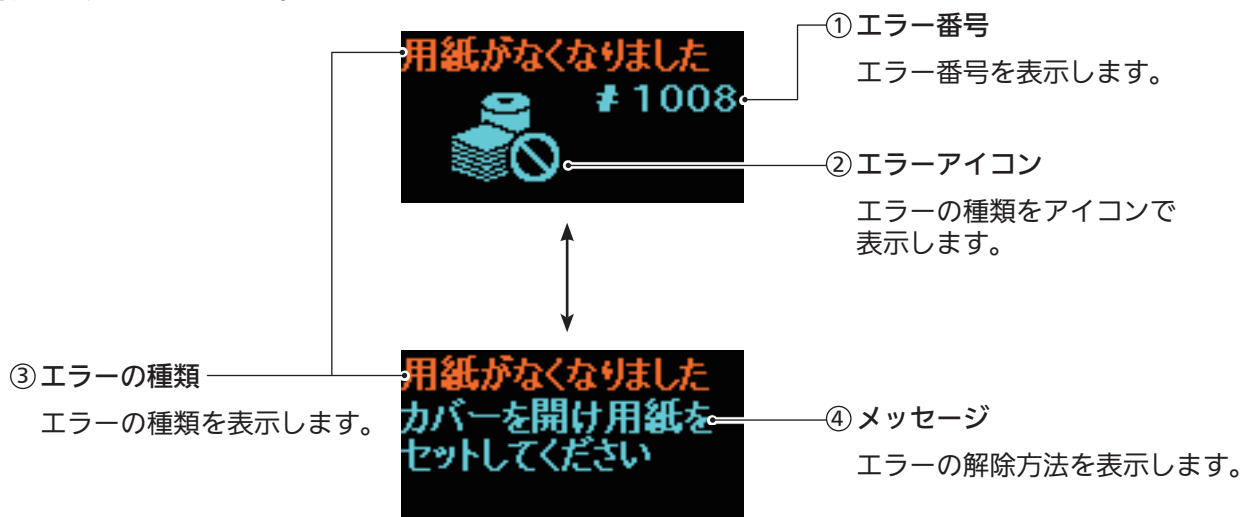
## あれ？どうしたのかな

### 3.1 エラーメッセージモード

エラーが発生したとき、ブザー音とステータス LED の赤表示、ディスプレイのエラーメッセージで、エラー状態をお知らせします。

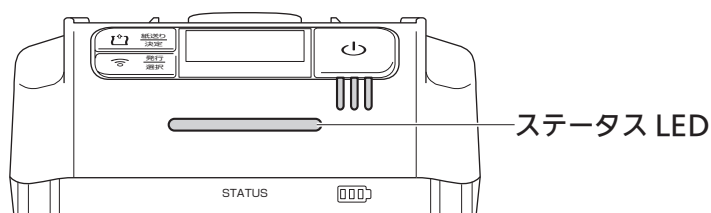
#### 3.1.1 エラーメッセージ

エラーメッセージモードでは、ディスプレイにエラー番号とエラー解除方法を交互に表示します。マシンエラー（エラー 1001）、プログラムエラー（エラー 1002）では、エラー番号と 2 種類のエラー解除方法を交互に表示します。



#### 3.1.2 ステータス LED

エラーメッセージモードでは、ステータス LED は赤点灯をします。








#### 3.1.3 ブザー音

エラーが発生したとき、長音 1 回、または短音 3 回のブザー音が鳴ります。






## 3.2 エラー表

ディスプレイにエラーメッセージが表示されたとき、本プリンタはエラー状態です。ディスプレイに表示されたエラー番号を確認してください。


それぞれエラーや警告表示によって原因や対策が異なります。エラーを解除するため、エラーと警告表示の種類を確認してください。

エラーメッセージ*		解除方法	原因	対策
① エラー番号 ② エラーアイコン	③ エラーの種類 ④ メッセージ			
1001 	マシンエラー  1. 電源を再起動してください 2. 解決しなければお客様ヘルプデスクに連絡してください	電源を切ってください。	1) 基板不良です。	1) お客様ヘルプデスクに連絡してください。
1002 	プログラムエラー  1. 電源を再起動してください 2. 解決しなければお客様ヘルプデスクに連絡してください	電源を切ってください。	1) Flash ROM にアクセスできません。 2) 書き込み回数がオーバーしました。 3) その他のプログラムエラーです。	1) プリンタを再起動してください。 2)、3) お客様ヘルプデスクに連絡してください。
1006 	データが多すぎます  発行データを確認してください	電源を切ってください。	1) バッファ容量を超えるデータを受信しています。 2) 不適切なプロトコルです。	1)、2) ホストプログラムを変更して、バッファ容量を超えるデータを送らないようにしてください。
1007 	カバーが開いています  カバーを閉じてください	カバーの開閉をしてください。	1) カバーがロックされていません。 2) カバー開閉検知用センサに異常があります。	1) カバーをロックしてください。 2) お客様ヘルプデスクに連絡してください。
1008 	用紙がなくなりました  カバーを開け用紙をセットしてください	カバーの開閉をしてください。	1) 用紙がありません。 2) 用紙が正しくセットされていません。 3) ピッチセンサに異常があります。	1)、2) 用紙を正しくセットしてください。 3) お客様ヘルプデスクに連絡してください。

\* : エラーメッセージの詳細は「3.1.1 エラーメッセージ」(P. 114 ページ) をご覧ください。

エラーメッセージ*		解除方法	原因	対策
① エラー番号 ② エラーアイコン	③ エラーの種類 ④ メッセージ			
1010 	用紙サイズエラー 用紙サイズを確認してください	カバーの開閉をしてください。	1) 印字画像が用紙サイズよりも大きいです。	1) 用紙サイズを確認してください。 用紙サイズに合った印字データを指定してください。
1012 	ヘッドが断線しています お客さまヘルプデスクに連絡してください	エラーメッセージを解除する場合： 電源を切ってください。 印字を継続する場合は、ヘッドチェックの方法を変更してください。 ヘッドチェックの方法を変更する場合： <b>発行 / 選択</b> キーと <b>紙送り / 決定</b> キーを同時に押し、設定画面 (49 ページ) に移動してください。	1) サーマルヘッドの不具合です。 2) サーマルヘッドが磨耗または損傷しています。	1)、2) お客さまヘルプデスクに連絡してください。
1013 	メモリエラー お客さまヘルプデスクに連絡してください	電源を切ってください。	1) メモリへの書込みに失敗しました。	1) お客さまヘルプデスクに連絡してください。
1014 	メモリフル 不要なデータを削除してください	電源を切ってください。	1) メモリに空き容量がありません。	1) 不要なデータを削除してください。
1017 	データが不正です Caa: <bb> : cc 印字データを確認してください	<b>発行 / 選択</b> キーを押してください。	1) 印字データ中に不正なコマンドまたはパラメータを検出しました。 Caa: <bb> : cc について Caa: エラー発生位置 <bb>: エラーコマンド名 cc: エラー種別	1) 印字データを確認してください。 送信した SBPL コマンドを確認してください。エラー解除できないときは、お客さまヘルプデスクに連絡してください。

\* : エラーメッセージの詳細は「3.1.1 エラーメッセージ」(114 ページ) をご覧ください。







エラーメッセージ*		解除方法	原因	対策
① エラー番号 ② エラーアイコン	③ エラーの種類 ④ メッセージ			
1022 	オーバーヒートエラー ヘッド温度が下がるまでお待ちください	一定時間放置してください。	1) プリンタの温度が許容範囲以上です。	1) 一定時間放置し、プリンタの温度を下げてください。
1028 	ラベルギャップ未検出 用紙を正しくセットしてください	カバーの開閉をしてください。	1) ギャップセンサのレベルが合っていません。 2) センサ種の設定が合っていません。 3) 用紙が蛇行しています。	1) お客さまヘルプデスクに連絡してください。 2) 用紙に合ったセンサを使用してください。 3) 用紙ルートを清掃して調整してください。
1035 	アイマーク未検出 用紙を正しくセットしてください	カバーの開閉をしてください。	1) アイマークのレベルが合っていません。 2) センサ種の設定が合っていません。 3) 用紙が蛇行しています。	1) お客さまヘルプデスクに連絡してください。 2) 用紙に合ったセンサを使用してください。 3) 用紙ルートを清掃して調整してください。
1043 	ローバッテリー バッテリーを充電してください	ACアダプタを接続し、ローバッテリーが解除されるまで充電してください。30～40秒後に自動で電源が切れます。	1) バッテリーの残量が低下しました。	1) バッテリーを充電、または交換してください。
1046 	Wi-Fi 設定エラー 設定を変更してください	<b>発行 / 選択</b> キーを押してください。	1) Wi-Fi 設定が合っていません。	1) Wi-Fi 設定を確認してください。
1047 	認証タイムアウト AP とサーバー設定を確認してください	<b>発行 / 選択</b> キーを押してください。	1) アクセスポイントと認証サーバーの設定が合っていません。	1) アクセスポイントと認証サーバーの設定を確認してください。
1050 	Bluetooth エラー お客さまヘルプデスクに連絡してください	電源を切ってください。	1) Bluetooth モジュールエラーです。	1) お客さまヘルプデスクに連絡してください。

\* : エラーメッセージの詳細は「3.1.1 エラーメッセージ」( [📖 114 ページ](#) ) をご覧ください。



エラーメッセージ*		解除方法	原因	対策
① エラー番号 ② エラーアイコン	③ エラーの種類 ④ メッセージ			
1058 	CRCエラー 送信データを確認してください	<b>発行 / 選択</b> キーを押してください。	1) CRC が付加されていません。 2) CRC が一致しません。	1)、2) 送信データおよび電波状況を確認してください。
1059 	充電中です ローバッテリーが解除されるまでお待ちください	一定時間放置してください。	1) ローバッテリー状態で充電中です。	1) 印字可能状態まで充電をしてください。
1060 	バッテリー未挿入 バッテリーを入れてください	バッテリーを入れてください。	1) バッテリーが外れています。 2) バッテリーが未挿入です。	1)、2) バッテリーを入れてください。
1061 	バッテリー使用不可 お客さまヘルプデスクに連絡してください	バッテリーを交換してください。	1) バッテリーが劣化しています。	1) バッテリーを交換してください。
1063 	バッテリーエラー バッテリーを交換してください	電源を切ってください。 30 ~ 40 秒後に自動で電源が切れます。	1) バッテリーに異常があります。	1) バッテリーを交換してください。
1064 	オーバーヒートエラー モーター温度が下がるまでお待ちください	一定時間放置してください。	1) モーターの温度が許容範囲以上です。	1) 一定時間放置し、プリンタの温度を下げてください。
1065 	オーバーヒートエラー お客さまヘルプデスクに連絡してください	電源を切ってください。 30 ~ 40 秒後に自動で電源が切れます。	1) プリンタの温度が許容範囲以上です。	1) 一定時間放置し、プリンタの温度を下げてください。 2) お客さまヘルプデスクに連絡してください。
1066 	用紙詰まり カバーを開け用紙を再セットしてください	カバーを開け用紙を再セットしてください。	1) ノンセパ動作中に、用紙詰まりが発生しました。	1) カバーを開け用紙を再セットしてください。
1067 	充電中です 充電が完了するまでお待ちください	バッテリーの充電が完了するまでお待ちください。	1) 充電中のため、電源が切れません。	1) 充電完了後、電源を切ってください。

\* : エラーメッセージの詳細は「3.1.1 エラーメッセージ」( [114 ページ](#) ) をご覧ください。

エラーメッセージ*		解除方法	原因	対策
① エラー番号 ② エラーアイコン	③ エラーの種類 ④ メッセージ			
1068 	WLAN エラー お客さまヘルプデスクに連絡してください	<b>発行 / 選択</b> キーを押してください。	1) WLAN モジュールの接続に失敗しました。	1) お客さまヘルプデスクに連絡してください。
1069 	オプションエラー お客さまヘルプデスクに連絡してください	電源を切ってください。	1) ハクリ、ノンセパセンサの接続情報の設定が合いません。	1) お客さまヘルプデスクに連絡してください。
1070 	バッテリー消耗 注意 【推奨】新しいバッテリーに交換してください	<b>発行 / 選択</b> キーを押してください。または、カバーの開閉をしてください。	1) バッテリーが消耗しています。バッテリーの交換を推奨します。運用時間が短くなったり印字品質が悪くなるおそれがあります。	1) バッテリーを交換してください。
1071 	バッテリー消耗 警告 【警告】新しいバッテリーに交換してください	<b>発行 / 選択</b> キーを押してください。または、カバーの開閉をしてください。	1) バッテリーが劣化しています。バッテリーを交換してください。運用時間が短くなったり印字品質が悪くなるおそれがあります。	1) バッテリーを交換してください。
1072 	電源オフエラー 発行キーでエラーを解除してください	<b>発行 / 選択</b> キーを押してください。	1) プリンタの電源が正しく切られていません。(バッテリーが外れました)	1) 電源を切ってからバッテリーを抜いてください。 2) 設定情報を確認してください。
1081 	設定初期化 設定が初期化されました	<b>発行 / 選択</b> キーを押してください。	1) プリンタの電源が正しく切られていません。(バッテリーが外れました)	1) プリンタの電源を正しく切ってください。 2) 設定情報を確認してください。

\* : エラーメッセージの詳細は「3.1.1 エラーメッセージ」( [📖 114 ページ](#) ) をご覧ください。

## 3.3 警告アイコン表


警告アイコンは、検出した順番に表示します。

警告アイコン	警告内容	原因	対策
	警告の解除方法		
	受信バッファニアフル	1) 受信バッファの空き容量が少なくなりました。	1) 本プリンタの印字が終了するまで、次のデータを送信しないでください。
	—		
	コマンドエラー	1) コマンドエラーを検出しました。	1) 印字データを確認してください。
	次のアイテム受信または、ジョブキャンセルで警告アイコンがクリアされます。		
	ヘッドエラー	1) ヘッドエラーを検出しました。	1) お客さまヘルプデスクに連絡してください。サーマルヘッドの交換が必要です。
	—		
	IP アドレス未取得	1) IP アドレスが設定されていません。 2) IP アドレスの自動取得に失敗しました。	1) ネットワークの設定を確認してください。設定したあと、プリンタを再起動してください。 2) DHCP サーバーが正常に動作しているか確認してください。
	—		
	CP チップ異常	1) iOS との認証が中断されました。	1) アイコンが消えるまで（約130秒）待ってから、再度認証をおこなってください。iOS との認証中は、プリンタの電源を切ったりバッテリーを抜いたりしないでください。
	—		
	CP チップ故障	1) 基板の故障により、iOS との Bluetooth 接続ができません。	1) お客さまヘルプデスクに連絡してください。
	—		

## 3.4 お知らせ表示

お知らせ機能の設定を“有効”に設定した場合、走行距離が設定距離に達したときに清掃および部品交換の時期をお知らせします。

お知らせ機能の設定は、「2.6.5 システムメニュー」の「お知らせ機能」(☞ 83 ページ) をご覧ください。

お知らせアイコン	表示メッセージ	原因	対策
	解除方法		
	サーマルヘッド清掃	1) プリンタの走行距離がお知らせ間隔で設定した距離に達しました。 お知らせ間隔の設定は、「サーマルヘッド清掃」の「お知らせ間隔」(☞ 84 ページ) をご覧ください。	1) サーマルヘッドを清掃し、清掃距離のカウントをクリアしてください。清掃方法は「5 毎日のお手入れ」(☞ 123 ページ) をご覧ください。
	カウントをクリアしない場合： <b>発行 / 選択</b> キーを押してください。 カウントをクリアする場合： <b>紙送り / 決定</b> キーを押してください。		

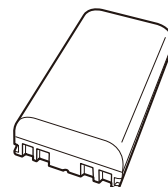
# 4

## オプション

---

### 4.1 バッテリ

本プリンタにセットして、充電してください。



---

### 4.2 キャリングケース

---

### 4.3 バッテリチャージャー

- AC アダプタ
- 1ch バッテリチャージャー
- 6ch バッテリチャージャー
- カーチャージャー
- 各種ケース
- USB ケーブル

---

### 4.4 オプションインタフェース

無線 LAN インタフェースを用意しております (PW208 のみ)。

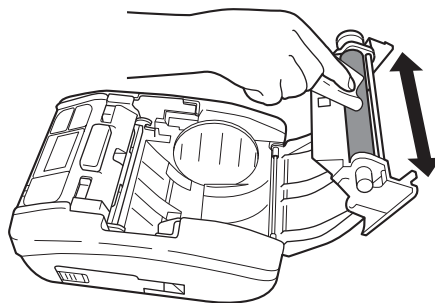
# 5

## 毎日のお手入れ

必ず電源を切り、バッテリーを抜いてから清掃をおこなってください。

### 5.1 プラテンローラー

乾いた布で、左右に優しく拭いてください。  
ローラーを回転させて、ローラー全体を清掃します。

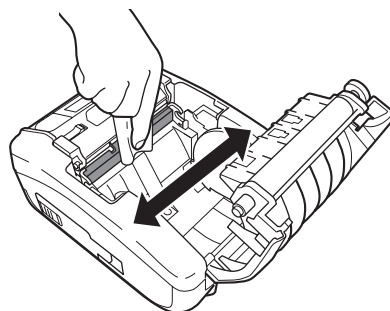


### 5.2 サーマルヘッド

プリンタ清掃液\*を綿布に浸して、左右に優しく拭いてください。

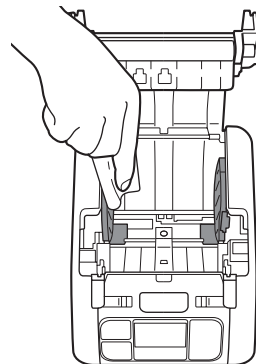


- サーマルヘッドを清掃するときは、手を切らないようカッタに注意してください。



### 5.3 用紙ガイド

プリンタ清掃液\*を綿布に浸して、優しく拭いてください。



\* プリンタ清掃液は別売です。ご購入の際は、販売店、ディーラーまたはお客さまヘルプデスクにお問い合わせください。

## 6

## 基本仕様

## 6.1 プリンタの仕様

モデル名	PW208	PW208m
印字方式	感熱方式	
ヘッド密度（解像度）	8 dot/mm (203 dpi)	
印字有効エリア	最大長さ 1000 mm × 幅 55 mm	
印字速度	3 ～ 6 インチ / 秒 75 ～ 150 mm / 秒 (ハクリ、ノンセパ時：最大 4 インチ / 秒)	
	ただし、印字レイアウト、外気温、バッテリー残量によっては制限する場合があります。	
印字禁止領域	連続、ハクリ 長さ方向 上：1.5 mm、下：1.5 mm（台紙含まず） 幅方向 左：1.5 mm、右：1.5 mm（台紙含まず） ノンセパ 長さ方向 上：4 mm、下：1.5 mm 幅方向 左：1.5 mm、右：1.5 mm ※印字品質に影響が出る可能性があります。印字禁止領域を避けて印字してください。	
発行モード	連続、ティアオフ、ハクリ、 ノンセパ	連続、ティアオフ、ノンセパ
寸法 / 重量	幅 95 mm × 奥行き 68 mm × 高さ 128 mm / 約 438 g (バッテリーパック含む)	幅 95 mm × 奥行き 54 mm × 高さ 109.5 mm / 約 368 g (バッテリーパック含む)
電源仕様	入力電圧 : AC100 ～ 240 V 50 Hz / 60 Hz (AC アダプタ)	
バッテリー仕様	リチウムイオン電池 公称電圧 7.2 V 公称容量 1950 mAh 充放電サイクル 約 300 回または、ご使用開始から約 3 年のどちらか早い方 充電時間 約 3 時間 ※使用環境により、充放電サイクル、充電時間は異なります。	

モデル名	PW208	PW208m
環境条件	標準： 使用温度：-15～50℃ （無線 LAN 仕様の場合 0～50℃） 湿度：10～85% RH（ただし、結露なきこと） （無線 LAN 仕様の場合 20～80%  ただし、結露なきこと） 保存温度：-25～60℃ 湿度：10～85% RH （ただし、結露なきこと） ノンセパ使用時： 使用温度：5～35℃ 湿度：30～75% RH （ただし、結露なきこと） 保存温度：0～35℃ 湿度：30～75% RH （ただし、結露なきこと）	
インターフェース	① Bluetooth インターフェース ② USB インターフェース ③ 無線 LAN（オプション）	① Bluetooth インターフェース ② USB インターフェース
オプション	① バッテリーパック（同梱品と同一） ② AC アダプタ ③ 1ch バッテリーチャージャー ④ 6ch バッテリーチャージャー ⑤ カーチャージャー ⑥ 各種ケース ⑦ USB ケーブル	
操作	LCD：OLED（横 128 dot × 縦 64 dot） LED：ステータス（赤 / 青）、バッテリー残量（緑 × 3） キー：電源、発行 / 選択、紙送り / 決定	
レベル調整	印字濃度調整、印字位置調整、停止位置調整	
用紙長検出センサ	アイマークセンサ（反射タイプ）、ギャップセンサ（透過タイプ：PW208 のみ）	
バーコード	UPC-A、UPC-E、JAN/EAN、CODE39、CODE93、CODE128、 GS1-128（UCC/EAN128）、CODABAR（NW-7）、ITF、 インダストリアル 2of5、マトリックス 2of5、カスタマバーコード、 UPC アドオンコード、BOOKLAND、 GS1 DataBar Omnidirectional、GS1 DataBar Truncated、 GS1 DataBar Stacked、GS1 DataBar Stacked Omnidirectional、 GS1 DataBar Limited、GS1 DataBar Expanded、 GS1 DataBar Expanded Stacked ※ GS1 DataBar は RSS のことです。	
2次元コード	QR コード（マイクロ QR 含む）、セキュリティ QR、 PDF417（マイクロ PDF 含む）、MAXI コード、GS1 データマトリックス、 データマトリックス（ECC200）、Aztec コード	



モデル名	PW208	PW208m
ビットマップフォント	OCR-A 文字 : 15 × 22 dot (英数字、記号) OCR-B 文字 : 20 × 24 dot (英数字、記号)	
	X20 文字 : 5 × 9 dot (英数字、記号、カナ) X21 文字 : 17 × 17 dot (英数字、記号、カナ) X22 文字 : 24 × 24 dot (英数字、記号、カナ) X23 文字 : 48 × 48 dot (英数字、記号、カナ) X24 文字 : 48 × 48 dot (英数字、記号、カナ)	
	U 文字 : 5 × 9 dot S 文字 : 8 × 15 dot M 文字 : 13 × 20 dot WB 文字 : 18 × 30 dot WL 文字 : 28 × 52 dot XU 文字 : 5 × 9 dot XS 文字 : 17 × 17 dot XM 文字 : 24 × 24 dot XB 文字 : 48 × 48 dot XL 文字 : 48 × 48 dot	
	マークダウンフォント 1 : 64 × 80 dot (数字、「¥」) マークダウンフォント 2 : 52 × 80 dot (数字、「¥」) マークダウンフォント 3 : 40 × 80 dot (数字、「¥」) マークダウンフォント 4 : 104 × 92 dot (数字、「¥」) マークダウンフォント 5 : 52 × 80 dot (数字、「¥」) マークダウンフォント 6 : 40 × 80 dot (数字、「¥」) マークダウンフォント 7 : 104 × 92 dot (数字、「¥」) マークダウンフォント 8 : 88 × 92 dot (数字、「¥」) マークダウンフォント 9 : 72 × 92 dot (数字、「¥」) マークダウンフォント 10 : 56 × 92 dot (数字、「¥」) マークダウンフォント 11 : 104 × 92 dot (数字、「¥」) マークダウンフォント 12 : 88 × 92 dot (数字、「¥」) マークダウンフォント 13 : 72 × 92 dot (数字、「¥」) マークダウンフォント 14 : 56 × 92 dot (数字、「¥」)	
	ポップフォント : 80 × 133 dot (数字、「¥」、「.」)	
	漢字 : 16 × 16 dot (JIS 第 1、2 水準、角ゴシック体 / 明朝体選択可) 漢字 : 22 × 22 dot (JIS 第 1、2 水準、角ゴシック体 / 明朝体選択可) 漢字 : 24 × 24 dot (JIS 第 1、2 水準、角ゴシック体 / 明朝体選択可) 漢字 : 32 × 32 dot (JIS 第 1、2 水準、角ゴシック体 / 明朝体選択可) 漢字 : 40 × 40 dot (JIS 第 1、2 水準、角ゴシック体 / 明朝体選択可) ※ 日本語 (JIS X 0208 準拠)  漢字 : 16 × 16 dot (JIS 第 1 ~ 4 水準、角ゴシック体) 漢字 : 22 × 22 dot (JIS 第 1 ~ 4 水準、角ゴシック体) 漢字 : 24 × 24 dot (JIS 第 1 ~ 4 水準、角ゴシック体) 漢字 : 32 × 32 dot (JIS 第 1 ~ 4 水準、角ゴシック体) 漢字 : 40 × 40 dot (JIS 第 1 ~ 4 水準、角ゴシック体) ※ 日本語 (JIS X 0213 準拠)	

モデル名	PW208	PW208m
スケーラブルフォント		
アウトラインフォント	Helvetica アウトラインフォント	
	JIS X 0208 漢字アウトラインフォント	
ラスタライザフォント	SATO CG Sleek	
	SATO CG Stream	
	SATO 0 SATO Alpha Bold Condensed SATO Beta Bold Italic SATO Folio Bold SATO Futura Medium Condensed SATO Gamma SATO OCR-A SATO OCR-B SATO Sans SATO Serif SATO Symbol Set SATO Vica SATO WingBats	
	SATO Hebe Sans SATO Hebe Sans Arabic SATO Hebe Sans Thai SATO Hebe Sans Hindi SATO Gothic Traditional Chinese SATO Gothic Japanese SATO Gothic Simplified Chinese SATO Gothic Korean SATO Silver Serif SATO Mincho Traditional Chinese SATO Mincho Japanese SATO Mincho Simplified Chinese SATO Mincho Korean SATO Roman Arabic SATO Hebe Sans Hebrew	
印字方向 (文字・バーコード)	文字 : 0°、90°、180°、270° バーコード : パラレル 1 (0°)、パラレル 2 (180°)、シリアル 1 (90°)、シリアル 2 (270°)	
バーコード比率	1 : 2、1 : 3、2 : 5、任意指定可能	
拡大倍率 (文字・バーコード)	文字 : 縦 1 ~ 36 倍、横 1 ~ 36 倍 バーコード : 1 ~ 12 倍	

モデル名	PW208	PW208m
搭載機能	① ステータス返送機能 ② グラフィック機能 ③ フォームオーバーレイ機能 (99 件) ④ 外字登録機能 (95 件) ⑤ 文字補正機能 ⑥ 罫線機能 ⑦ ダンプリスト機能 ⑧ ゼロスラッシュ切替機能 ⑨ フォーマット登録機能 (99 件) ⑩ 白黒反転機能 ⑪ 連番機能	
自己診断機能	① ヘッド切れチェック ② カバーオープン検出 ③ ペーパーエンド検出 ④ 漢字データチェック ⑤ センサエラー検出 ⑥ コマンドエラー検出 ⑦ マシンエラー検出 ⑧ 通信エラー検出	
ノイズ (EMC) 規格	VCCI Class B	

### 他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

- QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。
- Wi-Fi<sup>®</sup> は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- Wi-Fi Direct<sup>™</sup>、WPS<sup>™</sup>、WPA<sup>™</sup>、および WPA2<sup>™</sup>は、Wi-Fi Alliance の商標です。
- iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

## 6.2 用紙の仕様

モデル名	PW208	PW208m
用紙種類 / 用紙形態	用紙種類 : ロール紙 (表巻) 用紙外径 : 最大Φ 60 mm 支管 : なし ※弊社指定のサプライ製品のご利用 をお願いします。	用紙種類 : ロール紙 (表巻) 用紙外径 : 最大Φ 35 mm 支管 : なし ※弊社指定のサプライ製品のご利用 をお願いします。
用紙サイズ	連続 長さ : 13 ~ 160 mm (16 ~ 163 mm) 幅 : 25.4 ~ 55 mm * (28.4 ~ 58 mm) * 印字速度を、5 または 6 インチ / 秒に設定して いる場合は、幅 50mm 以上の用紙をお使いくだ さい。 ティアオフ 長さ : 16 ~ 160 mm (19 ~ 163 mm) 幅 : 25.4 ~ 55 mm * (28.4 ~ 58 mm) * 印字速度を、5 または 6 インチ / 秒に設定して いる場合は、幅 50mm 以上の用紙をお使いくだ さい。 ハクリ 長さ : 25 ~ 160 mm (28 ~ 163 mm) 幅 : 32 ~ 55 mm (35 ~ 58 mm) ノンセパ 長さ : 16 ~ 120 mm 幅 : 50 ~ 58 mm ※ ( ) は台紙サイズ含む。 ※ ノンセパラベルは、お客様の印字 レイアウト条件に合わせたプリ ンタの設定が必要です。詳しくは 弊社営業担当までお問い合わせ ください。	連続 長さ : 13 ~ 160 mm (16 ~ 163 mm) 幅 : 55 mm (58 mm) ティアオフ 長さ : 16 ~ 160 mm (19 ~ 163 mm) 幅 : 55 mm (58 mm) ノンセパ 長さ : 16 ~ 120 mm 幅 : 58 mm ※ ( ) は台紙サイズ含む。 ※ ノンセパラベルは、お客様の印字 レイアウト条件に合わせたプリ ンタの設定が必要です。詳しくは 弊社営業担当までお問い合わせ ください。

# 7

## アフターフォロー

故障が発生した場合、以下にご連絡ください。

### 連絡先

お客さまヘルプデスク：☎ **0120-696310**（株式会社サトー 修理受付窓口）  
受付時間：9:00～17:00（土・日・祝日を除く）

詳しくは、ホームページをご確認ください。  
<http://www.sato.co.jp/support/>

**SAATCHI**